

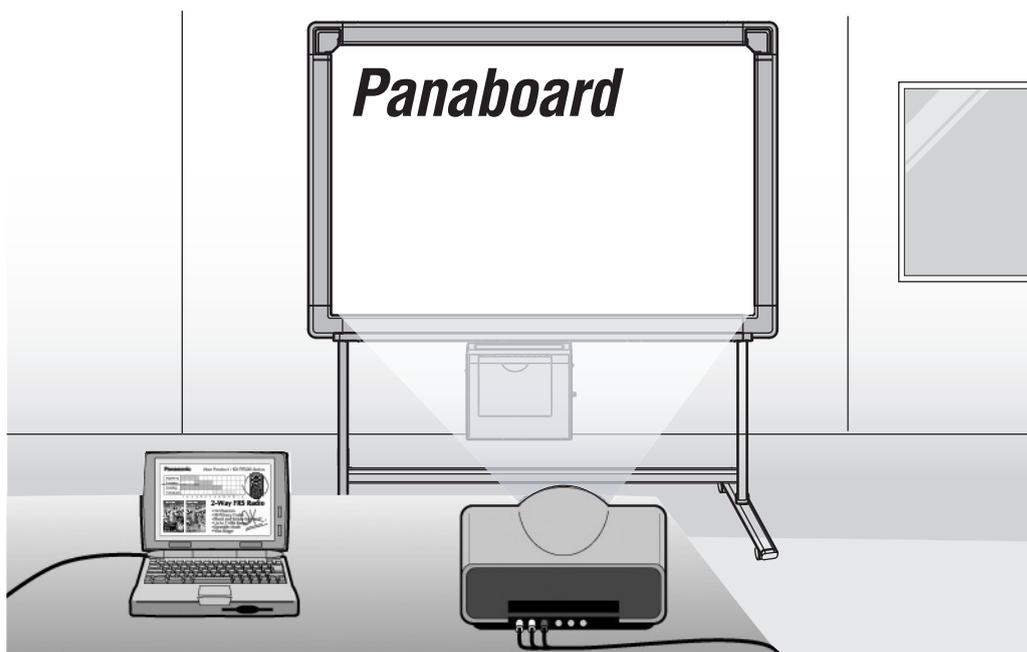
Panasonic[®]

取扱説明書

工事説明付き

電子黒板 (インタラクティブパナボード)

品番 UB-8325



スタンドはオプション機器です。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(7～10ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

このたびはパナソニック「電子黒板」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しく安全にお使いいただくため、この説明書は次の構成・表記になっています。

■ 本書の構成について

取扱説明 7～95 ページ	安全上のご注意や、操作のしかた、アフターサービスなどについて説明しています。
工事説明 (サービスマン専用) 97～115 ページ	組み立て時の安全上のご注意や、本体・スタンドの組み立て、壁掛け工事について説明しています。

■ 本書の表記について

本書では、安全上または操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のマークで表しています。

	安全上、お守りいただきたい注意事項が書かれています。 必ずお読みください。
	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項が書かれています。 必ずお読みください。
	ご覧いただきたい参照ページを記述しています。

ご使用前に

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
アース工事については、本製品の価格には含まれておりません。

電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

記憶内容保存のお願い

コンピューターの記憶装置は、使用誤りや静電気・電氣的ノイズ・振動・ほこりなどの影響を受けたとき、また故障・修理や使用中に電源が切れたとき記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用に際しては、取扱説明書に記載された注意書きをよくお読みください。

なお、次のことを必ずお守りください。

- 重要な内容は必ずデータをバックアップし保存するか、原紙を保存してください。

本製品の特徴

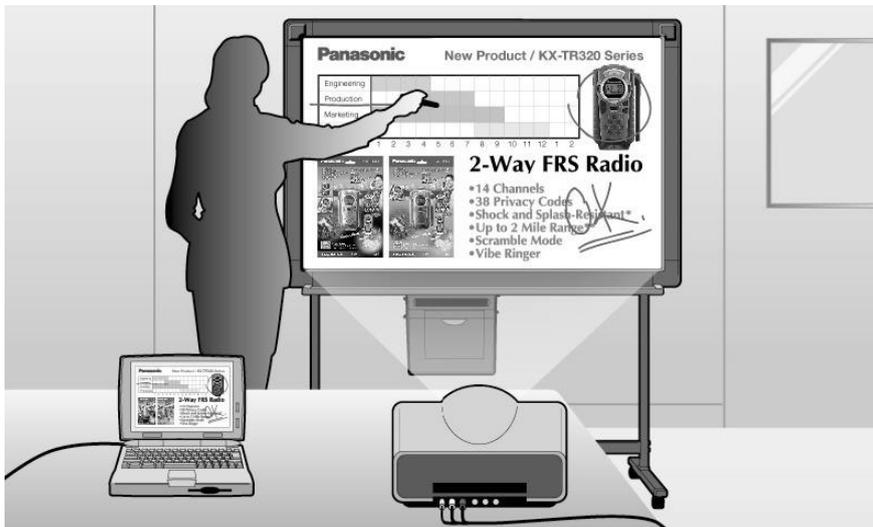
本製品は、普通紙対応の通常の電子黒板としてのほかに、プロジェクターモードとホワイトボードモードという2つのインタラクティブ機能を備えた電子黒板で、以下のように使用することができます。

■ 電子黒板

単体で普通紙対応の電子黒板として、以下の機能が使用できます。

- 最大9枚までの連続複写
- 2段階（標準／濃）濃度調整
- 2画面を1枚に複写する2画面圧縮コピー

■ プロジェクターモード（インタラクティブ機能）



本製品をプロジェクターが接続されたコンピューターに接続し、本製品のスクリーンにコンピューターの画面をプロジェクターで投影して使用します。この使用方法をプロジェクターモードと呼びます。

プロジェクターモードでは、電子ペンのペン先のキャップを付けたままで使用します。

このプロジェクターモードでは、本製品のスクリーンにプロジェクターで投影されたコンピューター画面で、以下のような操作を行うことができます。

- 電子ペンを使用して、マウスのようにコンピューター画面を操作する。
- 電子ペンや電子イレーサーを使用してコンピューター画面に自由線を描画したり、描画した自由線を消去する。
- 自由線を描画したコンピューター画面をイメージファイルに保存したり、印刷する。
- 自由線を描画・消去した過程を記録し、あとで再生・編集する。

このプロジェクターモードを使用すると、本製品のスクリーンにプロジェクターで投影したコンピューター画面を見ながら、電子ペンで操作してプレゼンテーション用アプリケーションを起動し、プレゼンテーション用の画面にコメントを描画したり描画したコメントを消去したりしながら、プレゼンテーションを行うことができます。

また、描画・消去したコンピューター画面をイメージファイルに保存したり、プレゼンテーションの過程を記録し、あとで再生することができます。

■ ホワイトボードモード（インタラクティブ機能）



本製品をコンピューターに接続して使用し、本製品のスクリーンに電子ペンで描画したり、電子イレーサーで消去した内容がリアルタイムにコンピューターに表示されます。

この使用方法をホワイトボードモードと呼びます。

ホワイトボードモードでは、電子ペンのペン先のキャップを外して、本製品のスクリーンに実際に描画して使用します。

ホワイトボードモードでは、以下のような操作を行うことができます。

- 黒・赤・青・緑の何れかのインタラクティブ用マーカー（小）をセットした電子ペンを使用して描画した内容を、コンピューターに表示する。
- 描画した内容を電子イレーサーで消去すると、コンピューターに表示された内容も消去できる。
- 描画した内容をイメージファイルに保存したり、印刷する。
- 描画・消去した過程を記録し、あとで再生・編集する。

このホワイトボードモードを使用すると、本製品のスクリーンに電子ペンで描画したり、電子イレーサーで消去した内容を会議の議事録としてイメージファイルに保存したり、会議の過程を記録し、あとで再生することができます。

■ コンピューターインターフェース機能

ボードイメージキャプチャーソフトウェア（以下、ボードイメージキャプチャー）を使用して、電子黒板に書いた文字や図を簡単にコンピューターに取り込み、PDF ファイルに保存することができます。

また、Quick Image Navigator ソフトウェア（以下、Quick Image Navigator）または、Panasonic Document Management System ソフトウェア（以下、Panasonic-DMS）で以下の機能を使用することもできます。

- TWAIN ドライバーを使用し、本機で描画した画像をモノクロのイメージとして読み取ることができます。
- 読み取った画像などを管理することができます。
- プリンタードライバーを使用し、コンピューターから本機のプリンターに印刷することができます。

Quick Image Navigator および Panasonic-DMS を使用するには、Web サイトからのダウンロードおよびインストールが必要です。

ソフトウェアの対応 OS および使用方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

もくじ

ページ

はじめに

安全上のご注意	7
正しくお使いいただくためのお願い	11
• CD-ROM の取り扱い	13
付属品の確認	14
各部のなまえとはたらき	15
• コントロールパネルについて	16
• 電子ペン・電子イレーサー	17

使う

転写フィルムを取り付ける	18
記録紙をセットする	20
複写（コピー）する	22
• 複写の種類と操作手順について	23
転写フィルムを交換する	24
記録紙が詰まったとき	25
電子ペン／電子イレーサーの組み立て	28
• 電子ペンの組み立て	28
• 電子イレーサーの組み立て	29
• イレーサークロスの交換	29
ドライバー／ソフトウェアのインストール	30
• コンピューターのシステム環境	30
• CD-ROM の内容	30
• コンピューターとの接続	31
• ドライバー／インタラクティブソフト／ ボードイメージキャプチャーのインストール	31
• Quick Image Navigator / Panasonic-DMS のインストール	33
• ドライバー／インタラクティブソフト／ボードイメージキャプチャー／ Quick Image Navigator を削除するには	34
• Panasonic-DMS を削除するには	34
プロジェクターモードで使用する	35
• プロジェクターを使用する場合のお知らせとお願い	35
• インタラクティブソフトを起動する	36
• ポップアップメニュー構成	38
• プロジェクターモードの基本的な操作の流れ	41
• デスクトップ描画ツールの使い方	43
ホワイトボードモードで使用する	55
• インタラクティブソフトを起動する	55
• ポップアップメニュー構成	56
• ホワイトボードモードの基本的な操作の流れ	56
ビューウィンドウ／ホワイトボードウィンドウ	60
• ビューウィンドウ／ホワイトボードウィンドウについて	60
• IPB ドキュメントを管理する	65

はじめに

使う

困ったとき

工事説明

ボードイメージキャプチャー / Quick Image Navigator / Panasonic-DMS を使用する.....	81
• ボードイメージキャプチャーで読み取る.....	81
• Quick Image Navigator / Panasonic-DMS で読み取る.....	82
• 電子黒板操作パネルについて.....	84
• 印刷の方法.....	85

困ったとき

日常のお手入れ.....	86
• スクリーンフィルム面・本体部のお手入れ.....	86
• イレーサー（黒板消し）のお手入れ.....	86
• プリンターヘッド部・プラテンローラー・給紙ローラーのお手入れ.....	86
• 電子ペンまたは電子イレーサーの乾電池交換.....	88
• 電子イレーサーのイレーサークロス交換.....	88
故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）.....	89
• こんな表示が出たら.....	92
仕様.....	93
• オプション機器と別売品・消耗品.....	94
保証とアフターサービス.....	95

工事説明

工事説明（サービスマン専用）.....	97
---------------------	----

- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint 及び CalliGrapher は、いずれも米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM と AT は、International Business Machines Corporation の米国あるいはその他の国の商標です。
- Pentium は、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、Acrobat Reader 及び Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標（地域によっては登録商標）です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

- This software is based in part of the work of the Independent JPEG Group.
- This software is based on the "libtiff" which has the following copyrights:
Copyright (C) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (C) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

安全上のご注意

必ずお守りください

はじめに

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■必ず、アース線接続を行う



漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

アース線接続

●アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

 **警告**

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 絶対にカバーをはずしたり、分解・改造をしない



火災・感電の原因になります。

分解禁止

- 故障の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

■ 異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- お買い上げの販売店に連絡してください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に相談してください。

■ 電源コードを引っばらず、電源プラグを持って抜く



電源コードを傷め、火災・感電の原因になります。

■ 発煙・発熱・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- 使用を中止し、販売店にご相談ください。

■ マーカーのキャップや乾電池は、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むおそれがあります。

禁止

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

警告

■ 指定外の乾電池を使ったり、新・旧乾電池や違う種類の乾電池を混用しない



禁止

乾電池の発熱によるやけどや、液もれの原因になります。

■ 使えなくなった乾電池は、すぐ取り出す



液もれの原因になります。

- 液もれが起きた乾電池は使用しないでください。
- 万一、もれた液が身体に付いたら、水でよく洗い流してください。

■ 乾電池の ⊕ と ⊖ は正しく入れる



⊕ と ⊖ を間違えて入れると、乾電池の発熱によるやけどや、液もれの原因になります。

■ 乾電池を充電、ショート、加熱、分解したり、火の中へ入れない



禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

- 万一、もれた液が目に入ったり、身体に付いたら、水でよく洗い流してください。身体に異常が感じられたら速やかに医師に相談してください。

注意

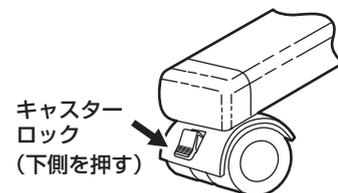
■ サービスマン以外は設置しない



禁止

設置の不具合により、けがの原因になることがあります。

■ 設置時または移動後は、キャスターをロックする



動いたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

! 注意

■ 不安定な場所に置かない



倒れたりして、けがの原因になることがあります。

禁止

■ トレイにコップや水などの入った容器を置かない



水などがこぼれて機器にかかると、火災・感電の原因になることがあります。

禁止

■ 機器を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグ
を抜く

■ 連休などで長期間使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



漏電により、火災の原因になることがあります。

電源プラグ
を抜く

■ 湿気やほこりの多い場所では使わない



火災・感電の原因になることがあります。

禁止

■ 持ち上げたり、寄りかかったりしない



傾いたり、倒れたり、壁からはずれたりして、けがの原因になることがあります。

禁止

■ 倒したり、機器を破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグ
を抜く

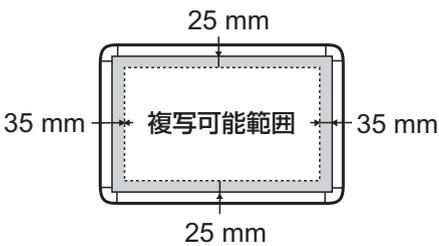
● お買い上げの販売店に連絡してください。

■ 長期間機器を使用しないときは、機器から乾電池を取り出す

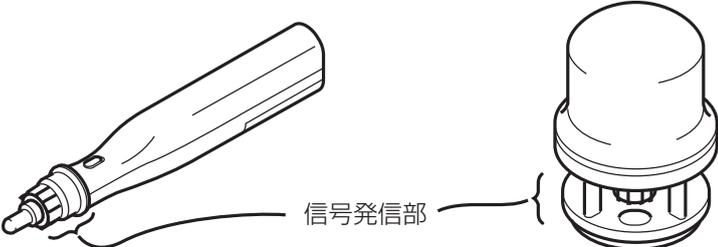
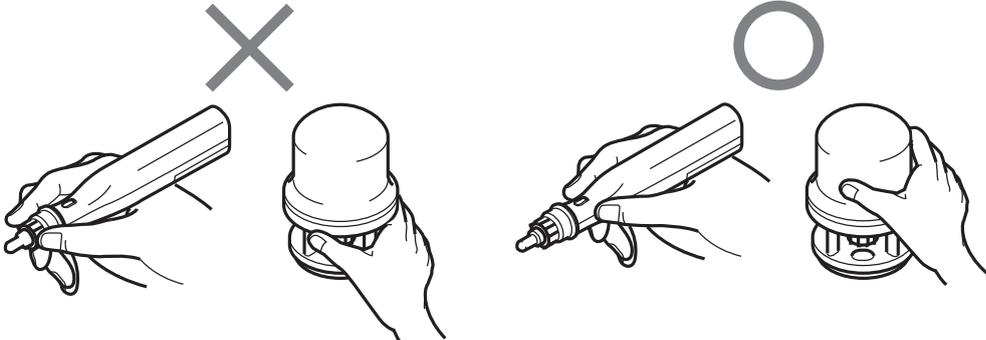


液もれの原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

<p>使用場所について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 直射日光の当たる場所や、ストーブ、冷暖房機の吹出口の近くに置かないでください (スクリーンフィルム面が伸びたり、変色します) • 直射日光や強い光の当たる場所に置かないでください (正しく複写できないことがあります) • 10℃以下の場所や、急激な温度変化のある場所では使用しないでください (複写しても写らないことがあります)
<p>スクリーンフィルム面について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 複写可能範囲内に、太く濃く書いてください 右図の網掛け部分は複写できません。 • 書いたまま長時間放置しないでください (消えにくくなります) • 汚れのひどいイレーザー (黒板消し) で消さないでください • 定期的に水にぬらしてよくしぼったやわらかい布で、軽くふいてください • 落ちにくい汚れには、市販のホワイトボードクリーナーを使用してください • スクリーンフィルム送り中は、手を触れたり、マーカーで書いたり、イレーザー (黒板消し) で消さないでください (故障の原因になります) • スクリーン面にチャート用紙を貼りつけてコピーしないでください (故障の原因になります) 
<p>マーカー・イレーザー (黒板消し)・転写フィルムについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 性能保持のため、付属品または別売品 (☞ 94 ページ) を使用してください (油性マーカーなど、付属品または別売品以外を使用すると、スクリーンフィルム面を傷つけたり、消えにくくなる場合があります) • 複写するときは、マーカー (大) で太く濃く書いてください インタラクティブ用マーカー (小) で書いた線は欠けたりかすれたりすることがあります • 転写フィルムを温度変化の激しい場所 (エアコンや暖房機の近くなど) に置かないでください (転写フィルムが結露し、印字不良や紙づまりの原因になります) • 当社指定の転写フィルム (UG-6001) 1 本の長さは、約 50 m です 転写フィルム 1 本で約 150 枚複写できます (複写枚数は、使用状況によって異なります また、付属の転写フィルムの長さは約 10 m です、上記とは異なります) • マーカーは、水平に保管してください (上向きに保管すると、インクが出なくなることがあります)
<p>電源コード・USB ケーブル</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 付属の電源コードは本機器専用です。他の機器には使用しないでください • 機器を移動するときは、電源コードをコンセントとプリンターの電源コネクターから、USB ケーブルをコンピューターおよび電子黒板の USB コネクターから抜いて束ねてください (引きずったり踏んだりして、ケーブルを傷つけることがあります) • 電子黒板を USB ハブに接続すると、動作しないことがあります • 2 台以上の電子黒板を 1 台のコンピューターに接続しないでください (コンピューターの動作が不安定になることがあります)

正しくお使いいただくためのお願い

<p>転写フィルムの交換について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 使用済みの転写フィルムは、「プラスチック製品」として地域条例に基づいて廃棄してください • 転写フィルムには、複写した内容が白抜きで残ります (情報の保護のため、使用済みの転写フィルムは、はさみなどで切って廃棄されることをおすすめします)
<p>電子ペン・電子イレーザーについて</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • インタラクティブ機能使用時に信号発信部を手でおおくと、電子ペンや電子イレーザーの位置を正常に検出できません <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 電子ペンのペン先や電子イレーザーのクロスを、「ジー」と音がするまでスクリーンフィルム面にしっかり押しつけ、ゆっくり動かして使用してください ただし、スクリーンパネルにへこみができることがありますので、ペン先をあまり強く押しつけないでください • 電子ペンや電子イレーザーは、スクリーンフィルム面に垂直に立てて使用してください (傾けて使用すると位置ずれなどの原因になります) • 誤動作の原因になりますので、複数の電子ペンまたは電子イレーザーを同時に使用しないでください • 電子ペンや電子イレーザーが動作するときは、位置を検出するための超音波を発振して、「ジー」という音がしますが、この音は、人体や周辺機器へ悪影響をおよぼすことはありません また、電気的なショックを与えることもありません
<p>プロジェクターについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターを用いて画像を投影し、プレゼンテーションなどを行う場合、プロジェクターの光が目に入ることがあります プロジェクターの光を直視すると目を痛める原因となりますので、十分にご注意ください

CD-ROM の取り扱い

- CD-ROM の表裏に文字を書いたり、紙をはらないでください



データが正常に読み取れなくなります。

- 長時間直射日光の当たるところや暖房機などの近くに放置しないでください

CD-ROM が変形し、データが正常に読み取れなくなります。

- 信号面に触れないでください
また、持つときは、指紋や傷がつかないように持ってください



ラベルのない虹色の面は、データが書き込まれている信号面です。信号面が汚れると、データが正常に読み取れなくなります。

- 投げたり、曲げたりしないでください

CD-ROM に傷がついたり、変形したりすると、データが正常に読み取れなくなります。

付属品の確認

付属品の確認

以下の付属品がすべてそろっているか、ご確認ください。
万一不足の品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

付 属 品 一 覧	ペンホルダー 2	ソフトウェア CD-ROM 1
	電子イレーザー 1	取扱説明書（本書） 1
	電源コード 1	壁掛けテンプレート 1
	USB ケーブル（5 m） 1	保証書 1
	A4 テスト用普通紙 一式	
	消耗品 *	
	転写フィルム（10 m 巻き） 1	マーカー（黒・赤・青（大）） 各 1
	イレーザー（黒板消し） 1	インタラクティブ用マーカー
	イレーザークロス （電子イレーザー用） 2	（黒・赤・青・緑（小）） 各 1
		乾電池 LR03 （単 4 型アルカリ乾電池） 6

※消耗品については、別売品を用意しています。別売品番などの詳細は、94 ページ。

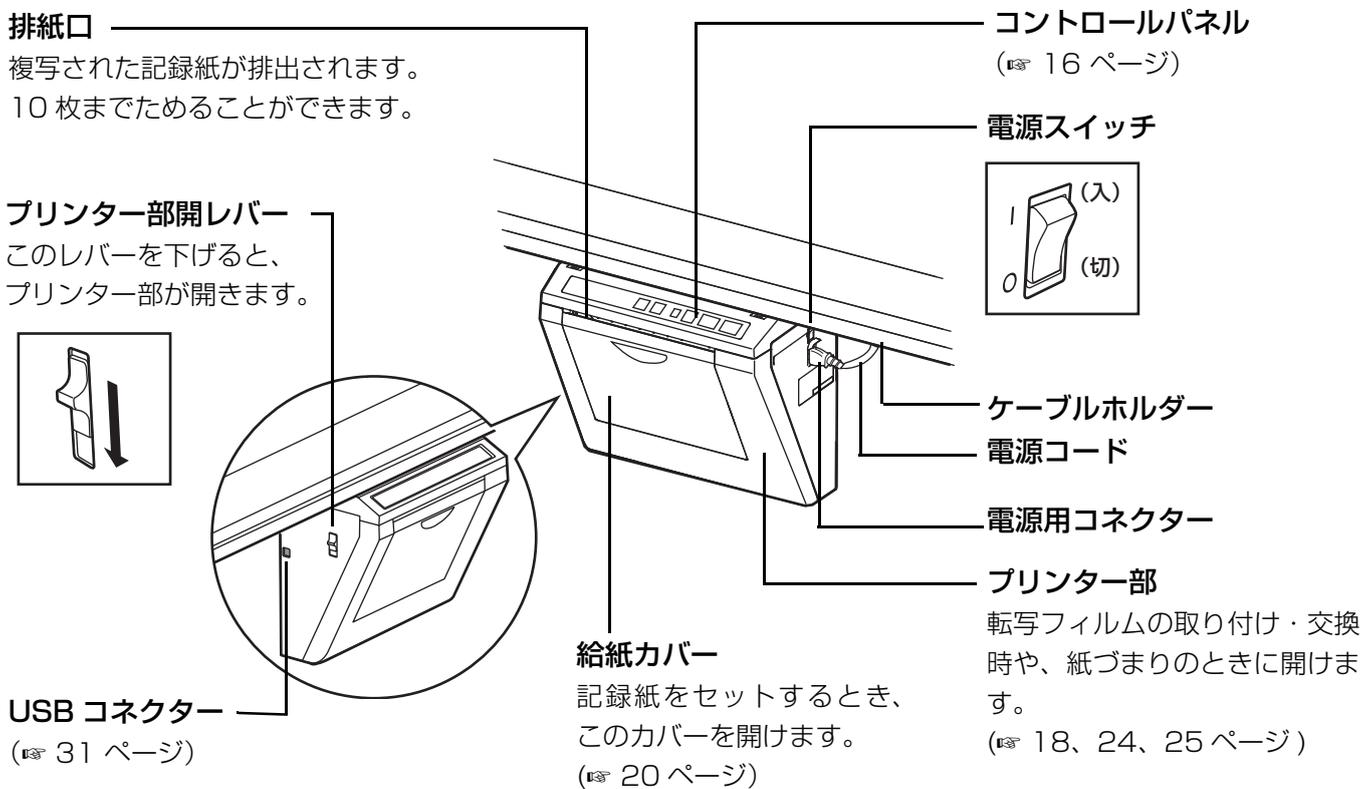
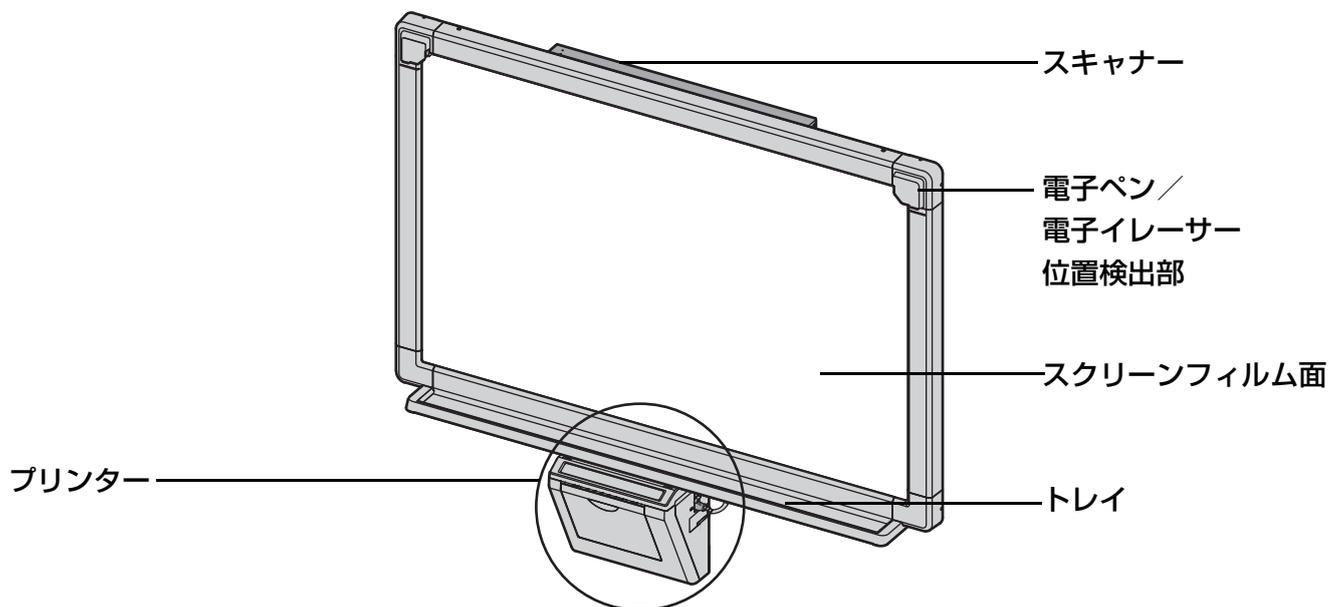
- マーカー（大）とイレーザーは、インタラクティブ機能以外の場合に使用します。
- インタラクティブ用マーカー（小）はペンホルダーにセットして使用します。

本書では、インタラクティブ用マーカー（小）をセットしたペンホルダーを電子ペンと呼びます。
電子ペンと電子イレーザーは、インタラクティブ機能の場合に使用します。

スタンドと壁掛けキットはオプションです。本書では、スタンド付きの電子黒板を例として説明しています。

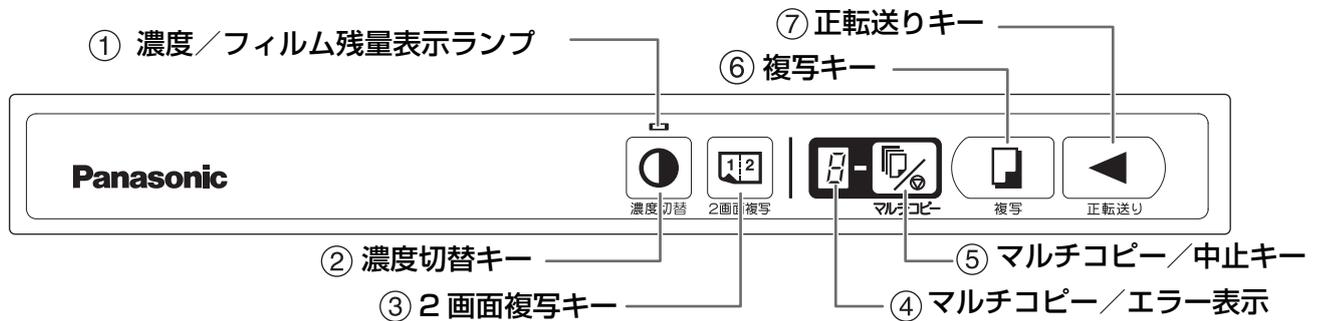
各部のなまえとはたらき

はじめに



各部のなまえとはたらき

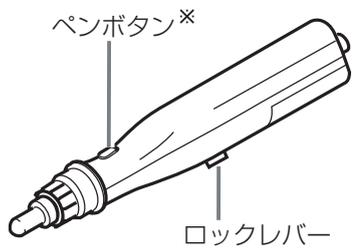
コントロールパネルについて



パネル	なまえ	はたらき
	① 濃度／フィルム残量表示ランプ	ランプの状態、複写時の印字濃度や転写フィルムの交換時期（目安）を知らせます。 消灯時： 印字濃度は標準です。 点灯時： 印字濃度は標準より濃くなります。 点滅時※： 転写フィルムの交換時期が近づいています。 （点滅を始めると、残りの複写可能枚数は約 15 枚です） 本機をお買い上げの販売店で、別売品（UG-6001）をお求めください。 ※この点滅表示は、いったん電源を切ったり、プリンター部を開閉すると消えてしまいます。（複写を行うと、再度点滅を始めます）
	② 濃度切替キー	キーを押すごとに、複写時の印字濃度を切り替えます。（標準／濃い）
	③ 2画面複写キー	スクリーンフィルム面の表側、裏側が1枚に複写されます。
	④ マルチコピー／エラー表示	複写枚数（1～9）が表示されます。マルチコピー／中止キーを押すごとに、表示が変化します。 例：1 → 2 → … → 9 → 1 → … エラー発生時は、エラー状態を表す記号（92 ページ）が点滅します。
	⑤ マルチコピー／中止キー	複数枚複写する場合、マルチコピー／エラー表示に希望枚数が表示されるまで数回押してください。また、複写を途中で止める場合に押してください。複数枚複写中の枚数表示は、下の例のように一度0になって1に戻ります。 例：5 → 4 → 3 → 2 → 1 → 0 → 1 （複写されるごとに、枚数がカウントダウンされます）
	⑥ 複写キー	スクリーンフィルム面が複写されます。
	⑦ 正転送りキー	スクリーンフィルム面が右から左へ送られます。

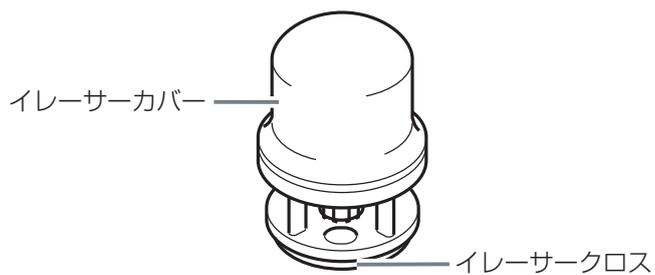
電子ペン・電子イレーサー

■ 電子ペン (☞ 28 ページ)



※ プロジェクター機能を使用して、インタラクティブパナボードのスクリーン上でコンピューターの画面を操作する場合に、ペンボタンを押しながら操作すると、マウスの右ボタンと同様の機能を使用することができます。

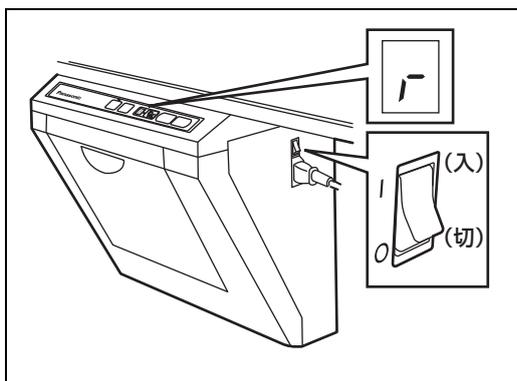
■ 電子イレーサー (☞ 29 ページ)



転写フィルムを取り付ける

付属の転写フィルムを本機に取り付けます。

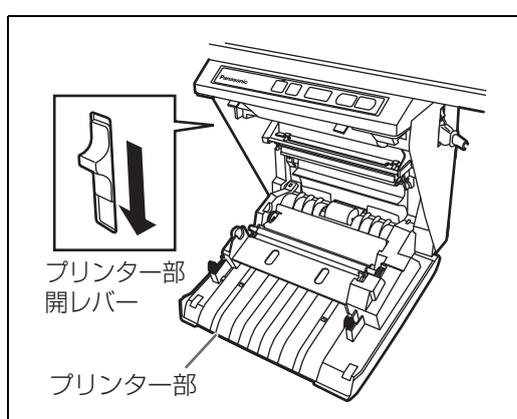
1



電源スイッチを「I」（入）にする。

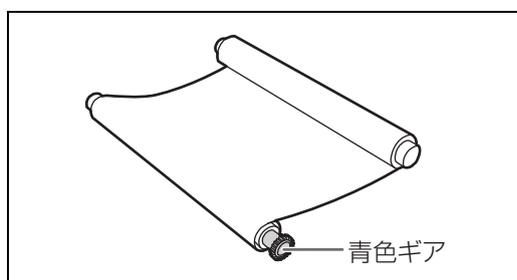
- マルチコピー／エラー表示に、転写フィルムがないことを表す“r”が点滅します。
- スクリーンがホーム位置以外の場合は、ホーム位置まで移動して停止します。

2



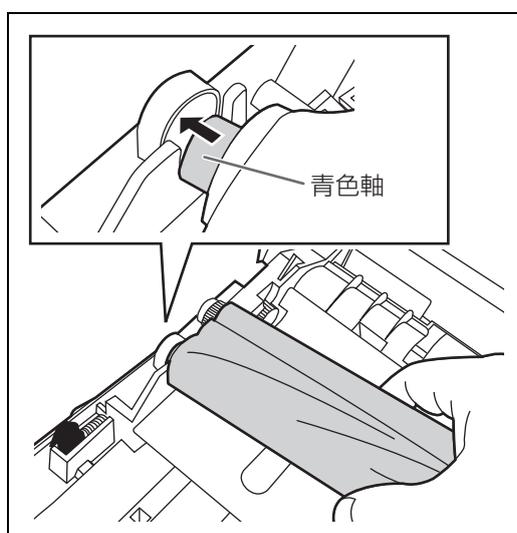
プリンター部開レバーを下げ、プリンター部を開ける。

3

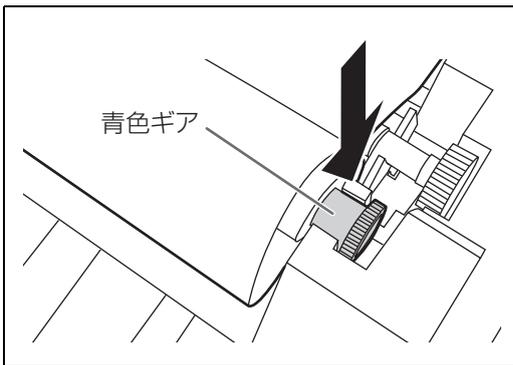


転写フィルムを取り付ける。

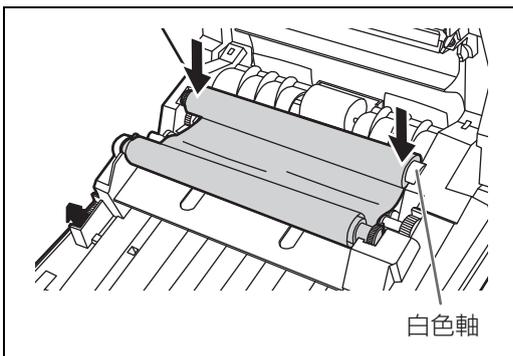
1) 転写フィルムの青色ギアを手前右側にする。



2) 青色軸を手前左側の穴に差し込む。

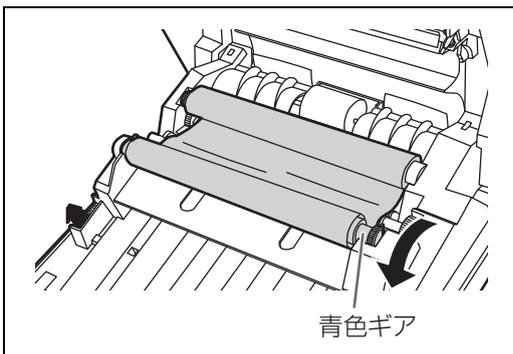


3) 青色ギアを手前右側の溝に取り付ける。



4) 白色軸を奥の左右の溝に取り付ける。

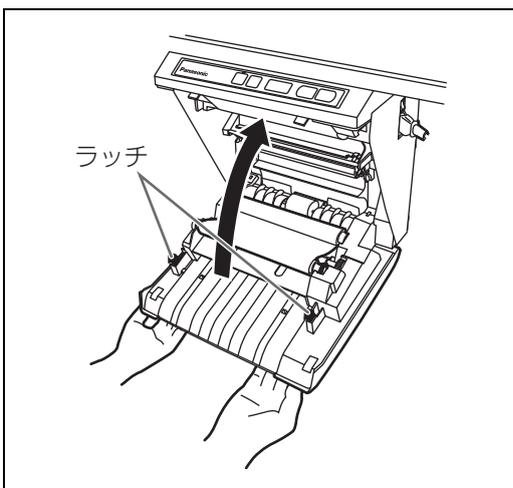
4



転写フィルムのたるみを取り除いて、プリンター部を閉める。

1) 青色ギアを矢印方向に回し転写フィルムのたるみを巻き取る。

- たるみがあると、転写フィルムにしわができ、記録紙に印字抜けや線がでることがあります。



2) 両手でプリンター部を「カチッ」と音がするまでしっかり閉める。

- マルチコピー／エラー表示の“r”の点滅が消えます。

お願い

- プリンター部を閉めても“r”の点滅が消えないときは、転写フィルムにたるみがあるか、正しく取り付けられていません。
転写フィルムのたるみおよび正しく取り付けられているかを見直してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく複写できませんので、両方のラッチが掛かっていることをたしかめてください。

記録紙をセットする

記録紙（A4 サイズのみ）は、64 g/m² の用紙で 50 枚までセットすることができます。

初めて本機を使用するときや、マルチコピー／エラー表示に、記録紙がないことを表す“P”が点滅しているときは、以下の手順で記録紙をセットしてください。

記録紙セット時のお願い

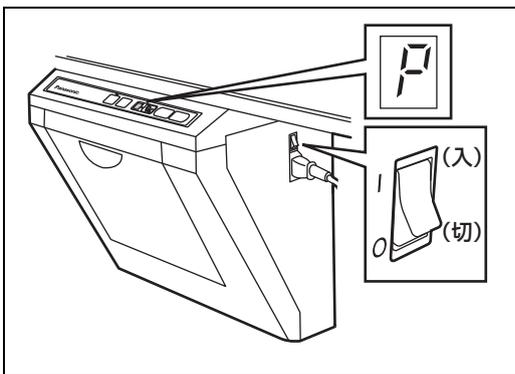
本機での複写を正しく、円滑に行うために、以下のことをお守りください。

- 記録紙は、必ず A4 サイズのコピー用紙（60～90 g/m²）を使用してください。
- 種類や厚さの異なる用紙を同時にセットしないでください。
（紙づまりの原因になります）
- 記録紙を追加するときは、いったん、本機の給紙カバー内に残っている記録紙をすべて取り出してください。（記録紙を取り出すときに少し抵抗がかかりますが、そのまま引き抜いてください）取り出した記録紙は、追加する記録紙と合わせてよくさばき、まっすぐそろえてセットしてください。

以下のような紙は使用しないでください

- 極端に滑らかな用紙や光沢のある用紙
- コート紙
- 感熱紙
- 折り目やしわのある用紙
- 片面が印刷されている用紙（裏紙）、など

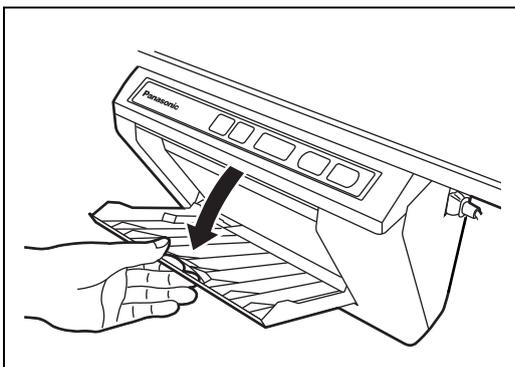
1



電源スイッチを「I」（入）にする。

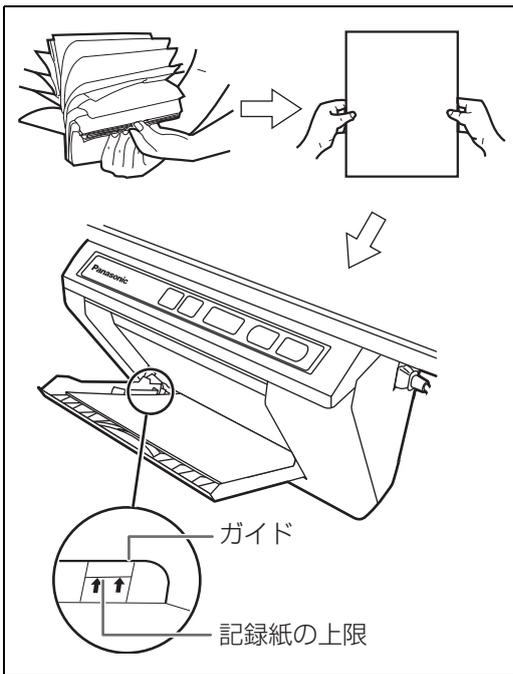
- マルチコピー／エラー表示に、記録紙がないことを表す“P”が点滅します。
- スクリーンがホーム位置以外の場合は、ホーム位置まで移動して停止します。

2



給紙カバーを左図のように手前に引いて開ける。

3



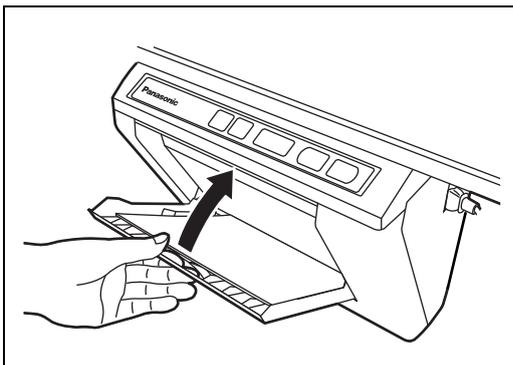
重送などによる紙づまり防止のため、記録紙をさばき、まっすぐにそろえてから、内側のガイドに沿って奥まで入れる。

- マルチコピー／エラー表示に“！”が点灯します。

お願い

- 記録紙は、必ずA4サイズのコピー用紙（60～90 g/m²）を使用してください。
- 記録紙は、ガイド上の記録紙の上限（左図参照）を超えないようにセットしてください。（64 g/m²用紙で約50枚）（上限を超えると紙づまりの原因になります）

4



給紙カバーを「カチッ」と音がするまで閉める。

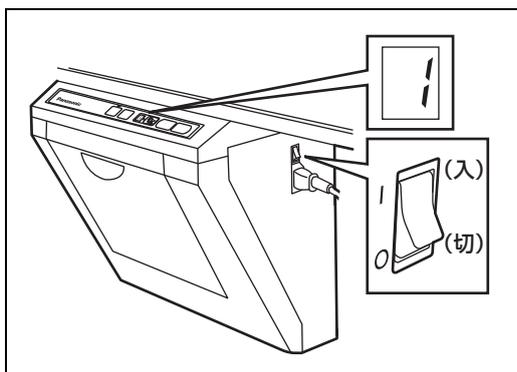
お願い

- 給紙カバーが閉まっていないと給紙できませんので、複写時は、必ず給紙カバーをしっかり閉めてください。

複写（コピー）する

スクリーンフィルム面上に書かれた文字やイラストを複写します。

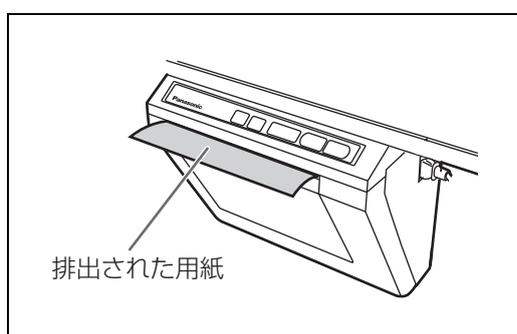
1



電源スイッチを「I」（入）にする。

- マルチコピー／エラー表示に“！”が点灯すれば複写できます。
- スクリーンがホーム位置以外の場合は、ホーム位置まで移動して停止します。

2



複写キー  を押す。

- スクリーンフィルム面上の文字やイラストが複写され、排紙口に排出されます。
- 排紙口には、10枚まで記録紙をためることができます。（10枚を超えると紙づまりの原因になります）
- 複数枚複写や、2画面複写などの詳細は、☞ 23ページ。

お願い

- 本機で複写した用紙を裏紙として、本機や他のコピー機またはプリンターで使用しないでください。（機器のローラーが汚れて、印字品質が低下したり、紙づまりや用紙汚れの原因になります）
- 本機でプリントした記録紙の印字面を下にして、上から文字を書かないでください。印字面のインクが下のテーブルや紙に写ります。
- 複写するときは、マーカー（大）で太く濃く書いてください。インタラクティブ用マーカー（小）で書いた線は欠けたりかすれたりすることがあります。
- 黄色系統の色の文字やイラストは、複写できません。

複写の種類と操作手順について

複写の種類	操作手順				
表側のスクリーン フィルム面を複写	<p> (複写) を押す</p>				
裏側のスクリーン フィルム面を複写	<p>①  (正転送り) を押して、複写したいスクリーンフィルム面を表側に移動させる</p> <p>②  (複写) を押す</p>				
複数枚複写 (9枚まで)	<p>①  (マルチコピー) で複写枚数 (1 ~ 9) を選択する</p> <p>②  (複写) を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 途中で止めたいときは、 (マルチコピー) を押す 				
<p>2画面複写</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーンの表側と裏側を1枚に複写します 	<p> (2画面複写) を押す</p> <p style="text-align: center;">2画面複写</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <table style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">表側</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">裏側</td> </tr> </table> </div>	1	2	表側	裏側
1	2				
表側	裏側				

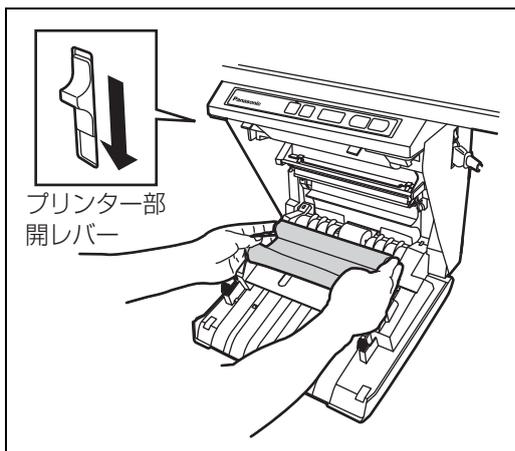
転写フィルムを交換する

濃度／フィルム残量表示ランプが点滅を始めると、残りの複写可能枚数は約 15 枚です。
さらに、マルチコピー／エラー表示に “r” が点滅すると、転写フィルム切れで複写できなくなります。
本機をお買い上げの販売店で別売の転写フィルム（UG-6001）をお求めのうえ、以下の手順で交換してください。

転写フィルム交換時のお願い

- 転写フィルムは、必ず当社指定の別売品（UG-6001）を使用してください。
（指定以外の転写フィルムを使用すると、印字品質の低下や故障の原因になります）
- 転写フィルムは使い捨てです。使用済みの転写フィルムは、「プラスチック製品」として地域条例に基づいて廃棄してください。
- 転写フィルムには、複写した内容が白抜きで残ります。情報の保護のため、使用済みの転写フィルムは、はさみなどで切って廃棄されることをおすすめします。

1



プリンター部開レバーを下げてプリンター部を開け、両手で転写フィルムを取り出す。

2

18～19ページの「転写フィルムを取り付ける」の手順3と4を行う。

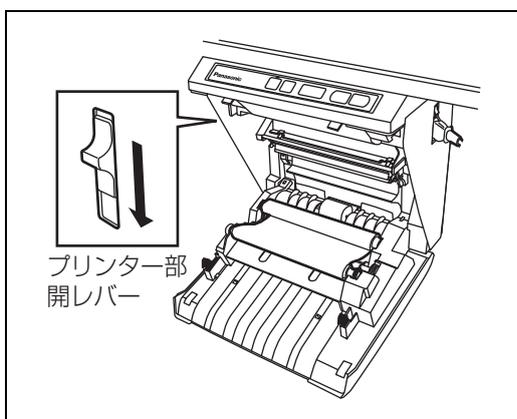
お願い

- プリンター部を閉めても “r” の点滅が消えないときは、転写フィルムにたるみがあるか、正しく取り付けられていません。
転写フィルムのたるみおよび正しく取り付けられているかを見直してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく複写できませんので、両方のラッチが掛かっていることをたしかめてください。

記録紙が詰まったとき

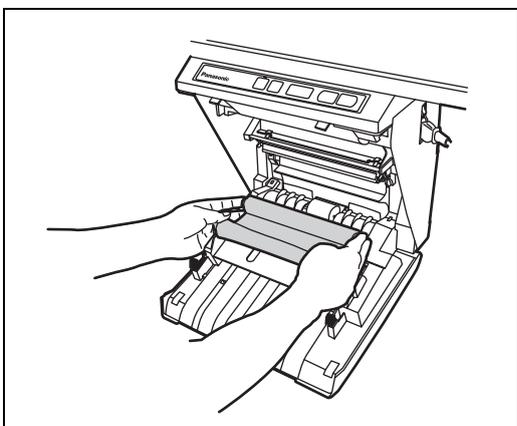
記録紙が排紙口から出てこないときや、マルチコピー／エラー表示に紙づまりを表す“J”が点滅しているときは、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1



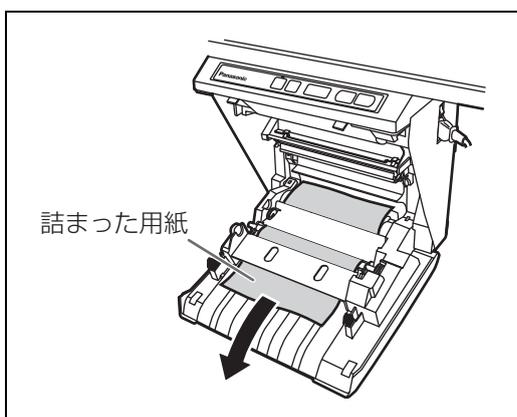
プリンター部開レバーを下げ、プリンター部を開ける。

2



転写フィルムを両手で取り出す。

3



詰まった用紙をすべて取り除く。

4

転写フィルムを取り付ける。

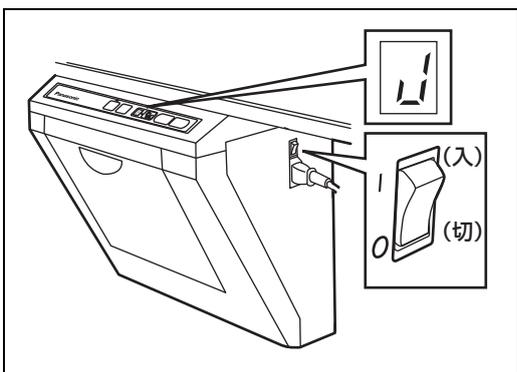
- 18～19ページの「転写フィルムを取り付ける」の手順3と4を参照してください。
- マルチコピー／エラー表示の“L”の点滅が消えます。

お願い

- プリンター部を閉めても“L”の点滅が消えないときは、転写フィルムにたるみがあるか、正しく取り付けられていません。
転写フィルムのたるみおよび正しく取り付けられているかを見直してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく複写できませんので、両方のラッチが掛かっていることをたしかめてください。

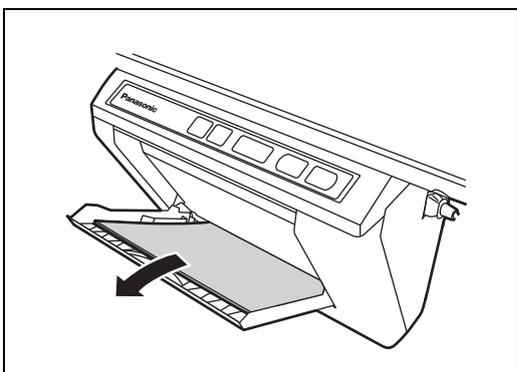
以上の手順を行っても“L”の点滅が消えないときは、正常に給紙されていない可能性があります。
次の手順にしたがって、再度記録紙をセットしてください。

1



電源スイッチを「O」(切)にする。

2

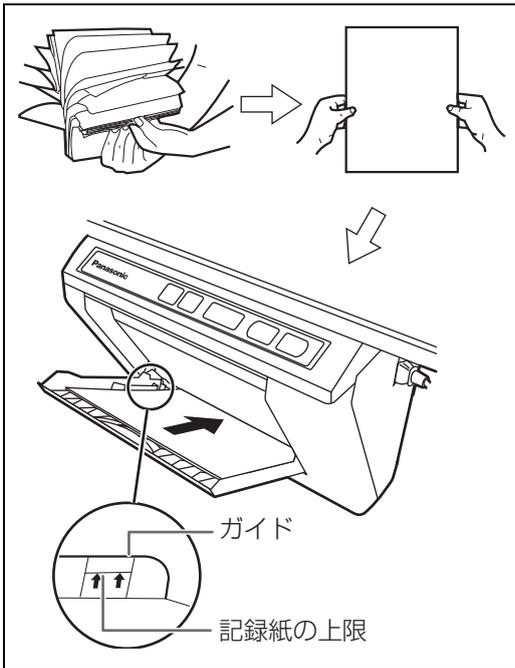


給紙カバーを開け、給紙カバー内に残っている記録紙をすべて取り出す。

お願い

- 記録紙を取り出すときに少し抵抗がかかりますが、そのまま引き抜いてください。

3

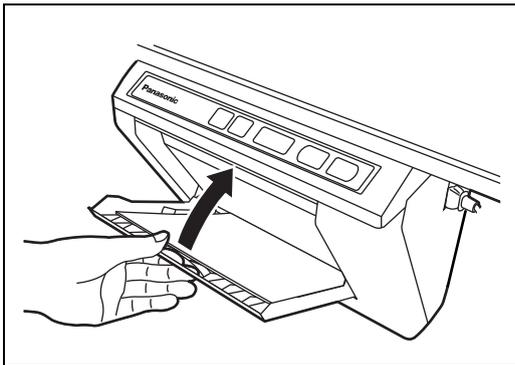


重送などによる紙づまり防止のため、記録紙をさばき、まっすぐにそろえてから、内側のガイドに沿って奥まで入れる。

お願い

- 記録紙は、ガイド上の記録紙の上限（左図参照）を超えないようにセットしてください。（64 g/m²用紙で約 50 枚）（上限を超えると、紙づまりの原因になります）

4

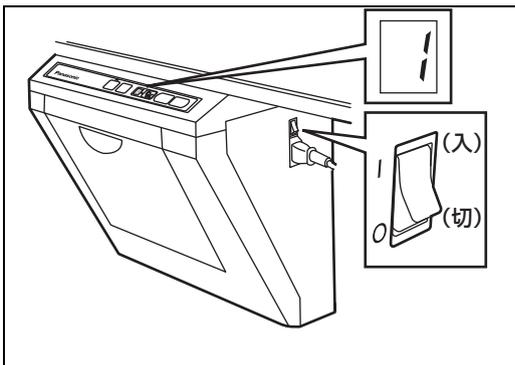


給紙カバーを「カチッ」と音がするまで閉める。

お願い

- 給紙カバーが閉まっていないと給紙できませんので、複写時は、必ず給紙カバーを閉じてください。

5



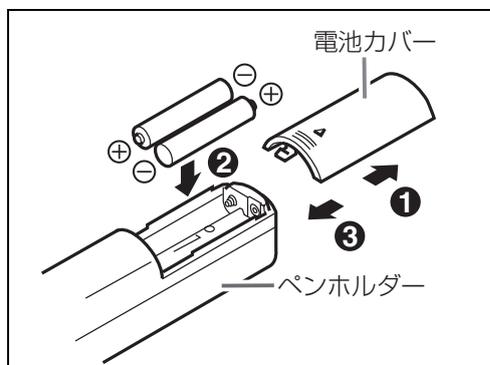
電源スイッチを「I」（入）にする。

- マルチコピー／エラー表示に“！”が点灯すれば複写できません。
- スクリーンがホーム位置以外の場合は、ホーム位置まで移動して停止します。

電子ペン／電子イレーザーの組み立て

電子ペンの組み立て

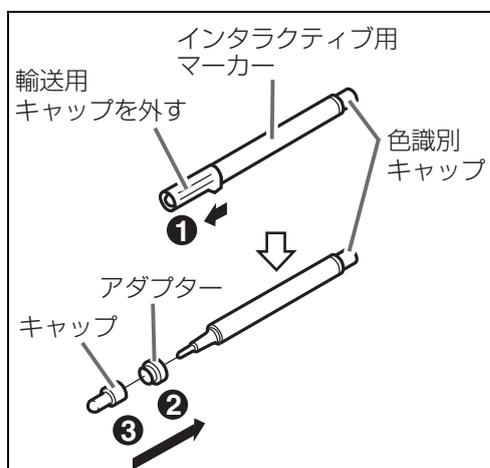
1



ペンホルダーの電池カバーを外して左図のように乾電池を挿入し、電池カバーを取り付ける。

- 乾電池は必ず単4形アルカリ乾電池を使用し、 \oplus \ominus の方向を間違えないように挿入してください。
- 乾電池を交換する場合は、新旧や異種の乾電池を混用しないでください。

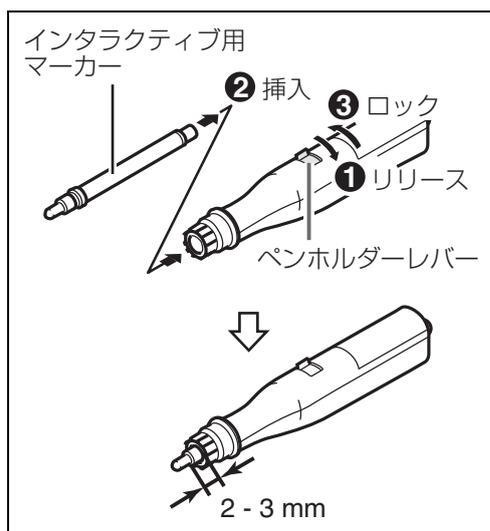
2



輸送用キャップを外したあと、キャップとアダプターを、インタラクティブ用マーカーに取り付ける。

- アダプターはインタラクティブ用マーカーに奥までしっかり取り付けてください。
- キャップと反対側に付いている、マーカーの色識別キャップは外さないでください。

3



ペンホルダーレバーをリリースの位置に回し、インタラクティブ用マーカーを挿入したあとペンホルダーレバーをロックの位置に戻す。

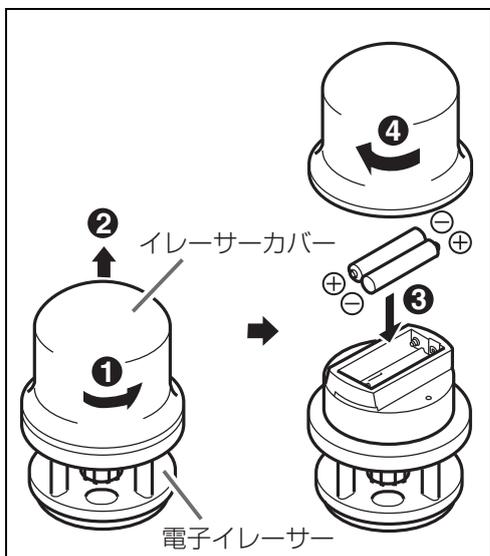
- マーカーをペンホルダーに入れて、「ジー」と音がするまで奥に押しつけながら、ペンホルダーレバーをロックしてください。
奥まで挿入しないと、マーカーの色検出が正常にできないことがあります。
- コンピューターの画面上に不要な線が表示される原因になりますので、インタラクティブ機能を使用している間は、インタラクティブパナボードのそばでマーカーを取り付けしないでください。

お願い

- ジー音が聞こえるまで、電子ペンをスクリーンフィルムにしっかりと押さえつけて操作してください。
- 電子ペンはスクリーンに垂直に立てて使用してください。傾けて使用すると位置ずれの原因になります。

電子イレーサーの組み立て

1



イレーサーカバーを外して右図のように乾電池を挿入し、イレーサーカバーを取り付ける。

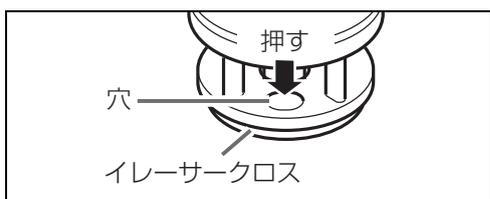
- 乾電池は必ず単4形アルカリ乾電池を使用し、 \oplus \ominus の方向を間違えないように挿入してください。
- 乾電池を交換する場合は、新旧や異種の乾電池を混用しないでください。

お願い

- ジー音が聞こえるまで、電子イレーサーのイレーサークロス部分をスクリーンフィルムにしっかりと押さえつけて操作してください。

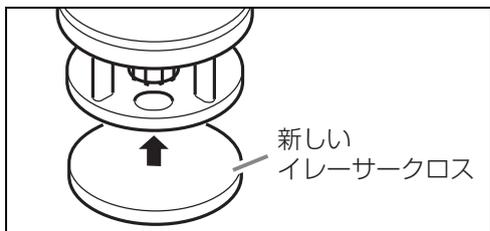
イレーサークロスの交換

1



クロス上部の穴よりイレーサークロスを押して外す。

2



新しいイレーサークロスのふちの全周を、下からかちっと音がするまで押して、電子イレーサーにはめ込む。

ドライバー／ソフトウェアのインストール

インタラクティブ機能、ボードイメージキャプチャー、Quick Image Navigator、Panasonic-DMS、プリンターや TWAIN ドライバーを使用するには、ドライバーとソフトウェアをお使いのコンピューターにインストールする必要があります。

コンピューターのシステム環境

コンピューター	CD-ROM ドライブが使用可能な IBM® PC/AT® 互換機
CPU	Pentium® II 以上のプロセッサ
インターフェース	USB 2.0 / USB 1.1*1
オペレーティングシステム	Windows® 98*2 / Windows Me*3 / Windows 2000*4 / Windows XP*5 / Windows Vista®*6 / Windows 7*7 ※ Windows XP 64 ビット版では動作しません。
メモリ	128 MB 以上 (Windows 98 / Windows Me) 256 MB 以上 (Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7)
ハードディスク	200 MB 以上の空き容量 (画像を保存する領域を除く)

*1 本機は Hi-Speed USB 2.0 に対応していません。お使いのコンピューターが Hi-Speed USB 2.0 に対応していても、本機は Full Speed USB 2.0 で動作します。

*2 Windows 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。

*3 Windows Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。

*4 Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 operating system です。

*5 Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

*6 Windows Vista の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

*7 Windows 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。

- この必要条件は、すべてのオペレーティングシステム、同梱アプリケーションソフトウェアが推奨する条件を満たすものではありません。
- Windows Vista Home Basic 64 ビット版では、スクリーンキーボード機能には対応していません。
- Windows Vista 64 ビット版および Windows 7 64 ビット版では、オリジナルキーボード機能には対応していません。

CD-ROM の内容

付属の CD-ROM には以下のものが含まれています。

- USB ドライバー
- プリンタードライバー
プリンタードライバーを使用して、コンピューターでご使用のアプリケーションソフトウェアから電子黒板のプリンターに印刷することができます。
- TWAIN ドライバー
- ボードイメージキャプチャー
ホワイトボードに書いた文字や図を簡単にコンピューターに取り込み、PDF ファイルに保存することができます。
- インタラクティブソフト
インタラクティブ機能を使用するには、インタラクティブソフトをインストールする必要があります。このソフトウェアは TWAIN ドライバーを使用しているときは使用することができません。
- 電子黒板の取扱説明書

お知らせ

- 「メニュー」画面には、Quick Image Navigator、Panasonic-DMS および Adobe® Reader® をダウンロードするインターネットサイトへのリンクボタンがあります。

コンピューターとの接続

電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する場合、下記の点にご注意ください。

- コンピューターに USB ドライバー、プリンタードライバー、TWAIN ドライバーをインストールした後、USB ケーブルを接続してください。(詳しくは「ドライバー／インタラクティブソフト／ボードイメージ キャプチャーのインストール」をご参照ください。)
- USB ハブを使用しないでください。USB ハブを使用した場合、誤動作を起こす可能性があります。
- 2 台以上の電子黒板を 1 台のコンピューターに接続しないでください。(コンピューターの動作が不安定になることがあります。)
- 本製品に付属の USB ケーブルをご使用ください。

ドライバー／インタラクティブソフト／ボードイメージキャプチャーのインストール

PC インターフェース機能を使用するために、以下の手順に従ってコンピューターに USB ドライバー、プリンタードライバー、TWAIN ドライバー、インタラクティブソフト、ボードイメージキャプチャーをインストールしてください。

お願い

- USB ケーブルの接続を指示する画面が表示されるまでは、USB ケーブルを接続しないでください。

1 コンピューターの電源を入れ、Windows*¹ を起動する。

- Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 をご使用の場合は、管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。

*¹ Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

- セットアップ画面が表示されます。
- セットアップ画面が表示されない場合は、エクスプローラーから CD-ROM を選び、Menu.exe をダブルクリックしてください。
- Windows Vista / Windows 7 で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、Menu.exe の実行をクリックしてください。

3 「ようこそ」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする。

4 [パナボードソフトウェア インストール] をクリックする。



- Windows Vista でユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[続行] を選択してインストールを続けてください。
- Windows 7 でユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[はい] を選択してインストールを続けてください。
- 付属の CD-ROM 内の取扱説明書を閲覧するためには、お使いのコンピューターに Adobe Reader または Acrobat® Reader がインストールされている必要があります。お使いのコンピューターがインターネットに接続されていれば Adobe のウェブサイトからダウンロードすることができます。

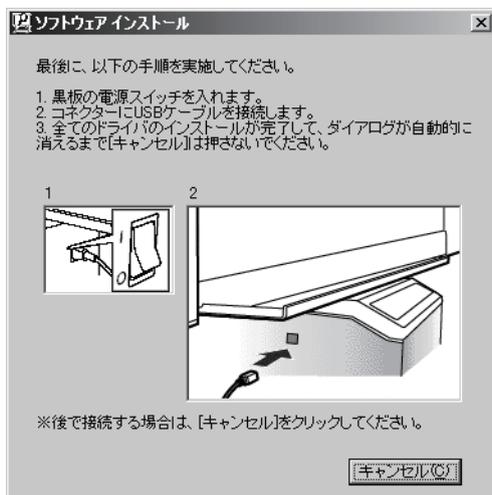
5 “使用許諾契約” の内容に同意される場合、[はい] をクリックする。

- 6** 以下の画面が表示されたら、電子黒板とコンピューターから USB ケーブルをはずし、**[OK]** をクリックする。



- Windows Vista / Windows 7 で「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません。」のメッセージが表示された場合、「このドライバーソフトウェアをインストールします」を選択してインストールを続けてください。
- Windows 98 / Windows Me をご使用の場合、オペレーティングシステムインストール用の CD-ROM、あるいはフロッピーディスクが必要となる場合があります。
- 再起動を促す画面が表示される場合は、再起動してください。

- 7** ファイルのコピーが終了し下の画面が表示されたら、電子黒板の電源を入れ、電子黒板とコンピューターを付属の USB ケーブルで接続する。



- 8** ウィザード画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストールを続ける。

- Windows XP をご使用の場合、プリンタードライバー用のファイルを選択するウィザードが表示されますので「windows\inf\oem##.inf」を選択してください。
- Windows XP SP2 をご使用の場合、Windows Update への接続ウィザードが表示されますので「いいえ」を選択してください。
- Windows 2000 または Windows XP をご使用の場合、警告ダイアログが表示されますので「はい」もしくは「続行」を選択してください。Windows Vista / Windows 7 の場合は、自動的に実行されます。
- 新しいハードウェアの検出ウィザードは、オペレーティングシステムによっては複数回表示されます。
- Windows 98 / Windows Me をご使用の場合、オペレーティングシステムインストール用の CD-ROM、あるいはフロッピーディスクが必要となる場合があります。

- 9** インストールが終了したら、**[OK]** をクリックする。

- プログラムメニューの [Panasonic] に [インタラクティブパナボード] と [ボードイメージキャプチャー] グループが登録されます。

お知らせ

- Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 をご使用の場合、インストールが完了して「終了」をクリックしたときに、電子黒板の電源が入っていて USB ケーブルが接続されていると、インタラクティブソフトが自動で起動されます。（詳細は、36 ページの「インタラクティブソフトを起動する」をご参照ください。）

Quick Image Navigator / Panasonic-DMS のインストール

ご使用の OS を確認の上、以下のソフトウェアをインストールしてください。

Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 の場合： Quick Image Navigator

Windows 98 / Windows Me の場合： Panasonic-DMS

Panasonic-DMS がすでにインストールされている場合は、上書きインストールしてください。

- 1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。
 - Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 をご使用の場合は、管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。
- 2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
 - セットアップ画面が表示されます。
 - セットアップ画面が表示されない場合は、エクスプローラーから CD-ROM を選び、Menu.exe をダブルクリックしてください。
 - Windows Vista / Windows 7 で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、Menu.exe の実行をクリックしてください。
- 3 “ようこそ” 画面が表示されたら、[次へ] をクリックする。
- 4 [Quick Image Navigator ダウンロード] をクリックする。



- Quick Image Navigator、Panasonic-DMS をダウンロードするには、お使いのコンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

- 5 Quick Image Navigator および Panasonic-DMS ダウンロード用の Web サイトが表示されたら、必要な Quick Image Navigator か Panasonic-DMS をダウンロードし、実行する。
- 6 画面の指示にしたがってインストールする。
- 7 インストールが終了したら、Windows を再起動する。
 - Quick Image Navigator または Panasonic-DMS の使用方法については、Quick Image Navigator または Panasonic-DMS 取扱説明書をダウンロードし、ご覧ください。
 - Quick Image Navigator または Panasonic-DMS 取扱説明書を閲覧するためには、お使いのコンピューターに Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

ドライバー／インタラクティブソフト／ボードイメージキャプチャー／Quick Image Navigator を削除するには

USB ドライバー、プリンタードライバー、TWAIN ドライバー、インタラクティブソフト／ボードイメージキャプチャー／Quick Image Navigator を削除する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。
 - Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 をご使用の場合は、管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。
- 2 [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を選択する。
(Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除] を選択します。)
(Windows Vista / Windows 7 の場合は、[プログラムのアンインストール] を選択します。)
- 3 以下から削除するソフトウェアを選択し、削除する。
USB ドライバー、TWAIN ドライバーおよびインタラクティブソフトを削除する場合：
「Panaboard UB-8 ソフトウェア」
ボードイメージキャプチャーを削除する場合：
「Panasonic ボードイメージキャプチャー」
Quick Image Navigator を削除する場合：
「Panasonic Quick Image Navigator」
- 4 画面の指示に従って操作する。
- 5 操作が終了したら、コンピューターを再起動する。

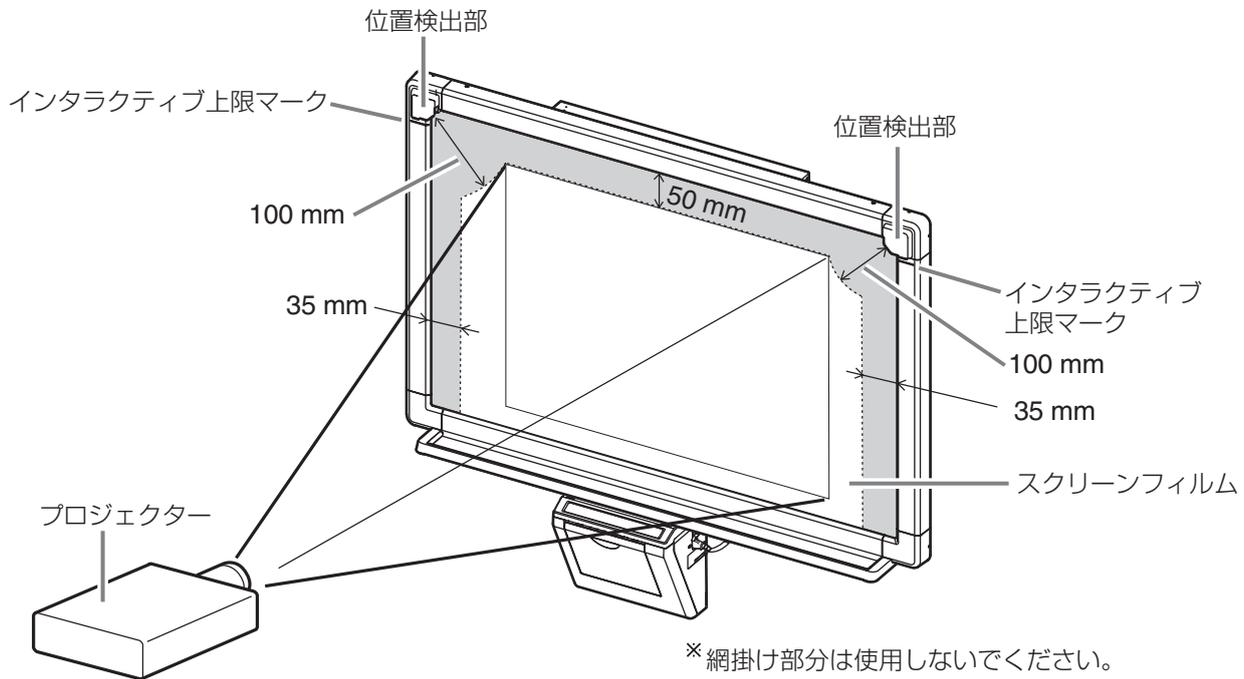
Panasonic-DMS を削除するには

インストールした Panasonic-DMS を削除する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。
- 2 Windows の [スタート] をクリックし、[プログラム] - [Panasonic] - [Panasonic Document Management System] - [アンインストール] をクリックする。
- 3 [OK] をクリックする。
- 4 操作が終了したら、コンピューターを再起動する。

プロジェクターモードで使用する

プロジェクターを使用する場合のお知らせとお願い



使
う

- プロジェクターを用いて画像を投影する場合は、インタラクティブパナボードのスクリーンに対して左右はほぼ中央に、上はスクリーン枠から 50 mm 以上空けて画像を映してください。スクリーンの上から 50 mm 以内、スクリーンの両側から 35 mm 以内、位置検出部から 100 mm 以内は電子ペンが正しく動作しないことがあります。
- 投影される画像が台形になっていると電子ペンの位置ずれの原因になります。投影される画像が長方形になるようにプロジェクターを調整してください。
- プロジェクターを用いてインタラクティブパナボードのスクリーンに画像を投影した場合、見る角度や位置によってはプロジェクターの光源が反射して、スクリーン上の画像が見えにくくなる場合があります。その場合は、プロジェクターの設置位置を調整するか見る場所を変えてください。
- プロジェクターを用いてコンピューターの画面を投影する場合、プロジェクターとコンピューターの解像度設定を最適にしてお使いください。

最適な設定になっていない場合、見えにくくなる場合があります。特にプロジェクターの解像度がコンピューターの解像度より低い場合は、インタラクティブパナボードのスクリーン上の画像の細かい線が切れて見えることがあります。

- プロジェクターを用いて画像を投影している場合は、以下のような原因により投影位置がずれると電子ペンの位置ずれが発生します。この場合は、再度スクリーンとの位置合せのためにキャリブレーション作業が必要となります。(キャリブレーションの方法に関しては、36 ページ)
 - プロジェクターの設置位置を変更した場合
 - インタラクティブパナボードの位置を変更した場合
 - プロジェクターのズーム機能などを使用して投影範囲・位置などを変更した場合
 - プロジェクターまたはコンピューターの表示解像度を変更した場合

特に、スタンドに取り付けたインタラクティブパナボードに不用意にぶつかってしまったような場合でも、インタラクティブパナボードの位置がずれてしまいますのでご注意ください。また、スタンドのキャスターは必ずロックした状態でご使用ください。

- プロジェクターを用いて画像を投影し、プレゼンテーションなどを行う場合、プロジェクターの光が目に入ることがあります。プロジェクターの光を直視すると目を痛める原因となりますので、十分にご注意ください。

インタラクティブソフトを起動する

- 1 インタラクティブパナボードの電源を入れる。
- 2 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。
- 3 Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 :
電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する。
 - インタラクティブソフトが自動で起動されません。

Windows 98 / Windows Me :

- [スタート] をクリックし、[プログラム] - [Panasonic] - [インタラクティブパナボード] - [インタラクティブパナボード] をクリックする。
- インタラクティブパナボードが検出されたことを示す画面が表示されます。

お知らせ

- 電子黒板操作パネルを表示している場合、インタラクティブソフトを起動できません。電子黒板操作パネルを閉じた後、再度インタラクティブソフトを起動してください。(81 ページ)
- USB ケーブル接続時、インタラクティブソフトが自動で起動しない設定に変更するには、以下の操作を行ってください。
 - (1) 電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する
 - (2) [スタート] をクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリック後、[スキャナとカメラ] アイコンをダブルクリックする。
 - Windows XP では、[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
 - Windows Vista では、[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリック後、[ハードウェアとサウンド] をクリックします。
 - Windows 7 では、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。

- (3) [Panaboard-UB8 USB Device Driver] アイコンをダブルクリックし、[イベント] タブの [デバイスのイベント] を実行しない] チェックボックスをチェックする。

- Windows 7 では [Panaboard UB-8 (A4)] アイコンを右クリックし、[スキャン プロパティ] をクリックします。ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[はい] を選択します。

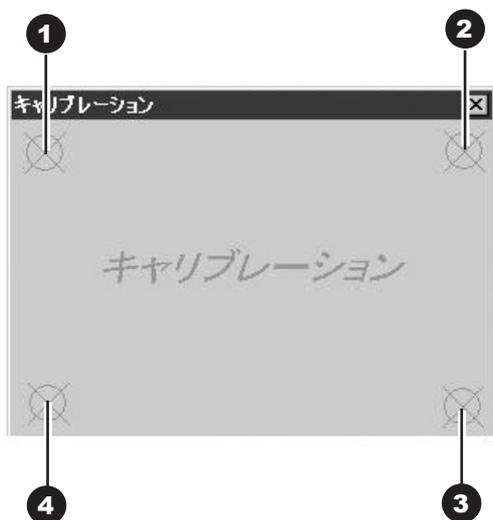
インタラクティブソフトを起動するには、[スタート] をクリックし、[プログラム] - [Panasonic] - [インタラクティブパナボード] - [インタラクティブパナボード] をクリックする。

(Windows XP / Windows Vista / Windows 7 では、[プログラム] ではなく [すべてのプログラム])

- 4 [OK] をクリックする。
 - 「モード選択」画面が表示されます。
- 5 [プロジェクター] アイコンをクリックし、[OK] をクリックする。
 - 「キャリブレーション」画面が表示されます。
 - インタラクティブパナボードとプロジェクターが動かないように固定されている場合、[前回のキャリブレーション情報を使用する] チェックボックスをチェックして以降のキャリブレーションをスキップすることができます。デスクトップの解像度が前回と異なる場合は、正しく機能しません。その場合は、チェックせずにキャリブレーションを実行してください。



- 6 コンピュータ画面の位置のキャリブレーションを実行するには、指定される4隅のポイントの中央を図の順番に、電子ペンで約2秒間押し当てる。



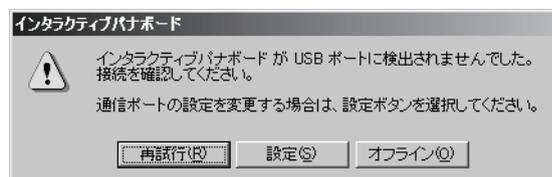
- 指定するポイントへの電子ペンによる押し当てが正しく終了すると、自動的に次のポイントに移動します。
- キャリブレーションが正常に終了すると、終了を知らせるメッセージボックスが表示され、電子ペンをマウスとして使うことができます。
- キャリブレーションが終了しプロジェクターモードが使用可能になると、タスクバーに  アイコンが表示され、デスクトップ描画ツールが自動的に表示されます。



[デスクトップ描画ツール]

お知らせ

- インタラクティブパナボードが検出できない場合は、検出できなかったことを通知する画面が表示されます。



この場合には、インタラクティブパナボードの状態、USBケーブルの接続を確認してください。

通信ポートの設定に関しては、38ページの「通信ポートを設定する」をご参照ください。

- インタラクティブパナボードを接続しないで、インタラクティブソフトを起動する場合は、検出できなかったことを通知する画面の [オフライン] をクリックします。オフライン状態では、プロジェクターモードまたはホワイトボードモードでファイルに記録した内容を再生・編集することができます。
- マウスカーソルがタスクバーの  アイコン上に位置したときに表示されるツールチップテキストで、現在のモードを判断することができます。
 - プロジェクターモード時：“インタラクティブパナボード (プロジェクター)”
 - ホワイトボードモード時：“インタラクティブパナボード (ホワイトボード)”

■ インタラクティブソフトを終了する

タスクバーの  アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [終了] をクリックする。

プロジェクターモードで使用する

ポップアップメニュー構成

タスクバーに登録された  アイコンを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のような操作を行うことができます。

モード選択 ... : (38 ページ)

プロジェクターモード/ホワイトボードモードを切り替えることができます。

キャリブレーション : (36 ページ)

キャリブレーションを行います。(プロジェクターモードのみ)

ツール : (43 ページ)

描画 : (43 ページ)

デスクトップ描画ツールを表示します。

スクリーンキーボード : (47 ページ)

スクリーンキーボードを表示します。

ビューウィンドウ : (43 ページ)

ビューウィンドウを表示します。

設定 :

通信ポート ... : (38 ページ)

インタラクティブパナボードとの通信ポートを設定します。

調整 ... : (39 ページ)

電子ペンまたは電子イレーサーの位置ずれを改善するように調整します。

オプション ... : (40 ページ)

インタラクティブソフトのオプションを設定することができます。

ヘルプ ... :

インタラクティブソフトのヘルプを表示します。

バージョン情報 ... :

インタラクティブソフトのバージョン情報を表示します。

終了 :

インタラクティブソフトを終了します。

■モードを切り替える

インタラクティブソフトを起動中は、プロジェクターモードとホワイトボードモードを自由に切り替えることができます。

1 タスクバーの アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [モード選択 ...] をクリックする。

または、タスクバーのアイコンをダブルクリックする。

- 「モード選択」画面が表示されます。

2 使用するモードにより、[プロジェクター] または [ホワイトボード] ボタンをクリックし、[OK] をクリックする。



お知らせ

- プロジェクターモードに切り替えた場合は、一度キャリブレーションが正常に行われていれば自動的にキャリブレーション画面は表示されませんので、必要に応じてキャリブレーションを行ってください。
- ホワイトボードモードに切り替えた場合は、自動的にホワイトボードウィンドウが表示されます。

■通信ポートを設定する

インタラクティブパナボードと通信を行うために通信ポートを設定します。

1 タスクバーの アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [設定] - [通信ポート ...] をクリックする。

- 「通信ポート」画面が表示されます。

- 2 インタラクティブパナボードと接続された通信ポートを自動的に検出する場合は、**自動検出**の【スタート…】をクリックする。リストから通信ポートを手動で選択する場合は、【ポート】ボックスの右側にある下向き矢印をクリックして、リストから選択する。



- 3 【OK】をクリックする。

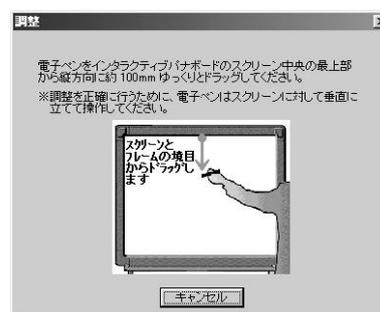
お知らせ

- USB なしの旧タイプのインタラクティブパナボードをお使いの場合は、COM ポートを選択することができます。

■位置ずれを調整する

インタラクティブパナボードを使用する環境などにより、電子ペンまたは電子イレーサーの位置ずれが大きくなることがあります。この場合は、以下の手順で調整を行うと位置ずれを改善することができます。

- 1 タスクバーの  アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの【設定】 - 【調整...】をクリックする。
 - 「調整」画面が表示されます。
- 2 電子ペンをインタラクティブパナボードのスクリーン中央最上部のフレームに沿って押しつけ、縦方向に約 100 mm ゆっくりとドラッグする。
 - 正常に調整されると、「調整」画面に調整終了メッセージが表示され、【キャンセル】が【OK】に変わります。



- 3 【OK】をクリックする。

お知らせ

- 正確な調整のために、電子ペンはインタラクティブパナボードのスクリーンフィルム面に対して垂直に立てて調整してください。電子ペンをななめにして調整すると位置ずれなどの原因になります。
- 調整を中止する場合には、コンピューターのマウスで【キャンセル】をクリックしてください。

プロジェクターモードで使用する

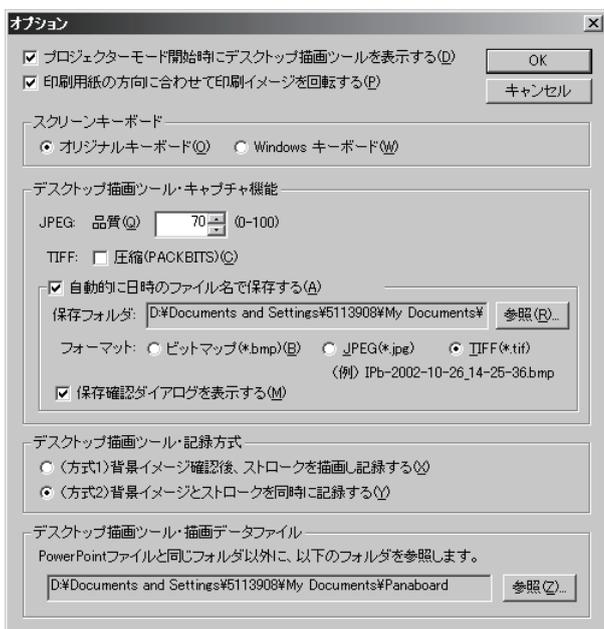
■ オプションを設定する

インタラクティブソフトのオプションを設定します。

1 タスクバーの  アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの **【設定】 - 【オプション ...】** をクリックする。

- 「オプション」画面が表示されます。

2 必要に応じて、以下のオプションを設定する。



• **プロジェクターモード開始時にデスクトップ描画ツールを表示する：**

選択されていると、プロジェクターモードを開始したときに、自動的にデスクトップ描画ツールを表示します。

• **印刷用紙の方向に合わせて印刷イメージを回転する：**

選択されていると、インタラクティブパナボードのプリンターで設定された用紙方向に合わせて、画像を回転して印刷します。

• **オリジナルキーボード：**

インタラクティブソフトのオリジナルキーボードを仮想的なキーボードとして使用します。(47 ページ)

• **Windows キーボード：**

Windows に付属のスクリーンキーボードを仮想的なキーボードとして使用します。(47 ページ)

※ Windows 98 / Windows Vista Home Basic / Windows 7 Starter では、Windows キーボードは使用できません。

※ Windows Vista Home Basic 64 ビット版では、スクリーンキーボード機能には対応していません。

※ Windows Vista 64 ビット版および Windows 7 64 ビット版では、オリジナルキーボード機能には対応していません。

※ Windows Vista および Windows 7 の場合、Windows キーボード (Tablet PC 入力パネル) の [オプション] ダイアログを開くと、電子ペンの操作ができなくなります。マウスで [オプション] ダイアログを閉じてください。

• **JPEG：**

JPEG ファイルにエクスポートする場合の品質レベルを設定します。

• **TIFF：**

TIFF ファイルにエクスポートする場合に圧縮するには、[圧縮 (PACKBITS)] をチェックします。

• **自動的に日時のファイル名で保存する：**

チェックすると、キャプチャしたときの日時で決まるファイル名で自動的にイメージファイルに保存します。

• **保存フォルダ：**

保存されるイメージファイルのフォルダを設定します。

• **フォーマット：**

保存されるイメージファイルの形式を設定します。

• **保存確認ダイアログを表示する：**

保存されるイメージファイル名を確認する画面を表示する場合は、チェックします。

• **(方式1) 背景イメージ確認後、ストロークを描画し記録する：**

背景イメージを確認する操作をまず行い、その後描画されたマーカー/イレーサーのデータを記録します。

• **(方式2) 背景イメージとストロークを同時に記録する：**

描画されているマーカー/イレーサーのデータと背景イメージを同時に記録します。

• **デスクトップ描画ツール・描画データファイル：** PowerPoint® * スライドショー用の描画データファイルを参照するとき、PowerPoint ファイルと同じフォルダ以外に参照するフォルダを設定します。

* PowerPoint の正式名称は、Microsoft® PowerPoint® presentation graphics program です。

3 [OK] をクリックする。

プロジェクターモードの基本的な操作の流れ

ここでは、インタラクティブソフトをプロジェクターモードで使用するときの基本的な操作の流れについて説明します。プロジェクターモードでの操作を全体的に把握するには、次のステップに従って操作を試みることをお勧めします。

プロジェクターモードでは、電子ペンのペン先のキャップを付けたままで使用します。

※ プロジェクターモードの説明では、電子ペンを「マウス」、インタラクティブパナボードのスクリーンに投影されたコンピューターの画面を「デスクトップ」と表現します。

ステップ1：電子ペンをマウスとして使う

インタラクティブソフトを起動するには、36 ページの「インタラクティブソフトを起動する」をご参照ください。

1 デスクトップ描画ツールが表示されていない場合は、タスクバーの  アイコンを右クリックし、[ツール] - [描画] をクリックする。

- デスクトップ描画ツールが表示されます。

2 電子ペンをマウスとして使用するには、デスクトップ描画ツールの  (矢印) をクリックする。

マウスとして使用するときの、クリックやドラッグの操作は以下のように行います。

左クリック：

投影されたコンピューター画面を電子ペンのペン先で押したあと、離す。

ダブルクリック：

投影されたコンピューター画面の同じ位置を、電子ペンのペン先で押して離す操作を2回繰り返す。

ドラッグ：

投影されたコンピューター画面を、電子ペンのペン先で押したまま動かす。

右クリック：

電子ペンのペンボタン ( 17 ページ) を押したまま、投影されたコンピューター画面をペン先で押したあと、離す。

詳細については、43 ページの「デスクトップ描画ツールの使い方」をご参照ください。

お願い

- プロジェクターを調整したり、プロジェクターやインタラクティブパナボードの設置位置を変更した場合は、インタラクティブパナボードのスクリーンに投影されるコンピューターの画面の位置が変わるため、電子ペンで操作する位置がずれる原因になります。この場合は、ポップアップメニューの [キャリブレーション] をクリックし、キャリブレーションを再度行ってください。
- プロジェクターモードでは、電子ペンはキャップをつけてお使いください。
- 電子ペン位置検出部を手などでおおわないでください。インタラクティブ機能がはたらきません。
- ジー音が聞こえるまで、電子ペンをスクリーンフィルムにしっかりと押しつけて操作してください。
- 電子ペンはスクリーンに垂直に立てて使用してください。傾けて使用すると位置ずれの原因になります。
- ダブルクリックが受け付けられないときは、正確に同じ位置を2回クリックしているかを確認してください。位置が異なるとダブルクリックとして認識されません。また、電子ペンを押して離す速度を変えて操作してみてください。この速度は Windows の [コントロールパネル] で設定されている、ダブルクリックの速度にもよります。

プロジェクターモードで使用する

ステップ 2：デスクトップ上で自由線を描画・消去する

- 1 自由線を描画するには、デスクトップ描画ツールの  (黒マーカー/赤マーカー/青マーカー/緑マーカー) のいずれかをクリックする。
 - マウスカーソルの形状が  に変更されま
- 2 デスクトップ上の、自由線を描画したい位置でマウスをドラッグする。
- 3 自由線を消去するには、デスクトップ描画ツールの  (イレーサー) をクリックする。
 - マウスカーソルの形状が  に変更されま
- 4 デスクトップ上に描画した、消したい自由線の上でマウスをドラッグする。

お知らせ

- マーカーの幅や色、イレーサーの大きさは変更することができます。(☞ 45 ページ)
- マーカーまたはイレーサーを選択し、ペンボタンを押しながら電子ペンでインタラクティブパナボードのスクリーンを押すとデスクトップ描画ツールを消すことができます。再度表示するには、表示したい場所でペンボタンを押しながら電子ペンで押します。
- インタラクティブパナボードの  (複写) を押すと、描画したデスクトップのイメージを印刷することができます。

ステップ 3：デスクトップのイメージと自由線を記録する

デスクトップ描画ツールでデスクトップに描画または消去された自由線のデータを、描画を開始する前のデスクトップのイメージとともに、独自形式のファイル (拡張子 ".ipb"、以下 IPB ドキュメントと呼びます) に記録することができます。

描画または消去された自由線はストローク単位で記録されており、あとでビューウィンドウに表示して再生したり編集することができます。

記録方法には 2 通りの方式があります。方式の設定に関しては、40 ページの「オプションを設定する」をご参照ください。

ここでは、[(方式 2) 背景イメージとストロークを同時に記録する] による記録方法を説明します。詳細な記録方法に関しては、52 ページの「描画データを IPB ドキュメントに記録する」をご参照ください。

- 1 デスクトップ描画ツールのマーカーとイレーサーを使用して、自由線を描画する。
- 2 デスクトップ描画ツールの  (記録開始) をクリックする。
 - 現在のページに記録するイメージがダイアログボックスに表示されます。
- 3 記録する場合は、[記録] または [記録後、描画を消去] をクリックする。
 - [記録] をクリックすると、記録した後それまでの描画をそのまま残します。
 - [記録後、描画を消去] をクリックすると、記録した後それまでの描画を消去します。
 - [キャンセル] をクリックすると、記録をキャンセルします。
- 4 デスクトップ描画ツールの  (記録終了) をクリックする。
 - 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5 ファイルを保存するフォルダとファイル名を入力する。

- ファイルの拡張子は、".ipb" となります。

6 [保存] をクリックする。

お願い

- 記録中はデスクトップの解像度を変更しないでください。ビューウィンドウで表示したときに、デスクトップのイメージが正しく表示されなくなります。
- 複数頁を記録する場合は、52 ページの「描画データを IPB ドキュメントに記録する」をご参照ください。

ステップ 4：記録したデータをビューウィンドウに表示する

デスクトップ描画ツールで記録したデスクトップの背景と自由線のデータ (IPB ドキュメント) は、ビューウィンドウに表示して再生したり編集することができます。

1 ビューウィンドウが表示されていない場合は、タスクバーの  アイコンを右クリックし、[ツール] - [ビューウィンドウ] をクリックする。

- ビューウィンドウが表示されます。

2 [ファイル] メニューの [開く ...] をクリックする。

- 「ファイルを開く」画面が表示されます。

3 ファイルを開きたいフォルダとファイル名を入力する。

- ファイルには、".ipb" 拡張子がついています。

4 [開く] をクリックする。

- 表示した IPB ドキュメントで、以下のような操作を行うことができます。

- IPB ドキュメントを別のファイル形式で保存する。(☞ 66 ページ)
- IPB ドキュメントのページを切り替える。(☞ 69 ページ)
- IPB ドキュメントのページを編集する。(☞ 70 ページ)
- IPB ドキュメントを再生する。(☞ 72 ページ)
- IPB ドキュメントの手書き文字を認識する。(☞ 73 ページ)
- IPB ドキュメントを印刷する。(☞ 75 ページ)

デスクトップ描画ツールの使い方



デスクトップ描画ツールとは、デスクトップで描画・消去・記録などの作業を行うためのツールです。

タスクバーのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [ツール]・[描画] をクリックすると表示されます。また、表示中にポップアップメニューの [ツール]・[描画] をクリックし、チェックをはずすと非表示になります。デスクトップ描画ツールは、常にデスクトップの前面に表示され、デスクトップ上に自由線を描画したり消去するためのツールを選択することができます。また、デスクトップに描画されたデータは、デスクトップイメージとともに IPB ドキュメントとして保存することができ、

あとでビューウィンドウで再生したり編集を行うことができます。

デスクトップ描画ツールでは、以下のツールを使用することができます。

ツール	はたらき
 矢印	電子ペンをマウスとして使用する。

プロジェクターモードで使用する

ツール	はたらき
 黒マーカー	マウスをドラッグしたときに、黒色の自由線を描画する。
 赤マーカー	マウスをドラッグしたときに、赤色の自由線を描画する。
 青マーカー	マウスをドラッグしたときに、青色の自由線を描画する。
 緑マーカー	マウスをドラッグしたときに、緑色の自由線を描画する。
 イレーサー	マウスをドラッグしたときに、描画した自由線を消去する。
 元に戻す	マーカー／イレーサーで描画された自由線を、ストロークごとに元に戻す。
 やり直し	元に戻した操作をもう1度やり直す。
 設定	マーカーの幅、色、イレーサーの大きさを変更する。
 オールクリア	それまでに描画していた自由線をすべて消去する。
 キャプチャ	デスクトップのイメージをイメージファイルとして保存する。
 印刷	デスクトップのイメージを印刷する。
 スクリーンキーボード (手書きパッド)	スクリーンキーボード／手書きパッドを表示または非表示にする。
 PowerPointスライドショー	PowerPoint スライドショーを実行または終了する。
 次へ	PowerPoint スライドショーの[次へ]と同じ操作を行う。
 前へ	PowerPoint スライドショーの[前へ]と同じ操作を行う。
 白背景	デスクトップの背景をホワイトボードの状態にする。再度クリックすると、ホワイトボードの状態が解除される。
 リフレッシュ	デスクトップ上に描画された自由線を再表示する。
 記録開始	記録が開始されるか、もしくは1ページ目が記録される。(記録方式によって変わる)
 記録終了	記録中のデータをファイルに保存し、記録を終了する。

ツール	はたらき
 ページ番号	データ記録中のページ番号を表示する。記録開始前は「0」で、記録開始ボタンが押された時点で「1」になり、あとは改ページごとにカウントアップされる。
 改ページ あるいは、 ページ記録	データ記録中の改ページを行う。(新しいページのためにデスクトップを切り替えることができるように、記録を一時停止する) あるいは、 2ページ目以降の記録を行う。
 縮小表示	デスクトップ描画ツールの表示を縮小する。
 拡大表示	デスクトップ描画ツールの表示を拡大する。

お知らせ

- デスクトップ描画ツールを閉じると、描画していた自由線はすべて消去されます。
-  (次へ)、 (前へ) は、PowerPoint スライドショーを実行しているときのみ表示されます。

■自由線を描画または消去する

- 1 デスクトップ描画ツールの  (黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー) のいずれかをクリックする。
 - マウスカーソルの形状が  に変更されません。
- 2 デスクトップ上の、自由線を描画したい位置でマウスをドラッグする。
- 3 デスクトップ描画ツールの  (イレーサー) をクリックする。
 - マウスカーソルの形状が  に変更されません。

- 4 デスクトップ上に描画した、消したい自由線の上でマウスをドラッグする。

お知らせ

- マーカーの幅や色、イレーサーの大きさは変更することができます。(45 ページ)
- 他のアプリケーションやウィンドウを操作した場合などに、デスクトップに描画した自由線が一時的に消えたり、位置がずれたりする場合があります。その場合は  (リフレッシュ) をクリックして、再表示を行ってください。

■ デスクトップに描画した自由線を再表示する

他のアプリケーションやウィンドウを操作した場合などに、デスクトップに描画した自由線が一時的に消えたり、位置がずれたりする場合があります。その場合は再表示を行ってください。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (リフレッシュ) をクリックする。

■ デスクトップ上のすべての自由線を消去する

それまでにデスクトップ上に描画した自由線をすべて消去します。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (オールクリア) をクリックする。

- 「オールクリア確認」画面が表示されます。

- 2 消去する場合は、[OK] をクリックする。

■ マーカー／イレーサーの設定を変更する

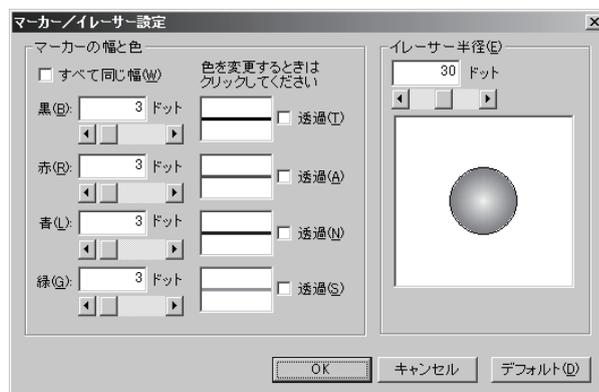
デスクトップ描画ツールで使用する、マーカーの幅と色、またはイレーサーの大きさを変更します。

マーカーの幅は4種類のマーカーごとに変更できません。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (設定) をクリックする。

- 「マーカー／イレーサー設定」画面が表示されます。

- 2 マーカーの幅や色、イレーサーの大きさを変更する



- **すべて同じ幅：**
チェックすると、すべての色のマーカーの幅を黒マーカーと同じ幅にすることができます。
- **黒／赤／青／緑：**
マーカーの幅（1～30ドット）や色を設定することができます。

幅を変更するには、

- マーカーの右側の（マーカー幅）に幅を入力する
- スクロールバーの左右の矢印をクリックする
- スクロールバーを左右にドラッグして、希望の幅を設定する

使
う

マーカーの色を変更するには、色を変更するマーカーの右側の（マーカー色）をクリックする。「色の設定」画面が表示されるので、基本色の中から変更したい色をクリックし、[OK] をクリックする。

- 透過：
[透過] をチェックすると、下地が透けて線が描画されます。
- イレーサー半径：
イレーサーの半径を 1～60 ドットの大きさに設定できます。

イレーサーの大きさを変更するには、
- イレーサー半径に大きさを入力する
- スクロールバーの左右の矢印をクリックする
- スクロールバーを左右にドラッグして、希望の幅を設定する。

お知らせ

- Windows Vista / Windows 7 の場合、透過する／しないのマーカーの切り替え回数が 10 回に制限されます。

3 [OK] をクリックする。

- それまでに描画した自由線にも新たな設定を適用するかどうかの設定の適用範囲画面が表示されます。

4 [すべての描画] か [これ以降の描画] をクリックする。

- [すべての描画]：
これまでに描画した線も新しい設定で描画し直されます。
- [これ以降の描画]：
これ以降に描画した線に対してのみ新しい設定が反映されます。

お知らせ

- マーカーの色を変更すると、デスクトップ描画ツールのマーカーボタンの右下に設定した色が表示されますが、マーカーカーソルの色は変わりません。

- マーカーを透過に設定すると、下地が透けて線が描画されます。下地が濃い色の場合は、線が見えにくくなりますので、[透過] はチェックしないでください。また、他の色の線と交わると黒くなります。

■ デスクトップの背景をホワイトボードの状態にする

デスクトップの背景を真っ白にすることができます。

1 デスクトップ描画ツールの (白背景) をクリックする。

- デスクトップの背景を元の状態に戻すには、再度  (白背景) をクリックします。

■ デスクトップをイメージファイルに保存する

デスクトップの背景イメージと描画した自由線を、イメージファイルとして保存します。

保存方法には、ファイル名を入力して保存する方法と、保存するときの日時によりファイル名を自動的に設定して保存する方法の 2 通りがあります。

保存方法、および JPEG ファイルの品質レベルなど保存に関する設定は、40 ページの「オプションを設定する」をご参照ください。

[A] ファイル名を入力して保存する場合

1 デスクトップ描画ツールの (キャプチャ) をクリックする。

- 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

2 ファイルを保存するフォルダとファイル名、ファイルの種類を入力する。

- [ファイルの種類] は下記のファイル形式を選択することができます。
ビットマップファイル (*.bmp) / JPEG ファイル (*.jpg) / TIFF ファイル (*.tif)

3 [保存] をクリックする。

- 「名前を付けて保存」画面で既存の TIFF ファイルを選択した場合、上書きか追加かを

確認する画面が表示されます。[はい] を選択すると、マルチページの TIFF ファイルとして既存ファイルの最後にイメージが追加されます。[いいえ] を選択すると、既存のイメージはクリアされ、シングルページの TIFF ファイルとして保存されます。

[B] 日時で決まるファイル名で自動的に保存する場合：

- 1 デスクトップ描画ツールの  (キャプチャ) をクリックする。
 - 保存確認の画面が表示されます。
- 2 [OK] をクリックする。
 - [次からこのダイアログを表示しない] をチェックすると、次から保存確認の画面が表示されなくなります。再度表示させるには、40 ページの「オプションを設定する」をご参照ください。

■ デスクトップのイメージを印刷する

デスクトップの背景イメージと描画した自由線を印刷します。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (印刷) をクリックする。
 - 「印刷」画面が表示されます。
- 2 プリンタ、印刷部数を設定する。
- 3 [OK] をクリックする。
 - 「印刷中」画面が表示されます。
 - 印刷を中止するには、「印刷中」画面の [キャンセル] をクリックします。

■ スクリーンキーボードを使用する

スクリーンキーボードとは、インタラクティブパナボードのスクリーン上に投影されたコンピューター画面に仮想的なキーボードを表示し、ユーザーがそのキーボードをクリックすることによって、データを入力するためのツールです。また、手書きパッドを使って手書きの英数字を認識させて、データを入力することもできます。

[A] スクリーンキーボードを使って文字を入力する

- 1 デスクトップ描画ツールの  (スクリーンキーボード (手書きパッド)) をクリックする。
 - 手書きパッドが表示される場合には、 (手書きパッド) をクリックしてスクリーンキーボードに切り替えます。手書きパッドの [キーボード] メニューで [標準キーボード] または [拡張キーボード] を選択して切り替えることもできます。
- 2 入力の対象となるアプリケーションウィンドウをアクティブにし、入力箇所にテキストカーソルを合わせる。
- 3 スクリーンキーボードの文字をクリックする。

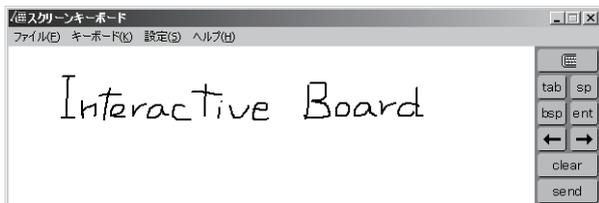
お知らせ

- スクリーンキーボードのタイトルに、現在入力の対象となっているアプリケーションのタイトル名が表示されます。
- Windows Vista Home Basic 64 ビット版では、スクリーンキーボード機能には対応していません。

プロジェクターモードで使用する

[B] 手書きパッドを使って文字を入力する

- 1 デスクトップ描画ツールの **☞** (スクリーンキーボード (手書きパッド)) をクリックする。
 - スクリーンキーボードが表示される場合には、スクリーンキーボードの **A/** アイコンをクリックして手書きパッドに切り替えます。スクリーンキーボードの [キーボード] メニューで [手書きパッド] を選択して切り替えることもできます。
- 2 入力の対象となるアプリケーションウィンドウをアクティブにし、入力箇所にテキストカーソルを合わせる。
- 3 マウスをドラッグして手書きパッド上に文字を描く。
 - 手書きの文字が認識され、手書きパッドの左上に表示されます。
- 4 手書きパッドの [send] をクリックする。



お知らせ

- 手書き文字を認識できるのは、英語のみです。
- [send] をクリックする前に [clear] をクリックすると、認識結果のテキストをクリアすることができます。
- スペルミスの可能性があるテキストには波線が表示されます。スペルミスの可能性があるテキストを修正するには、そのテキストの上で右クリックして代替候補を選択します。ただし、代替候補が表示されない場合もあります。
- [send] をクリックせずに、直ちにテキストを入力対象アプリケーションに送信することもできます。この設定は、[設定] メニューの [手書きパッド...] で行うことができます。(49 ページの「[F] 手書きパッドの設定を変更する」をご参照ください) ただし、この場合スペルチェックは行われません。
- 手書きパッドでは、英数字を直接アプリケーションに送信しますので、漢字変換はできません。

[C] スクリーンキーボードの表示方法を選択する

- 1 [キーボード] メニューで、以下のいずれかを選択する。
 - 拡張キーボード：
数値キーパッドが付いているキーボードを表示します。
 - 標準キーボード：
数値キーパッドが付いていないキーボードを表示します。
 - 手書きパッド：
手書き文字認識用の入力パッドを表示します。



標準キーボード

[D] スクリーンキーボードを常に画面の最上位に表示する

- 1 [設定] メニューの [常に最上位に表示する] をクリックして、チェックをつける。
 - スクリーンキーボードを常に画面の最上位に表示しない場合は、[設定] メニューの [常に最上位に表示する] をクリックして、チェックをはずします。

[E] スクリーンキーボードのサイズを変更する

- 1 [設定] メニューの [リサイズ] で、目的のスクリーンキーボードサイズをクリックする。
 - スクリーンキーボードウィンドウの端をドラッグして、スクリーンキーボードのサイズを変更することもできます。
 - スクリーンキーボードの縦横比は固定です。
 - ウィンドウサイズの幅は [中] サイズの半分～2倍までです。
 - [標準キーボード] あるいは [拡張キーボード] のときは上端と下端はドラッグしてもサイズ変更できません。
 - [手書きパッド] の時は上端はドラッグしてもサイズは変更できません。

[F] 手書きパッドの設定を変更する

- 1 [設定] メニューの [手書きパッド...] をクリックする。
 - 「手書きパッドの設定」画面が表示されます。
- 2 以下を設定する。



- **認識までの待ち時間：**
手書き入力直後から認識を開始するまでの待ち時間を設定します。
- **スペースを追加する：**
認識結果のテキストの最後にスペースを追加するかどうかを選択します。
- **認識結果を直接送信する：**
認識後直ちに入力対象アプリケーションに認識結果のテキストを送信するかどうかを選択します。

- 3 [OK] をクリックする。

■ PowerPoint スライドショーを操作する

デスクトップ描画ツールから、PowerPoint のスライドショーを実行することができます。また、スライドごとに描画したデータを記憶しているため、スライドを切り替えたときに対応する描画データがスライド上に描画されます。描画データはファイルに保存することができるため、次回スライドショーを実行するときにも再利用することができます。

PowerPoint スライドショーを操作するためには、コンピューターに PowerPoint 97 以降のソフトウェアがインストールされている必要があります。

※スライド上に描画されるデータは、デスクトップ描画ツールのデータであり、PowerPoint のデータではありません。

[A] スライドショーを実行する

- 1 デスクトップ描画ツールの  (PowerPoint スライドショー) をクリックする。
 - 「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 スライドショーを実行する PowerPoint ファイルのフォルダとファイル名を入力する。
 - 拡張子は、".ppt" です。
- 3 [開く] をクリックする。
 - PowerPoint が起動し、自動的にスライドショーが実行されます。

お知らせ

- PowerPoint ファイルが開かれているときに  (PowerPoint スライドショー) をクリックすると、「ファイルを開く」画面は表示されず、開いているファイルのスライドショーが自動的に実行され、操作対象になります。
- PowerPoint でスライドショーを実行した場合には、操作対象とするために  (PowerPoint スライドショー) をクリックしてください。

[B] スライドショーのスライドを切り替える

スライドショー実行中は、デスクトップ描画ツールに  (次へ)、 (前へ) ボタンが表示されます。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (次へ)、または  (前へ) をクリックする。
 - マーカーまたはイレーサー選択しているとき、一時的に矢印を選択してスライドを切り替える必要はありません。
 - PowerPoint スライドショーの [次へ]、または [前へ] と同じ動作をします。

お知らせ

- 描画ツールを使わずにスライドを切り替えると、描画データが表示されません。そのときは、 (リフレッシュ) をクリックすると表示されます。

[C] スライドショーを終了する

1 スライドショーの実行中にデスクトップ描画ツールの  (PowerPoint スライドショー) をクリックする。

- PowerPoint スライドショーが終了します。

お知らせ

-  (PowerPoint スライドショー) をクリックせずに、 (次へ) などによりスライドショーが終了した場合でも、デスクトップ描画ツールは自動的にスライドショーの終了を認識し、終了状態になります。

■ スライドに描画したデータを保存する

デスクトップ描画ツール終了時、スライドにマーカーまたはイレーサーを使用して描画または消去された自由線のデータを、描画データファイルとして保存するかどうか確認するための画面が表示されます。

この画面で保存するように指示すると、自由線のデータが PowerPoint ファイルと同じファイル名の描画データファイル (拡張子 ".ips") として保存されます。保存フォルダは、デフォルトで PowerPoint ファイルと同じフォルダになります。このフォルダに保存ができない場合は、40 ページの「オプションを設定する」で設定されているフォルダに保存されません。

お知らせ

- 描画データは、独自形式の描画データファイル (拡張子 ".ips") に保存されます。

■ 保存しておいた描画を使用してスライド上に描画する

 (PowerPoint スライドショー) をクリックしてスライドショーを実行するときに、PowerPoint ファイルと同じフォルダ、または 40 ページの「オプションを設定する」で設定されているフォルダに、PowerPoint ファイルと同じ名前の描画データファイルが存在する場合、使用するかどうか確認するダイアログが表示されます。使用するように指示すると、描画データファイルから自由線のデータが読み込まれ、スライド上に描画されます。

お願い

- 一度保存された描画データファイルが不要になった場合は、エクスプローラなどでファイルを削除してください。

■ 描画データを IPB ドキュメントに記録する

インタラクティブパナボード上での作業を記録するためには、IPB ドキュメントを作成します。

記録方法には 2 通りの方式があります。方式の設定に関しては、40 ページの「オプションを設定する」をご参照ください。

[A] [(方式1) 背景イメージ確認後、ストロークを描画し記録する] による記録方法

- 1 デスクトップ描画ツールの  (記録開始) をクリックする。
 - デスクトップのイメージが「記録イメージ」画面に表示されます。
- 2 1 ページ目の背景イメージとして登録する場合は、[OK] をクリックする。
 - 描画された自由線がある場合には、描画を消去するかどうかを確認する画面が表示されます。
[はい] をクリックすると、背景イメージ登録後、それまでの描画を消去します。[いいえ] をクリックすると、背景イメージ登録後、それまでの描画をそのまま残します。
- 3 デスクトップ描画ツールの  (黒マーカー/赤マーカー/青マーカー/緑マーカー)、 (イレーサー) を使用して自由線を描画する。
- 4 ページを追加する場合は、 (改ページ) をクリックする。これ以上ページを追加しない場合は、手順 11 に進みます。
 - 現在のページに記録したイメージが「記録イメージ」画面に表示されます。
- 5 記録する場合は、[OK] をクリックする。
 - それまでに描画した自由線を消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

- 6 描画を消去して新しいページを追加する場合は、[はい] をクリックする。描画を残して新しいページを追加する場合は、[いいえ] をクリックする。
 -  (矢印) が自動的に選択され、デスクトップを切り替えることができるように記録一時停止状態となります。この状態では、 (記録開始) と  (白背景) 以外のデスクトップ描画ツールは使用できません。
- 7 必要に応じてデスクトップを切り替える。
- 8 新しいページの記録を再開する場合は、 (記録開始) をクリックする。
 - デスクトップのイメージがダイアログボックスに表示されます。
- 9 新しいページの背景イメージとして登録する場合は、[OK] をクリックする。
 - すべてのデスクトップ描画ツールが使用できるようになります。
- 10 複数のページを追加する場合は、手順 3 から手順 9 の操作を繰り返す。
- 11 デスクトップ描画ツールの  (記録終了) をクリックする。
 - 現在のページに記録したイメージがダイアログボックスに表示されます。
- 12 記録する場合は、[OK] をクリックする。
 - 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
- 13 ファイルを保存するフォルダとファイル名を入力する。
 - ファイルの拡張子は、".ipb" となります。
- 14 [保存] をクリックする。

[B] [(方式2) 背景イメージとストロークを同時に記録する] による記録方法

- 1 デスクトップを必要に応じて切り替え、デスクトップ描画ツールの  (黒マーカー/赤マーカー/青マーカー/緑マーカー)、 (イレーサー) を使用して自由線を描画する。
- 2 デスクトップ描画ツールの  (記録開始) をクリックする。
 - 現在のページに記録するイメージが「記録イメージ」画面に表示されます。
- 3 記録していい場合は、[記録]、または [記録後、描画を消去] をクリックする。
 - [記録] をクリックすると、記録した後それまでの描画をそのまま残します。
 - [記録後、描画を消去] をクリックすると、記録した後それまでの描画を消去します。
 - [キャンセル] ボタンをクリックすると、記録をキャンセルします。
- 4 複数のページを追加する場合は、自由線を描画し  (記録開始) のかわりに  (ページ記録) をクリックする。
- 5 デスクトップ描画ツールの  (記録終了) をクリックする。
 - 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
- 6 ファイルを保存するフォルダとファイル名を入力する。
 - ファイルの拡張子は、".ipb" となります。
- 7 [保存] をクリックする。

お願い

- (方式1)、(方式2) とともに記録中は、デスクトップの解像度を変更しないでください。ビューウィンドウで表示したときに、デスクトップのイメージが正しく表示されなくなります。
- 方式1の場合、データ記録中のページ番号は、デスクトップ描画ツールの  (ページ

番号) で確認することができます。記録開始前は「0」で、 (記録開始) が押された時点で「1」になり、あとは改ページごとにカウントアップされます。会議中に、インタラクティブパナボードのスクリーン上に投影されたコンピューター画面を切り替える場合は、 (改ページ) を行って新しいページの背景イメージを登録してから描画し始めてください。

- 方式2の場合、データ記録中のページ数は、デスクトップ描画ツールの  (ページ番号) で確認することができます。記録開始前は「0」で、 (ページ記録) が押されるごとにカウントアップされます。
- 記録できるページ数は最大で50ページです。

プロジェクターモードで使用する

■ デスクトップ描画ツールの表示を切り替える

デスクトップ描画ツールは、3段階の大きさで表示することができます。

- **標準表示：**
すべてのボタンが表示されます。
- **マーカー表示：**
自由線の描画や消去のみを行うための表示です。イメージファイルへの保存や IPB ドキュメントへの記録のためのボタンは表示されません。
- **縮小表示：**
デスクトップ描画ツールにより下の画面が隠れてしまうような場合は、この縮小表示を行うことで、隠れる部分を最小限にすることができます。

[標準表示]・[マーカー表示]・[縮小表示] の切り替えは、 (縮小表示)、または  (拡大表示) をクリックすることで行います。

標準表示



マーカー表示



縮小表示



- 「縮小表示」のときは、ツールの変更はできません。
- PowerPoint スライドショー実行中は、「標準表示」と「マーカー表示」に  (次へ) と  (前へ) ボタンが表示されます。

お知らせ

- マーカーまたはイレーサーを選択し、ペンボタンを押しながら電子ペンでインタラクティブボードのスクリーンを押すとデスクトップ描画ツールを消すことができます。再度表示するには、表示したい場所でペンボタンを押しながら電子ペンで押します。

ホワイトボードモードで使用する

インタラクティブソフトを起動する

- 1 インタラクティブパナボードの電源を入れる。
- 2 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。
- 3 Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 :
電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する。
 - インタラクティブソフトが自動で起動されます。Windows 98 / Windows Me :
[スタート] をクリックし、[プログラム] - [Panasonic] - [インタラクティブパナボード] - [インタラクティブパナボード] をクリックする。
 - インタラクティブパナボードが検出されたことを示す画面が表示されます。

お知らせ

- 電子黒板操作パネルを表示している場合、インタラクティブソフトを起動できません。電子黒板操作パネルを閉じた後、再度インタラクティブソフトを起動してください。(☞ 81 ページ)
- USB ケーブル接続時、インタラクティブソフトが自動で起動しない設定に変更するには、以下の操作を行ってください。
 - (1) 電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する
 - (2) [スタート] をクリックし、[設定]- [コントロールパネル] をクリック後、[スキャナとカメラ] アイコンをダブルクリックする。
 - Windows XP では、[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
 - Windows Vista では、[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリック後、[ハードウェアとサウンド] をクリックします。
 - Windows 7 では、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
 - (3) [Panaboard-UB8 USB Device Driver] アイコンをダブルクリックし、[イベント] タブの [デバイスのイベントを実行しない] チェックボックスをチェックする。

- Windows 7 では [Panaboard UB-8 (A4)] アイコンを右クリックし、[スキャン プロパティ] をクリックします。ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[はい] を選択します。

インタラクティブソフトを起動するには、[スタート] をクリックし、[プログラム] - [Panasonic] - [インタラクティブパナボード] - [インタラクティブパナボード] をクリックする。
(Windows XP / Windows Vista / Windows 7 では、[プログラム] ではなく [すべてのプログラム])

- 4 [OK] をクリックする。
 - 「モード選択」画面が表示されます。
- 5 [ホワイトボード] アイコンをクリックし、[OK] をクリックする。
 - ホワイトボードウィンドウが表示され、タスクバーに  アイコンが表示されます。

お知らせ

- インタラクティブパナボードが検出できない場合は、検出できなかったことを通知する画面が表示されます。
この場合には、インタラクティブパナボードの状態、USB ケーブルの接続を確認してください。
通信ポートの設定に関しては、38 ページの「通信ポートを設定する」をご参照ください。
- インタラクティブパナボードを接続しないで、インタラクティブソフトを起動する場合は、検出できなかったことを通知する画面の [オフライン] をクリックします。
オフライン状態では、ホワイトボードモードでファイルに記録した内容を再生・編集することができます。
- マウスカーソルがタスクバーの  アイコン上に位置したときに表示されるツールチップテキストで、現在のモードを判断することができます。
 - プロジェクターモード時：「インタラクティブパナボード (プロジェクター)」
 - ホワイトボードモード時：「インタラクティブパナボード (ホワイトボード)」

■ インタラクティブソフトを終了する

タスクバーの  アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [終了] をクリックする。

ホワイトボードモードで使用する

ポップアップメニュー構成

タスクバーに登録された  アイコンを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のような操作を行うことができます。

モード選択 ... : (38 ページ)

プロジェクターモード／ホワイトボードモードを切り替える。

ホワイトボードウィンドウを開く／閉じる :

このメニューを選択することで、ホワイトボードウィンドウを開いたり閉じたりできます。

開く／閉じるメニューは選択するたびに入れ替わります。

設定 :

通信ポート ... : (38 ページ)

インタラクティブパナボードとの通信ポートを設定します。

調整 ... : (39 ページ)

電子ペンまたは電子イレーサーの位置ずれを改善するように調整します。

オプション ... : (40 ページ)

インタラクティブソフトのオプション設定のうち、印刷用紙の方法に合わせて印刷イメージを回転するの項目のみ設定することができます。

ヘルプ ... :

インタラクティブソフトのヘルプを表示します。

バージョン情報 ... :

インタラクティブソフトのバージョン情報を表示します。

終了 :

インタラクティブソフトを終了します。

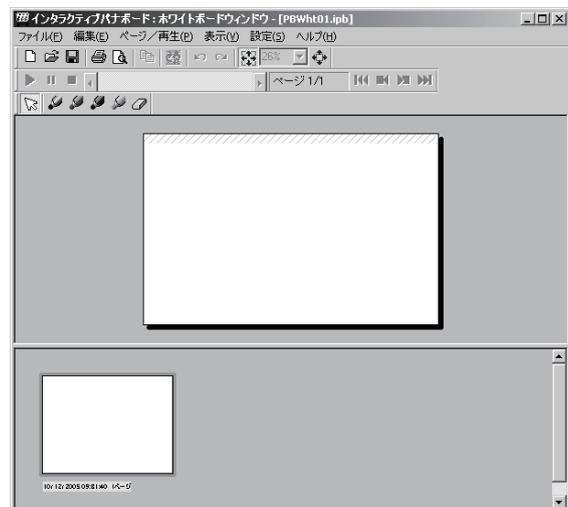
ホワイトボードモードの基本的な操作の流れ

ここでは、インタラクティブソフトをホワイトボードモードで使用するときの、基本的な操作の流れについて説明します。ホワイトボードモードでの操作を全体的に把握するには、次のステップに従って操作してみてくださいをお勧めします。

ステップ 1 : インタラクティブパナボードのスクリーン上に自由線を描画・消去する

インタラクティブソフトを起動するには、55 ページの「インタラクティブソフトを起動する」をご参照ください。

- 1 ホワイトボードウィンドウが表示されていない場合は、タスクバーの  アイコンを右クリックし、[ツール] - [ホワイトボードウィンドウを開く] をクリックする。
 - ホワイトボードウィンドウが表示されます。
- 2 電子ペンのキャップを外して、インタラクティブパナボードのスクリーン上に、電子ペンで描画する。



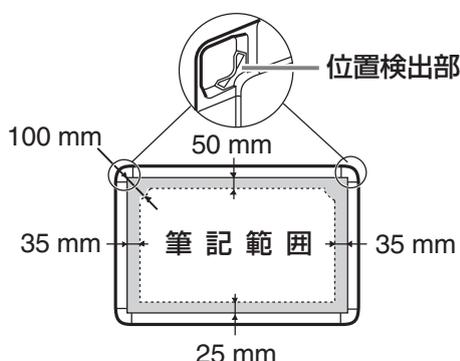
- スクリーン上に描画された自由線の軌跡が、ホワイトボードウィンドウにリアルタイムに再現されます。

3 電子イレーサーで、インタラクティブパナボードのスクリーン上に描画した自由線を消去する。

- スクリーン上で消去された部分が、ホワイトボードウィンドウでも消去されます。
- これらの描画や消去の作業は自動的に記録されます。

お願い

- ホワイトボードモードのときの筆記範囲は図のとおりです。図の網掛け部分は筆記できません。



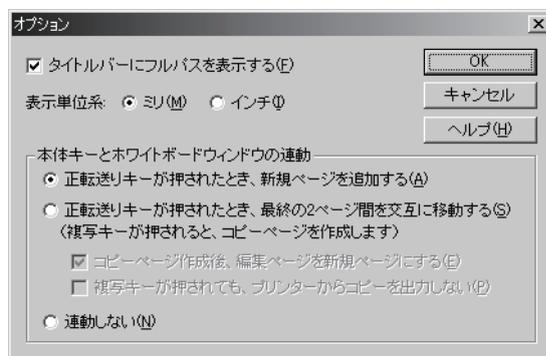
- 位置検出部を手などでおおわないでください。インタラクティブ機能が正常にはたきません。
- ジー音が聞こえるまで、電子ペンおよび電子イレーサーのイレーサークロス部分をスクリーンフィルム面にしっかりと押えつけて操作してください。
- ホワイトボードウィンドウに不要な線が表示されることがありますので、ホワイトボードモードを使用している間は、インタラクティブパナボードの近く（1m 以内）で以下のことは行わないでください。
 - 電子ペンのインタラクティブ用マーカー（小）交換
 - 電子ペンのキャップの付け外し
 - 電子ペンのペン先を押す
- 電子ペンのインタラクティブ用マーカー（小）を交換する場合は、マーカーをペンホルダーに入れて、「ジー」と音がするまで奥に押しつけながら、ペンホルダーレバーをロックしてください。奥まで挿入しないと、マーカーの色検出が正常にできないことがあります。（28 ページの「電子ペンの組み立て」をご参照ください。）

ステップ 2：正転送りキーを押して新規ページを追加する

ホワイトボードウィンドウのオプション設定で [正転送りキーが押されたとき、新規ページを追加する] を選択した場合、インタラクティブパナボードの ◀ (正転送り) を押すと IPB ドキュメントに新規ページを追加することができます。

この方法は、スクリーンの片面だけでひとつの議題が終わり、スクリーンを送って次の議題に進むような議事を行う場合にお勧めです。

- 1** [設定] メニューの [オプション] をクリックする。
 - 「オプション」画面が表示されます。
- 2** [正転送りキーが押されたとき、新規ページを追加する] を選択する。（これが初期設定です）



- 3** [OK] をクリックする。
- 4** 自由線を描画し、インタラクティブパナボードの ◀ (正転送り) を押す。
 - スクリーンが送られ、新規ページが IPB ドキュメントの最後のページに追加されます。
- 5** もし、スクリーンに何か書かれていたらきれいに消す。

6 ステップ 4 と 5 を繰り返して会議を進める。

お知らせ

- トータルページが 50 ページになるまで新規ページを追加することができます。
- インタラクティブパナボードの  (複製) を押すとスクリーンに書かれた描画をコピーすることができます。

ステップ 3：正転送りキーを押してページを変更する

ホワイトボードウィンドウのオプション設定で正転送りキーが押されたとき、最終の 2 ページ間を交互に移動するを選択した場合、インタラクティブパナボードの  (正転送り) を押すとスクリーンが送られそれと連動して IPB ドキュメントのページが選択されます。

この方法は、スクリーンを切り替えながら両面を使用して会議をおこなう場合にお勧めです。

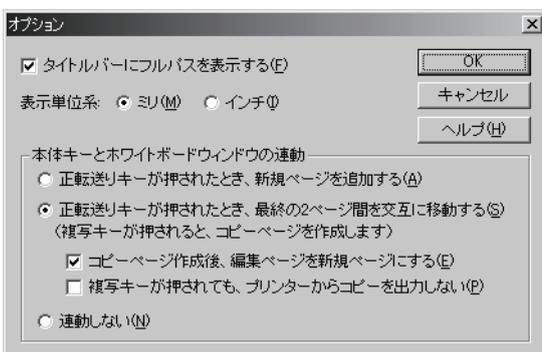
詳細については、80 ページの「[G] オプションを設定する」をご参照ください。

1 [設定] メニューの [オプション] をクリックする。

- 「オプション」画面が表示されます。

2 正転送りキーが押されたとき、最終の 2 ページ間を交互に移動するを選択する。

- インタラクティブパナボードの複製機能は IPB ドキュメントの編集ページを複製 (バックアップ) する機能に変わります。



3 [OK] をクリックする。

- 新規ページが追加され、IPB ドキュメントのトータルページは 2 ページになります。
- 2 ページ以上ある IPB ドキュメントを開く場合は、最後のページの一つ前のページが選択されます。

4 自由線を描画し、インタラクティブパナボードの  (複製) を押す。

- IPB ドキュメントの最終 2 ページの前に編集ページのコピーが挿入されます。

5 インタラクティブパナボードの  (正転送り) を押す。

- スクリーンが送られ、IPB ドキュメントの最後のページが選択されます。

6 自由線を描画し、必要ならスクリーンの裏面に戻るためにインタラクティブパナボードの  (正転送り) を押す。

- スクリーンが送られ、IPB ドキュメントの最後のページの一つ前のページが選択されます。

7  (正転送り) を押してスクリーンを変更しながら会議を進める。

ステップ 4：描画データをファイルに保存する

ホワイトボードウィンドウに表示された、インタラクティブパナボードのスクリーン上に描画または消去された自由線のデータは、自動的に記録されており、独自形式のファイル（拡張子 ".ipb"、以下 IPB ドキュメントと呼びます）に保存することにより会議の内容をあとで再生したり編集することができます。

1 [ファイル] メニューの [名前を付けて保存 ...] をクリックする。

- 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

2 ファイルを保存するフォルダとファイル名を入力する。

- ファイルの拡張子は、".ipb" となります。

3 [保存] をクリックする。

ステップ 5：記録したデータを表示する

ホワイトボードウィンドウで記録した自由線のデータ（IPB ドキュメント）は、ホワイトボードウィンドウに表示して、再生したり編集することができます。

ホワイトボードウィンドウが表示されていない場合は、タスクバーの  アイコンを右クリックし、[ツール] - [ホワイトボードウィンドウを開く] をクリックしてください。

1 [ファイル] メニューの [開く ...] をクリックする。

- 「ファイルを開く」画面が表示されます。

2 ファイルを開きたいフォルダとファイル名を入力する。

- ファイルには、".ipb" 拡張子がついています。

3 [開く] をクリックする。

お知らせ

- 表示した IPB ドキュメントで、以下のような操作を行うことができます。

- IPB ドキュメントを別のファイル形式で保存する。（[☞ 66 ページ](#)）
- IPB ドキュメントのページを切り替える。（[☞ 69 ページ](#)）
- IPB ドキュメントのページを編集する。（[☞ 70 ページ](#)）
- IPB ドキュメントを再生する。（[☞ 72 ページ](#)）
- IPB ドキュメントの手書き文字を認識する。（[☞ 73 ページ](#)）
- IPB ドキュメントを印刷する。（[☞ 75 ページ](#)）

ビューウィンドウ／ホワイトボードウィンドウ

ビューウィンドウ／ホワイトボードウィンドウについて

■ プロジェクターモードでのビューウィンドウについて

ビューウィンドウは、プロジェクターモードのデスクトップ描画ツールで IPB ドキュメントに記録したデスクトップの背景と自由線のデータを再生・編集するためのウィンドウです。

ビューウィンドウでは、IPB ドキュメントを表示し、マーカー／イレーサーで加筆／修正したり、表示中のページの全体または一部を汎用イメージ形式として、他のアプリケーションにコピーすることができます。また手書きの文字を認識して、テキストとして出力することもできます。

ビューウィンドウを表示するには、43 ページの「**ステップ 4：記録したデータをビューウィンドウに表示する**」をご参照ください。

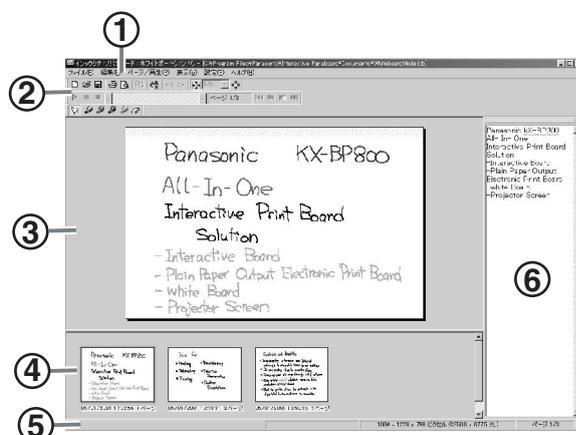
■ ホワイトボードモードでのホワイトボードウィンドウについて

ホワイトボードウィンドウとは、黒・赤・青・緑の電子ペンと電子イレーサーでインタラクティブパナボードのスクリーン上に描画した自由線の軌跡を、リアルタイムに表示するためのウィンドウです。

表示された自由線の軌跡情報は、IPB ドキュメントとして保存することができ、あとで表示して内容を確認することができます。また、マーカー／イレーサーで加筆／修正したり、表示中のページの全体または一部を汎用イメージ形式として、他のアプリケーションにコピーすることができます。さらに、手書きの文字を認識させて、テキストとして出力することもできます。

ホワイトボードウィンドウを表示するには、55 ページの「**インタラクティブソフトを起動する**」をご参照ください。

■ ビューウィンドウ / ホワイトボードウィンドウ



①タイトルバー：

現在開いている IPB ドキュメントのファイル名が表示されます。

②ツールバー：

頻繁に利用する機能をアイコン化したボタンにして並べたものです。ツールバーは、[メイン] ツールバー、[ページ／再生] ツールバー、[マーカー／イレーサー] ツールバーで構成されます。これらは、ドラッグして画面のどこにでも移動することができます。

③メインビュー：

編集の対象とされるページが表示されます。ページの上に自由線を描画、消去したり、ページの一部を選択してコピーすることができます。

④サムネイルビュー：

IPB ドキュメントの全ページのサムネイルイメージが表示されます。各ページの下には最終の更新日時が表示されます。メインビューに表示されているページのイメージは枠表示され、他のページをマウスでクリックすることで、編集ページを切り替えることができます。

⑤ステータスバー：

IPB ドキュメントの情報を表示します。

再生モード： 再生中かどうかを表示します。

イメージサイズ： 表示倍率 100% のときのページサイズを表示します。

ページ番号： 総ページ数と編集中のページを表示します。

⑥テキストエディタ：

手書きの文字を認識した結果の出力先となります。テキストエディタとしての編集も可能です。

■ビューウィンドウとホワイトボードウィンドウの違い

プロジェクターモードの「ビューウィンドウ」とホワイトボードモードの「ホワイトボードウィンドウ」は、インタラクティブパナボード上での作業内容を記録した、IPB ドキュメントを表示・再生・編集するためのウィンドウで、基本的に同じ機能を持っています。ただし、ホワイトボードウィンドウには、ビューウィンドウにないいくつかの機能があります。次に示す2つのウィンドウの違いを把握しておけば、どちらか1つのウィンドウの操作を覚えることで、2つのウィンドウをすばやく利用できるようになります。

単位系

- ビューウィンドウは、プロジェクターによってインタラクティブパナボードのスクリーンに投影されたコンピューター画面での作業を記録した IPB ドキュメントを表示するので、単位はドットになります。
- ホワイトボードウィンドウでは、電子ペンで描画されたインタラクティブパナボードのスクリーンを仮想的にコンピューターのウィンドウに表示するため、長さの単位が基準となります。単位系はミリとインチが選択できます。

【ファイル】メニューの【新規作成】

- ビューウィンドウは、デスクトップ描画ツールによって作成した IPB ドキュメントを表示・編集するためのウィンドウですので、【新規作成】メニューは存在しません。
- ホワイトボードウィンドウでは、表示中の IPB ドキュメントを閉じ、新規の IPB ドキュメントを表示することができます。

【編集】メニューの【新規ページ追加】

- ビューウィンドウは、デスクトップ描画ツールによって作成した IPB ドキュメントを表示・編集するためのウィンドウですので、【新規ページ追加】メニューは存在しません。
- ホワイトボードウィンドウでは、新しいページが IPB ドキュメントの最終ページの次に追加されます。

【編集】メニューの【コピーページ追加】

- ビューウィンドウは、デスクトップ描画ツールによって作成した IPB ドキュメントを表示・編集するためのウィンドウですので、【コピーページ追加】メニューは存在しません。
- ホワイトボードウィンドウでは、表示中のページのコピーが IPB ドキュメントの最終ページとして追加されます。

ビューウィンドウ／ホワイトボードウィンドウ

■ メニュー構成

ビューウィンドウまたはホワイトボードウィンドウでは、次のメニューが使用できます。

ボタンがついたメニューは、ツールバーのボタンをクリックするだけで同じ操作ができます。

* ホワイトボードウィンドウでのみ表示されます。

メニュー	詳細
ファイルメニュー	
 新規作成 *	表示中の IPB ドキュメントを閉じて、新規の IPB ドキュメントを作成します。 (☞ 65 ページ)
 開く	IPB ドキュメントを開きます。 (☞ 65 ページ)
 上書き保存	表示中の IPB ドキュメントを保存します。 (☞ 66 ページ)
名前を付けて保存	表示中の IPB ドキュメントのファイル名を変更して保存します。 (☞ 66 ページ)
 印刷プレビュー	印刷する前に表示中の IPB ドキュメントを確認します。 (☞ 75 ページ)
 印刷	表示中の IPB ドキュメントを印刷します。 (☞ 75 ページ)
エクスポート (☞ 66 ページ)	
イメージ	ページをイメージファイル (BMP, JPEG, TIFF) に出力します。
HTML...	ページを HTML ファイルに出力します。
ビューウィンドウを閉じる	ビューウィンドウを非表示状態にします。 (ビューウィンドウのみ)
ホワイトボードウィンドウを閉じる *	ホワイトボードウィンドウを非表示状態にします。 (ホワイトボードウィンドウのみ)

メニュー	詳細
編集メニュー	
 元に戻す	マーカー／イレーサーで描画された自由線を、ストロークごとに元に戻します。 (☞ 70 ページ)
 やり直し	元に戻した操作をもう 1 度やり直します。 (☞ 70 ページ)
 コピー	ページが選択状態のときに、クリップボードにページの選択範囲をコピーします。 コピーされるページのサイズは、表示倍率が 100% のときのサイズです。 (☞ 71 ページ)
すべてを選択	ページ全体を選択状態にします。 (☞ 71 ページ)
新規ページ追加 *	新規ページを最終ページの次に追加します。 (☞ 70 ページ)
コピーページ追加 *	表示中のページのコピーを最終ページの次に追加します。 (☞ 71 ページ)
ページ削除	表示中のページを削除します。 (☞ 71 ページ)
 手書き文字認識	手書きの文字を認識して、テキストとして出力します。 (☞ 73 ページ)
編集メニュー (テキストエディタでの編集時)	
 元に戻す	テキストの操作を 1 つ前に戻します。 (☞ 74 ページ)
 やり直し	元に戻した操作をもう 1 度やり直します。 (☞ 74 ページ)
切り取り	テキストが選択状態のときに切り取ります。切り取ったテキストはクリップボードにコピーされます。 (☞ 74 ページ)
 コピー	テキストが選択状態のときに、クリップボードにコピーします。 (☞ 74 ページ)
全ページをコピー	全ページのテキストをクリップボードにコピーします。 (☞ 74 ページ)

メニュー	詳細
貼り付け	クリップボードにあるテキストを貼り付けます。 (☞ 74 ページ)
削除	テキストが選択状態のときに削除します。 (☞ 74 ページ)
すべてを選択	ページ全体のテキストを選択状態にします。 (☞ 75 ページ)
ページ／再生メニュー	
▶ 再生開始	再生を開始します。 (☞ 72 ページ)
⏸ 再生一時停止	再生を一時停止します。 (☞ 72 ページ)
■ 再生終了	再生を終了します。68 ページ (☞ 72 ページ)
再生方法 (☞ 76 ページ)	
全ページ再生	全ページ再生に設定します。
選択ページのみ再生	選択ページのみ再生に設定します。
連続再生	連続再生する／しないを切り替えます。
⏪ 先頭ページ	先頭ページを表示します。 (☞ 69 ページ)
◀ 前ページ	前ページを表示します。 (☞ 69 ページ)
▶ 次ページ	次ページを表示します。 (☞ 69 ページ)
⏩ 最終ページ	最終ページを表示します。 (☞ 69 ページ)
ページ指定	指定したページを表示します。 (☞ 69 ページ)
表示メニュー	
🔍 ズーム	(☞ 68 ページ)
全体表示	ウィンドウの大きさに合わせてページ全体を表示します。
200%	表示中のページを 200% に拡大して表示します。
150%	表示中のページを 150% に拡大して表示します。
100%	表示中のページを等倍で表示します。
75%	表示中のページを 75% に縮小して表示します。

メニュー	詳細
50%	表示中のページを 50% に縮小して表示します。
25%	表示中のページを 25% に縮小して表示します。
10%	表示中のページを 10% に縮小して表示します。
🖥️ 全画面表示	ページ全体をできるだけ大きく表示します。 (☞ 69 ページ)
メインツールバー	メインツールバーの表示／非表示を切り替えます。 (☞ 64 ページ)
ページ／再生	ページ／再生ツールバーの表示／非表示を切り替えます。 (☞ 64 ページ)
マーカー／イレーサー	マーカー／イレーサーツールバーの表示／非表示を切り替えます。 (☞ 64 ページ)
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
テキストエディタ	テキストエディタの表示／非表示を切り替えます。
設定メニュー	
情報	会議の情報を設定します。 (☞ 76 ページ)
再生	再生するときの再生方法を設定します。 (☞ 76 ページ)
マーカー／イレーサー	マーカーの色・幅と、イレーサーの大きさを設定します。 (☞ 77 ページ)
エクスポートイメージ	エクスポートまたはドラッグ & ドロップでのイメージファイルの JPEG 品質や TIFF 圧縮などを設定します。 (☞ 78 ページ)
ファイル	IPB ドキュメントを保存するデフォルトのフォルダや自動バックアップの間隔を設定します。 (☞ 79 ページ)
スペルチェック	手書き文字認識のスペルチェックを設定します。 (☞ 79 ページ)
オプション	タイトルバーへのファイル名表示方法や表示単位系を設定します。 (☞ 80 ページ)

使
う

メニュー	詳細
ヘルプメニュー	
トピックの検索	インタラクティブソフトのヘルプを表示します。
バージョン情報	インタラクティブソフトのバージョン情報を表示します。

■ ツールバー

ビューウィンドウまたはホワイトボードウィンドウでは、次のツールバーを使用できます。

メインツールバー



※  (新規作成) アイコンは、ホワイトボードウィンドウのみ表示されます。

ページ／再生ツールバー



マーカー／イレーサーツールバー



ツールバーを表示するには、**【表示】**メニューの表示したいツールバー（**【メインツールバー】**、**【ページ／再生】**、**【マーカー／イレーサー】**のいずれか）をクリックして、チェックマークをつけます。
すでに、ツールバーが表示されている場合はそのツールバーの横にチェックマークがついています。

ツールバーを非表示にするには、**【表示】**メニューをクリックし、非表示にしたいツールバーのチェックマークを外します。

お知らせ

- ツールバーはドラッグして、画面のどこにでも移動することができます。

IPB ドキュメントを管理する

■ IPB ドキュメントを作成する (ホワイトボードウィンドウのみ)

ホワイトボードモードで、インタラクティブパナボードの作業を記録するための新しいIPB ドキュメントを作成します。

1 [ファイル] メニューの [新規作成] をクリックする。

- 現在編集集中のIPB ドキュメントが変更されている場合は、「保存確認」画面が表示されません。

お知らせ

- ホワイトボードウィンドウを表示すると、自動的にIPB ドキュメントが作成されメインビュー上には新しいページが表示されます。

■ IPB ドキュメントを開く

1 [ファイル] メニューの [開く ...] をクリックする。

- 「ファイルを開く」画面が表示されます。

2 開くファイルのフォルダとファイル名を入力する。

- ファイルには、".ipb" 拡張子がついています。

3 [開く] をクリックする。

お知らせ

- 最近開いたファイルを開くには、[ファイル] メニューで開きたいファイル名をクリックします。[ファイル] メニューには最近開いたIPB ドキュメントが8個まで表示されます。
- ファイルシステムで、IPB ドキュメントファイルアイコンをダブルクリックしてもIPB ドキュメントを開くことができます。IPB ドキュメントはプロジェクターモード、ホワイトボードモードのどちらで作成されたかを内部で管理しており、開いたときに自動的に作成時のモードに切り替わります。
- 停電やその他の事故が起こったときに、前回保存したIPB ドキュメントを修復できるようにするには、あらかじめ [設定] - [ファイル ...] の「ファイル設定」画面の [リカバリーファイルを作成する] をオンにしておきます。リカバリーファイルには、".ip~" 拡張子がついていますので、[ファイルの種類] ボックスを [すべてのファイル] にして開いてください。

■ IPB ドキュメントを保存する

1 [ファイル] メニューの [上書き保存] をクリックする。

お知らせ

- 作業中の IPB ドキュメントを別の名前で保存するには、[ファイル] メニューの [名前を付けて保存 ...] をクリックしてください。

■ IPB ドキュメントを別のファイル形式で保存する

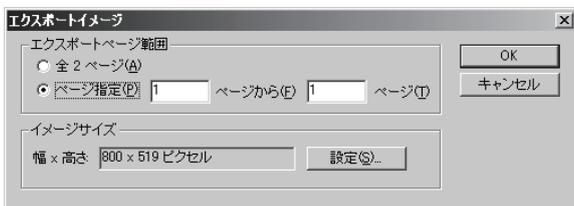
エクスポートを行うと、IPB ドキュメントを他のソフトウェアでも使用できるように、別のファイル形式で保存することができます。ファイル形式を変換することにより、IPB ドキュメントファイルを開けないユーザーでも、記録された会議の内容を見ることができます。

[A] イメージファイルとして保存する

1 [ファイル] メニューの [エクスポート] - [イメージ ...] をクリックする。

- 「エクスポートイメージ」画面が表示されます。

2 保存するイメージのページとサイズを指定する。



- すべてのページを保存する場合は、[全ページ] をクリックする。
- ページを指定して保存する場合は、[ページ指定] をクリックして、ページの範囲を入力する。
- [設定] をクリックすると、イメージのサイズや JPEG ファイルの品質、TIFF ファイルの圧縮の設定を行うことができます。

3 [OK] をクリックする。

- 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4 ファイルを保存するフォルダとファイル名、ファイルの種類を入力する。

- ファイルの種類は下記のファイル形式を選択することができます。
ビットマップファイル (* .bmp) / JPEG ファイル (* .jpg) / TIFF ファイル (* .tif)
- 複数ページを保存する場合、ファイル形式で TIFF ファイルを指定すると、マルチページかシングルページを選択することができます。

5 [保存] をクリックする。

お知らせ

- 複数ページの保存で TIFF のマルチページ以外を選択した場合、ページ数分 (例えば n 個) のファイルが作成され、ファイル名の最後にページ番号を表す 2 桁の数字 "01、02、... 0n" が加わります。
- TIFF のマルチページを選択し、既存の TIFF ファイルに保存する場合、上書きか追加かを確認する画面が表示されます。
[はい] を選択すると、既存ファイルにイメージが追加されます。[いいえ] を選択すると、既存のイメージはクリアされ、保存されます。
- 1 ページの保存で既存の TIFF ファイルに保存する場合、上書きか追加かを確認する画面が表示されます。
[はい] を選択すると、マルチページの TIFF ファイルとして既存ファイルの最後にイメージが追加されます。[いいえ] を選択すると、既存のイメージはクリアされ、シングルページの TIFF ファイルとして保存されます。
- IPB ドキュメントをイメージファイルとして保存するときの、サイズや圧縮などの標準設定は、[設定] メニューの [エクスポートイメージ ...] で行います。

[B] HTML ファイルとして保存する

IPB ドキュメントをページ単位で HTML ファイルとして保存することができます。また、そのインデックスページには会議の情報も一緒に出力することができます。

複数のページを指定して、IPB ドキュメントを HTML ファイルとして保存すると、インデックスファイルとリンクされた、連続した HTML ページとイメージを作成します。

この方法を使うと、Web ブラウザがインストールされたコンピューターのユーザーに、IPB ドキュメントに記録された会議の内容を簡単に提供することができます。

1 [ファイル] メニューの [エクスポート] - [HTML...] をクリックする。

- 「エクスポート HTML」画面が表示されます。

2 [インデックスファイル] に IPB ドキュメントを HTML ファイルとして保存するフォルダを指定する。



3 [エクスポート範囲] グループで、HTML ファイルに出力するページを指定する。

- [全てのページ] を選択すると、表示されている IPB ドキュメントのすべてのページを HTML ファイルに出力します。
- [カレントページ] を選択すると、メインビューに表示しているページのみを HTML ファイルに出力します。
- [ページ指定] を選択すると、指定したページまたは指定した範囲のページを HTML ファイルに出力します。特定のページを出力するにはページ番号をカンマで区切って入力します。また、ページの範囲を指定するには、最初のページ番号と最後のページ番号をハイフンでつないで入力します。

4 必要に応じて、以下に示す他のエクスポート設定を変更し、[OK] をクリックする。

[ファイル] グループ

• ページイメージ：

エクスポートされたページのイメージの幅と高さを、ピクセル単位で入力します。右側の [縦横比を固定にする] チェックボックスをオンにすると、エクスポートしたページの寸法を変更しても、ページの縦と横の比率が保持されます。

• サムネイルイメージ：

エクスポートされたページのサムネイルイメージの幅と高さを、ピクセル単位で入力します。右側の [縦横比を固定にする] チェックボックスをオンにすると、エクスポートしたページの寸法を変更しても、ページの縦と横の比率が保持されます。

[色] グループ

•背景：

HTML ファイルの背景の色を選択します。

•テキスト：

HTML ファイルに使用するテキストの色を選択します。

•表のラベル：

HTML ファイルの表のラベルの背景色を選択します。

•表の項目：

HTML ファイルの表の項目の背景色を選択します。

色のついた矩形部分をクリックすると、「色の設定」画面が表示されます。[基本色]の中から使用したい色をクリックします。

[エクスポート項目] グループ

チェックボックスをチェックすると、エクスポートした HTML ファイルのインデックスページにチェックした項目が追加されます。

•サムネイルイメージ：

ページのサムネイルイメージが追加されます。

•ページの日付：

ページを作成した日付と時間を表示することができます。

•作成日：

IPB ドキュメントを作成した日付と時間を表示することができます。

•更新日：

IPB ドキュメントの最終更新日付と時間を表示することができます。

•参加者／マネージャー／件名／説明／連絡先／会社名：

[設定] メニューの【情報...】で設定した会議情報を表示することができます。

お知らせ

- HTML ファイルは、別の IPB ドキュメントからエクスポートされた HTML ファイルが格納されていないフォルダに保存することをお勧めします。既存のフォルダに保存しようとすると、既存の HTML ファイルに上書きするかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 複数ページを HTML ファイルにエクスポートした場合は、インデックスファイル "index.html" と、ページ数分 (例えば n 個) の "page __ 01.html、page __ 02.html、page __ 03.html、…page __ 0n.html" という名前の HTML ファイルと、それぞれの HTML ファイルに表示される "page __ 01.jpg、page __ 02.jpg、page __ 03.jpg、… page __ 0n.jpg" という名前のイメージが作成されます。また、サムネイルイメージを追加した場合には、"small __ 01.jpg、small __ 02.jpg、small __ 03.jpg、… small __ 0n.jpg" という名前のイメージも作成されます。

■表示方法を変更する

[A] ページを拡大または縮小して表示する

ページを拡大して文書の一部を大きく表示したり、縮小してページ全体を表示したりできます。

- 1 [表示] メニューの【ズーム】から表示させたい倍率をクリックする。

お知らせ

- [メイン] ツールバーの (ズーム) の中に、数値を入力しても表示倍率を変更することができます。倍率は 1%単位で指定できます。

[B] ページをメインビューのサイズに合わせて表示する

- 1 [表示] メニューの [ズーム] - [全体表示] をクリックする。

[C] ページをできるだけ大きく表示する

画面に文書をできるだけ大きく表示するには、全画面表示モードに切り替えます。この表示モードでは、ツールバーはフリーツールバーとなって表示されます。

- 1 [表示] メニューの [全画面表示] をクリックする。
 - 全画面表示モードを終了して元の表示モードに戻すには、マウスを右クリックして、ポップアップメニューの [全画面表示] をクリックします。

お知らせ

- 全画面表示の状態では、ツールバーを非表示にするには、マウスを右クリックしてポップアップメニューの非表示にしたいツールバーをクリックし、チェックマークを外します。また、ツールバーを表示するには、ポップアップメニューの表示したいツールバーをクリックしてチェックマークをつけます。

■ IPB ドキュメントのページを切り替える

[A] 先頭ページを表示する

- 1 [ページ／再生] メニューの [先頭ページ] をクリックする。

[B] 前ページを表示する

- 1 [ページ／再生] メニューの [前ページ] をクリックする。

[C] 次ページを表示する

- 1 [ページ／再生] メニューの [次ページ] をクリックする。

[D] 最終ページを表示する

- 1 [ページ／再生] メニューの [最終ページ] をクリックする。

[E] ページ番号を指定してページを表示する

- 1 [ページ／再生] メニューの [ページ指定...] をクリックする。
 - 「ページ指定」画面が表示されます。
- 2 [ページ番号] に表示したいページ数を入力する。



- 3 [OK] をクリックする。

お知らせ

- 任意のページをすばやく表示するには、サムネイルビューで、表示したいページのサムネイル表示をクリックします。

■ IPB ドキュメントのページを編集する

ビューウィンドウまたはホワイトボードウィンドウでは、メインビューに表示しているページに対して、次のような編集を行うことができます。

- マーカーやイレーサーを使って加筆または修正することができる。
- ページを追加することができる。(ホワイトボードのみ)
- ページを削除することができる。
- ページの一部または全体を選択してクリップボードに保存したり、他のアプリケーションにコピーすることができる。

[A] ページに自由線を描画または消去する

- 1 メインビューに自由線を描画または消去したいページを表示する。
- 2 自由線を描画するには、**【マーカー／イレーサー】** ツールバーの  (黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー) のいずれかをクリックする。
 - マウスカーソルの形状が  に変更されます。
- 3 ページ上の自由線を描画したい位置で、マウスをドラッグする。
- 4 自由線を消去するには、**【マーカー／イレーサー】** ツールバーの  (イレーサー) をクリックする。
 - マウスカーソルの形状が  に変更されます。
- 5 ページ上の消したい領域の上で、マウスをドラッグする。
 - 変更した前の状態に戻すには、**【編集】** メニューの **【元に戻す】** をクリックします。
 - マーカーの幅や色、イレーサーの大きさは変更することができます。

[B] 操作を元に戻す

マーカーまたはイレーサーで描画または消去された自由線を、ストロークごとに元に戻すことができます。

- 1 **【編集】** メニューの **【元に戻す】** をクリックする。

- 前の状態に戻すには、もう一度 **【元に戻す】** をクリックします。

お知らせ

- 元に戻した操作をもう 1 度やり直すには、**【編集】** メニューの **【やり直し】** をクリックします。
- **【元に戻す】** / **【やり直し】** は何度でも行うことができますが、ページが切り替わった場合はリセットされます。

[C] 新しいページを IPB ドキュメントに追加する (ホワイトボードウィンドウのみ)

ホワイトボードモードで、新規ページを、表示されている IPB ドキュメントの最終ページとして追加します。会議中に、インタラクティブパナボードの画面を送った場合は、新しいページを追加してください。

- 1 **【編集】** メニューの **【新規ページ追加】** をクリックする。

- 新しいページが IPB ドキュメントの最終ページとして追加され、表示がそのページに切り替わります。

お知らせ

- 記録できるページ数は最大で 50 ページです。それ以上のページを追加することはできません。

[D] 表示ページのコピーを IPB ドキュメントに追加する（ホワイトボードウィンドウのみ）

ホワイトボードモードで、メインビューに表示されているページのコピーを、IPB ドキュメントの最終ページの次に追加します。

会議中に、現在のインタラクティブパナボードのスクリーンの内容を残しておいて、新たな変更を加えたい場合などに利用します。

1 [編集] メニューの [コピーページ追加] をクリックする。

- 表示されているページのコピーが IPB ドキュメントの最終ページとして追加され、表示がそのページに切り替わります。

お知らせ

- 記録できるページ数は最大で 50 ページです。それ以上のページを追加することはできません。

[E] 表示中のページを削除する

1 メインビューに削除したいページを表示する。

2 [編集] メニューの [ページ削除] をクリックする。

- 削除を確認する画面が表示されます。

3 削除する場合は、[OK] をクリックする。

お知らせ

- 削除したページは、[編集] メニューの [元に戻す] で元に戻すことができませんので注意してください。

[F] ページの選択範囲をクリップボードにコピーする

1 [マーカー／イレーサー] ツールバーで、 (矢印) をクリックし、ページのコピーしたい部分をマウスでドラッグして選択する。

- ページ全体を選択する場合は、[編集] メニューの [すべてを選択] をクリックする。
- 選択範囲が色反転表示されます。

2 [編集] メニューの [コピー] をクリックする。

お知らせ

- クリップボードにコピーしたイメージは、他のアプリケーションを開いて貼り付けることができます。
- 選択状態を解除するには、選択範囲の外をクリックします。
- クリップボードにコピーされるイメージは、BMP イメージとなります。

[G] ページの選択範囲をドラッグ&ドロップで他のアプリケーションにコピーする

ページの選択範囲をドラッグ & ドロップで、他のアプリケーションにデータをコピーすることができます。この場合、コピー先のアプリケーションが OLE (Object Linking and Embedding) をサポートしている必要があります。

1 コピー先のファイルを開き、コピーするページとコピー先のファイルが画面に表示されるようにアプリケーションウィンドウの配置を調整する。ドラッグする選択範囲とドロップする位置の両方が表示されるようにドキュメントを配置する。

2 [マーカー／イレーサー] ツールバーで、 (矢印) をクリックし、ページのコピーしたい部分をマウスでドラッグして選択する。

- ページ全体を選択する場合は、[編集] メニューの [すべてを選択] をクリックする。
- 選択範囲が色反転表示されます。

3 選択範囲を、別のアプリケーションのコピー先にドラッグする。

お知らせ

- 選択状態を解除するには、選択範囲の外をクリックします。
- ドラッグ & ドロップでコピーするときのファイルの形式は、[設定] メニューの [エクスポートイメージ...] で設定します。

■ IPB ドキュメントを再生する

IPB ドキュメントでは各ページの自由線の描画と消去の操作をストローク単位で記録しており、あとで描画の軌跡を再生して確認することができます。

1 [ページ／再生] メニューの [再生方法] - [全ページ再生] または [選択ページのみ再生] をクリックする。

- チェックマークが付きます。

2 [ページ／再生] ツールバーの  (再生開始) をクリックする。



- 再生方法の設定が、全ページ再生の場合は、先頭ページの最初の状態から、選択ページのみ再生の場合は、表示されているページの内容の最初の状態から、再生が開始されます。
- 再生中に一時停止するには、[ページ／再生] ツールバーの  (再生一時停止) をクリックします。再生の一時停止を解除するには、[ページ／再生] ツールバーの  (再生開始) をクリックします。

- 再生の一時停止中には、[ページ／再生] ツールバーの再生スクロールバーを動かして手動で再生することができます。
- 途中で再生を終了するには、[ページ／再生] ツールバーの  (再生終了) をクリックします。
- 連続再生中でない場合は、最後まで再生すると、再生を終了します。

お知らせ

- 再生中に、再生スクロールバーの左右の矢印をクリックするか、再生スクロールバーを左右にドラッグすると、自動的に一時停止状態となり、手動で描画の再生を行うことができます。
- 再生中は、ステータスバーに、「再生モード」が表示されます。このときは [マーカー／イレーサー] ツールバーのマーカーとイレーサーは使用できません。また、ホワイトボードモードのときは、インタラクティブパナボードのスクリーン上での描画も表示されません。
- ストロークを再生する間隔、全ページ再生／選択ページのみ再生、連続再生する／しないの設定は、[設定] メニューの [再生...] で行うことができます。全ページ再生／選択ページのみ再生、連続再生する／しないの設定は、[ページ／再生] メニューの [再生方法] から直接設定することもできます。

■ IPB ドキュメントの手書き文字を認識する

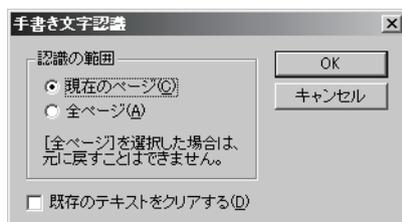
[A] 手書きの文字を認識する

1 [編集] メニューの [手書き文字認識 ...] をクリックする。

- 「手書き文字認識」画面が表示されます。

2 認識の範囲を選択し、[OK] をクリックする。

- 現在ページあるいは全ページにある手書きの文字が認識され、テキストエディタに認識結果のテキストが出力されます。



- **現在のページ:**
選択しているページの描画がテキストに変換されます。
- **全ページ:**
全ページの描画がテキストに変換されます。ページを移動するとそのページの認識結果を表示できます。

お知らせ

- [既存のテキストをクリアする] をクリックすると、既存のテキストをクリアした後に認識結果のテキストが出力されます。
- 手書き文字を認識できるのは、英語のみです。
- [マーカー／イレーサー] ツールバーで、 (矢印) をクリックし、ページの認識させたい部分をマウスでドラッグして  (手書き文字認識) メニューをクリックすると、ダイアログを表示せずに選択範囲にある手書きの文字が認識されます。

- 認識されたテキストの先頭あるいは内部にテキストカーソルを合わせると、その認識元となった自由線の最小矩形が点線で表示されます。
- [マーカー／イレーサー] ツールバーで、 (矢印) をクリックし、ページの認識させた自由線をクリックすると、自由線の最小矩形が点線で表示され、認識結果のテキストが範囲選択状態になります。
- 認識結果のテキストを切り取りあるいは削除すると、自由線との関連付けは解除されます。
- 全ページを認識する操作については、[編集] メニューの [元に戻す] で元に戻すことはできません。

[B] スペルミスの可能性があるテキストを他の候補と入れ替える

1 テキストエディタのウィンドウ内をクリックする。

2 スペルミスの可能性があるテキストの上で右クリックする。

- ポップアップメニューにテキストの代替候補が表示されます。

3 メニューの代替候補の中からテキストを選択する。

- テキストが、選択したメニューのテキストと入れ替わります。

お知らせ

- スペルミスの可能性があるテキストの波線の表示／非表示の設定は、[設定] メニューの [スペルチェック ...] で行うことができます。(79 ページ)
- 代替候補は最大 5 個まで表示されます。
- 代替候補が存在しない場合、メニューには表示されません。
- 代替候補が表示されるのは、手書き文字認識によって出力されたテキストのみです。

[C] 操作を元に戻す

- 1 テキストエディタのウィンドウ内をクリックする。
- 2 **【編集】** メニューの **【元に戻す】** をクリックする。
 - 元に戻した操作をもう 1 度やり直すには、**【編集】** メニューの **【やり直し】** をクリックします。
 - **【元に戻す】** / **【やり直し】** は 100 回まで行うことができますが、別のページを選択した場合はリセットされます。

[D] テキストをコピーする

- 1 テキストエディタのウィンドウ内をクリックする。
- 2 対象のテキストをドラッグし、範囲指定する。
- 3 **【編集】** メニューの **【コピー】** をクリックする。
 - テキストがクリップボードにコピーされます。
 - **【編集】** メニューの **【切り取り】** をクリックすると、範囲指定したテキストを切り取ってクリップボードにコピーすることができます。

お知らせ

- クリップボードにコピーされたテキストは他のアプリケーションに貼り付けることができます。

[E] 全ページのテキストをクリップボードにコピーする

- 1 テキストエディタのウィンドウ内をクリックする。
- 2 **【編集】** メニューの **【全ページをコピー】** をクリックする。
 - 全ページのテキストがクリップボードにコピーされます。

お知らせ

- クリップボードにコピーされたテキストは他のアプリケーションに貼り付けることができます。

[F] テキストを貼り付ける

- 1 テキストエディタのウィンドウ内をクリックする。
- 2 テキストを挿入したい位置にテキストカーソルを合わせる。
- 3 **【編集】** メニューの **【貼り付け】** をクリックする。
 - 挿入位置に、クリップボードにあるテキストが挿入されます。

[G] テキストを削除する

- 1 テキストエディタのウィンドウ内をクリックする。
- 2 対象のテキストを範囲指定する。
- 3 **【編集】** メニューの **【削除】** をクリックする。
 - テキストが削除されます。

お知らせ

- 削除されたテキストはクリップボードにはコピーされません。
- 認識結果のテキストを削除した場合は、認識元の自由線との関連付けは解除されます。

[H] ページのすべてのテキストを選択する

- 1 テキストエディタのウィンドウ内をクリックする。
- 2 **[編集]** メニューの **[すべてを選択]** をクリックする。
 - 現在ページのすべてのテキストが選択状態となります。

お知らせ

- 選択状態を解除するには、テキストエディタのウィンドウ内をクリックします。

■ IPB ドキュメントを印刷する**[A] 印刷する前に IPB ドキュメントの印刷イメージを確認する**

- 1 **[ファイル]** メニューの **[印刷プレビュー]** をクリックする。
 - 印刷プレビューの画面に切り替わります。
- 2 印刷プレビューを終了して、表示モードを元に戻すには、**[閉じる]** をクリックする。

お知らせ

- ファイルを印刷したときのイメージで表示する画面表示モードを印刷プレビューといいます。印刷プレビューでは、複数ページの印刷イメージを画面表示できます。また、画面に表示されるページサイズの拡大、縮小なども行うことができます。

[B] 表示中の IPB ドキュメントを印刷する

- 1 **[ファイル]** メニューの **[印刷 ...]** をクリックする。
 - 「印刷」画面が表示されます。
- 2 **[プリンタ]**、**[印刷範囲]**、**[印刷部数]** を設定する。
- 3 **[OK]** をクリックする。
 - 「印刷中」画面が表示されます。
 - 印刷を中止するには、「印刷中」画面の **[キャンセル]** をクリックします。

■ 設定

[A] 会議の情報を設定する

IPB ドキュメントに記録された会議の情報を設定します。設定できる情報には、記録された会議のタイトル、件名とその説明、参加者、連絡先情報などがあります。

会議の情報を設定しておけば、IPB ドキュメントを HTML ファイルにエクスポートする際に、ページのイメージと共に出力することができます。

1 [設定] メニューの [情報 ...] をクリックする。

- 「情報」画面が表示されます。

2 次のうち必要な情報を入力し、[OK] をクリックする。

- **概要：**

ここでは、記録されている会議の概要を入力します。

- **タイトル / 参加者 / 会社名 / マネージャー / 件名 / 説明：**

会議の個々の項目を入力します。

- **作成日時：**

IPB ドキュメントを作成した日付と時間が、自動で表示されます。

- **更新日時：**

IPB ドキュメントの最終更新日付と時間が、自動で表示されます。

- **連絡先：**

ここでは、会議の内容を問い合わせるときの連絡先を入力します。

- **名前：**

連絡先の担当者の名前を入力します。

- **電子メールアドレス：**

連絡先の担当者の電子メールアドレスを入力します。

- **ホームページ：**

連絡先の担当者の Web ホームページを入力します。

[B] IPB ドキュメントを再生するときの再生方法を設定する

1 [設定] メニューの [再生 ...] をクリックする。

- 「再生間隔設定」画面が表示されます。

2 ストロークを再生する間隔を、[再生間隔] ボックスに入力する。

- スクロールバーの左右の矢印をクリックするか、スクロールバーを左右にドラッグして、希望の間隔を設定することもできます。

- **選択ページのみ再生：**

- チェックマークがない場合：

先頭ページから最後のページまで再生されます。

- チェックマークがある場合：

表示されているページのみ再生されます。

- **連続再生：**

- チェックマークがない場合：

[選択ページのみ再生] で選択した設定を使用し、1 回だけ再生されます。

- チェックマークがある場合：

[選択ページのみ再生] で選択した設定を使用し、連続して再生されます。

お知らせ

- 再生の間隔は 0 ～ 2 秒(0 ～ 2000 ミリ秒)の範囲で 1 ミリ秒単位で設定できます。
- 【選択ページのみ再生】、【連続再生】は、【ページ／再生】メニューの【再生方法】からも設定できます。

[C] マーカーの幅、色またはイレーサーの大きさを設定する

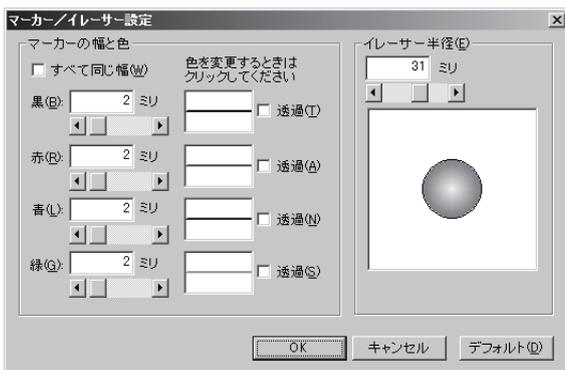
ビューウィンドウまたはホワイトボードウィンドウで使用するマーカーの幅と色またはイレーサーの大きさを変更します。

マーカーの幅と色は4種類のマーカーごとに変更できます。

1 【設定】メニューの【マーカー／イレーサー...】をクリックする。

- 「マーカー／イレーサー設定」画面が表示されます。

2 マーカーの幅や色、イレーサーのサイズを変更する



- すべて同じ幅：**
チェックすると、すべての色のマーカーの幅を黒マーカーと同じ幅にすることができます。
- 黒／赤／青／緑：**
マーカーの幅（ビューウィンドウ：1 ～ 30 ドット／ホワイトボードウィンドウ：0.1 ～ 25.4 mm）や色を設定することができます。

幅を変更するには、

- マーカーの右側の（マーカー幅）に幅を入力する
- スクロールバーの左右の矢印をクリックする
- スクロールバーを左右にドラッグして、希望の幅を設定する

マーカーの色を変更するには、

色を変更するマーカーの右側の（マーカー色）をクリックする。「色の設定」画面が表示されるので、基本色の中から変更したい色をクリックし、【OK】をクリックする。

透過：

透過をチェックすると、下地が透けて線が描画されます。

イレーサー半径：

イレーサーの半径を（ビューウィンドウ：1 ～ 60 ドット／ホワイトボードウィンドウ：0.1 ～ 50.8 mm）設定できます。

イレーサーの大きさを変更するには、

- （イレーサー半径）に大きさを入力する
- スクロールバーの左右の矢印をクリックする
- スクロールバーを左右にドラッグして、希望の幅を設定する。

3 【OK】をクリックする。

- それまでに描画した自由線にも新たな設定を適用するかどうかの設定の適用範囲画面が表示されます。

4 【すべての描画】か【これ以降の描画】をクリックする

- **【すべての描画】：**
これまでに描画した線も新しい設定で描画し直されます。
- **【これ以降の描画】：**
これ以降に描画した線に対してのみ新しい設定が反映されます。

お知らせ

- マーカーの幅とイレーサーの大きさの単位は、ビューウィンドウではドット、ホワイトボードではミリまたはインチとなります。
- マーカーの色を変更すると、マーカー／イレーサーツールバーのマーカーボタンの右下に設定した色が表示されますが、マーカーカーソルの色は変わりません。
- マーカーを透過に設定すると、下地が透けて線が描画されます。下地が濃い色の場合は、線が見えにくくなりますので、[透過]はチェックしないでください。また、他の色の線と交わると黒くなります。
- これらの設定は、変更されるまで有効となります。

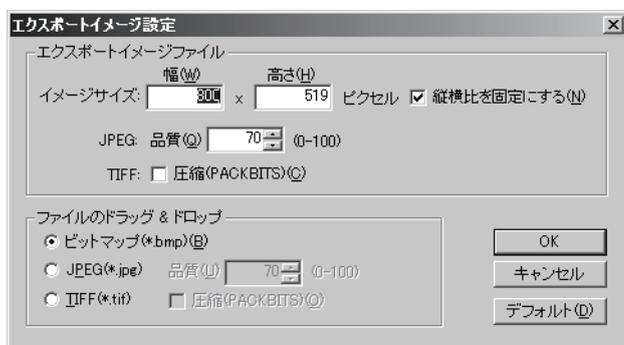
[D] エクスポートおよびドラッグ&ドロップのイメージを設定する

IPB ドキュメントのページをイメージファイルにエクスポートするときのサイズを指定します。また、ページの選択範囲をドラッグ & ドロップで他のアプリケーションにデータをコピーするとき作成するファイルの形式を設定します。

1 [設定] メニューの [エクスポートイメージ...] をクリックする。

- 「エクスポートイメージ設定」画面が表示されます。

2 以下を設定する。



[エクスポートイメージファイル] グループ

- イメージサイズ：
エクスポートイメージとして保存するときの幅と高さを設定する。ページの縦横比を

同じにする場合は、[縦横比を固定にする] をチェックする。

- JPEG：
JPEG ファイルにエクスポートする場合の品質レベルを設定する。
- TIFF：
TIFF ファイルにエクスポートする場合に圧縮するには、[圧縮 (PACKBITS)] をチェックする。

[ファイルのドラッグ & ドロップ] グループ
ドラッグ & ドロップで他のアプリケーションにデータをコピーするとき作成するファイルの形式を設定します。

下記のファイル形式を選択することができます。

- ビットマップファイル (* .bmp)
- JPEG ファイル (* .jpg)
- TIFF ファイル (* .tif)

- JPEG ファイルを選択した場合は、品質レベルを設定できます。
- TIFF ファイルを選択した場合に圧縮するには、[圧縮 (PACKBITS)] をチェックします。

3 [OK] をクリックする。

お知らせ

- エクスポートイメージサイズのデフォルトは、幅が 800 ドット、[縦横比を固定にする] チェックボックスがオンとなっています。高さはインタラクティブパナボードのスクリーンサイズおよびプロジェクターで投影したコンピューターの画面解像度によって異なります。

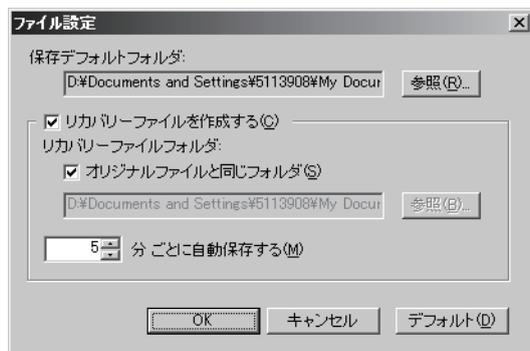
[E] 作業フォルダおよびリカバリーファイルを設定する

IPB ドキュメントを保存するときの作業フォルダを設定します。

また、リカバリーファイルを作成するように設定しておけば、停電やその他の事故が起こったときに、前回保存した IPB ドキュメントを修復することができます。

1 [設定] メニューの [ファイル ...] をクリックする。

- 「ファイル設定」画面が表示されます。

2 以下を設定する。

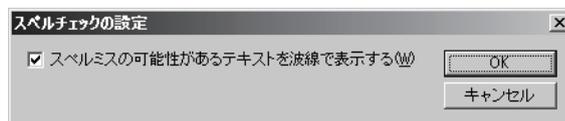
- **保存デフォルトフォルダ：**
IPB ドキュメントを保存するときの作業フォルダを設定します。
- **リカバリーファイルを作成する：**
リカバリーファイルを作成する場合は、チェックします。
 - **リカバリーファイルフォルダ：**
リカバリーファイルをオリジナルのファイルと同じフォルダに保存する場合は、[オリジナルファイルと同じフォルダ] をチェックします。また、別のフォルダに保存する場合は、ディレクトリを設定します。
 - **n 分ごとに自動保存する：**
リカバリーファイルを自動保存する間隔を設定します。

3 [OK] をクリックする。**[F] 手書き文字認識のスペルチェックを設定する**

手書き文字認識のスペルチェックに関する設定を行います。

1 [設定] メニューの [スペルチェック ...] をクリックする。

- 「スペルチェックの設定」画面が表示されます。

2 スペルミスの可能性があるテキストを波線で表示する場合、チェックボックスをチェックする。**3 [OK] をクリックする。****お知らせ**

- スペルチェックの対象となるのは、手書き文字認識によって出力されたテキストのみです。

ビューウィンドウ／ホワイトボードウィンドウ

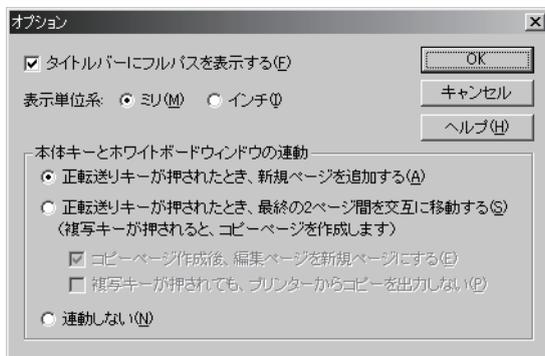
[G] オプションを設定する

タイトルバーへのファイル名表示方法や表示単位系を設定します。また、ホワイトボードウィンドウ使用している場合のインタラクティブパナボードのキー操作を設定します。

1 [設定] メニューの [オプション...] をクリックする。

- 「オプション」画面が表示されます。

2 オプション項目を設定する。



- **タイトルバーにフルパスを表示する：**
ビューウィンドウまたはホワイトボードウィンドウのタイトルバーに、現在開いている IPB ドキュメントのファイル名のフルパスを表示する場合は、チェックします。オフの場合は、ファイル名のみが表示されます。
- **単位系：**
ホワイトボードウィンドウの表示単位系を設定します。
- **正転送りキーが押されたとき、新規ページを追加する：**
インタラクティブパナボードの  (正転送り) キーを押したとき、ホワイトボードモードの IPB ドキュメントに新規ページが追加されます。
- **正転送りキーが押されたとき、最終の 2 ページ間を交互に移動する：**
ホワイトボードモードで、インタラクティブパナボードの  (正転送り) キーを押したとき、スクリーンの動きと連動して IPB ドキュメントの対応するページが選択されます。
また、 (複写) キーを押すと IPB ドキュ

メントの選択ページがコピー（バックアップ）されます。

- コピーページ作成後、編集ページを新規ページにする：

チェックマークがある場合（初期設定）：
複写キーを押したとき IPB ドキュメントの選択ページがコピーされ、選択ページは自動的に新規ページ（空白ページ）になります。

チェックマークがない場合：
複写キーを押したとき、IPB ドキュメントの選択ページがコピーされ選択ページはそのまま残ります。

- 複写キーが押されても、プリンターからコピーを出力しない：

チェックマークがある場合：
 (複写) キーを押したとき、IPB ドキュメントの選択ページはプリントされません。

チェックマークがない場合（初期設定）：
 (複写) キーを押したとき、IPB ドキュメントの選択ページがプリントされます。

- 連動しない：

インタラクティブパナボードの  (正転送り) キーを押しても、IPB ドキュメントに影響はありません。

3 [OK] をクリックする。

お知らせ

- プロジェクターモードのビューウィンドウは、コンピューターの画面がインタラクティブパナボードのスクリーン上に投影されているため、表示単位系はドットとなり、切り替えできません。
- 表示単位系のミリ／インチは、ホワイトボードウィンドウのステータスバー上のページサイズ、ペンの幅、イレーサーの大きさを表す単位として使用されます。

ボードイメージキャプチャー / Quick Image Navigator / Panasonic-DMS を使用する

ボードイメージキャプチャーで読み取る

ホワイトボードに書いた文字や図形を簡単にコンピュータに読み取り、PDF ファイルに保存することができます。

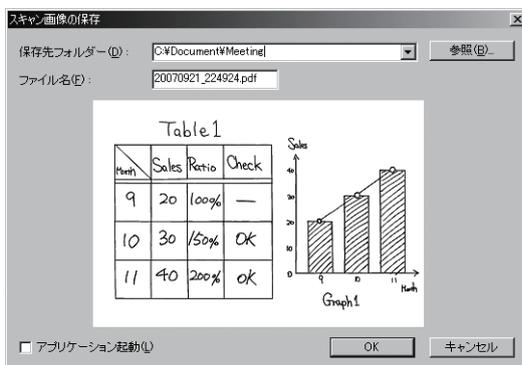
- 1 Windows の [スタート] をクリックし、[プログラム] - [Panasonic] - [ボードイメージキャプチャー] - [ボードイメージキャプチャー] をクリックする。(Windows XP / Windows Vista / Windows 7 では [プログラム] ではなく、[すべてのプログラム] になります。)



お知らせ

- 電子黒板操作パネルが表示されない場合は、USB ケーブルの接続、電子黒板の状態を確認してください。

- 2 電子黒板操作パネルの  (読取) ボタンまたは  (2画面読取) ボタンをクリックする。
 - 読み取りが終了すると、ファイル保存ダイアログボックスが表示されます。



- 3 保存するフォルダーとファイル名を設定し、[OK] ボタンをクリックする。
 - 「アプリケーション起動」をチェックすると、ファイルを保存した後、読み取った画像を表示します。画像を表示するためには、お使いのコンピュータに Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

お知らせ

- 保存先フォルダーには、最近使用したフォルダーが最大 5 つまで表示されます。

- 4 電子黒板操作パネルの [閉じる] をクリックすると、電子黒板操作パネルが閉じます。

お知らせ

- Quick Image Navigator または Panasonic-DMS を使用して電子黒板操作パネルを表示している場合、ボードイメージキャプチャーを起動できません。電子黒板操作パネルを閉じた後、再度ボードイメージキャプチャーを起動してください。

Quick Image Navigator / Panasonic-DMS で読み取る

Quick Image Navigator または Panasonic-DMS を使用し、電子黒板に書かれた内容をコンピュータに読み取ることができます。

- 1 Windows の **[スタート]** をクリックし、**[プログラム] - [Panasonic] - [Panasonic Document Management System] - [Quick Image Navigator]** (Quick Image Navigator の場合) または **[Document Manager]** (Panasonic-DMS の場合) をクリックする。
(Windows XP / Windows Vista / Windows 7 では **[プログラム]** ではなく、**[すべてのプログラム]** になります。)

- 2 Quick Image Navigator の場合：
[ファイル] メニューから **[環境設定]** をクリックし、**[TWAIN]** タブをクリック後、**[TWAIN 対応機器の選択]** をクリックする。
Panasonic-DMS の場合：
[ファイル] メニューから **[TWAIN 対応機器の選択]** をクリックする。

- 3 **[Panaboard UB-8 USB TWAIN Driver]** を選択し、**[選択]** をクリックする。

- 4 Quick Image Navigator の場合：
[ファイル] メニューから **[イメージの取り込み] - [インポートフォルダへ]** または **[カレントフォルダへ]** をクリックする。または、ツールバーの (スキャナ) アイコンをクリックする。
Panasonic-DMS の場合：
[ファイル] メニューから **[TWAIN 対応機器からの入力]** をクリックする。また

は、ツールバーの (スキャナ) アイコンをクリックする。

- 電子黒板操作パネルが表示されます。



お願い

- インタラクティブソフトを起動している場合、電子黒板操作パネルは表示されません。インタラクティブソフトを閉じた後、再度電子黒板操作パネルを起動してください。
 - 電子黒板操作パネルが表示されない場合は、USB ケーブルの接続、電子黒板の状態を確認してください。
- 5 電子黒板操作パネルの **[P]** (読取) ボタンまたは **[12]** (2 画面読取) ボタンをクリックする。
 - 電子黒板の読み取りが開始され、読み取りが終了すると読み取られた画像がコンピュータの画面に表示されます。
 - 電子黒板本体のコントロールパネルの複写キーまたは 2 画面複写キーでも読み取りを開始することができます。
 - 6 電子黒板操作パネルの **[閉じる]** をクリックすると、電子黒板操作パネルが消え、電子黒板の読み取りが終了します。
 - Quick Image Navigator の場合、読み取りが終了すると電子黒板操作パネルは自動的に閉じます。
 - Quick Image Navigator の使用方法については、Quick Image Navigator 取扱説明書をご覧ください。
 - Document Manager の使用方法については、Panasonic-DMS 取扱説明書をご覧ください。

お願い

- 読み取りに支障がでることがありますので、読み取り中は電子黒板操作パネルをマウスでドラッグしたり、他のソフトウェアを動作させないでください。

電子黒板操作パネルについて

以下の操作パネルで、電子黒板のコントロールパネル（☞ 16 ページ）と同じ操作を行うことができます。

お知らせ

- 「電子黒板操作パネル」が表示されている間、電子黒板本体のコントロールパネルの複写キーおよび 2 画面複写キーは、コンピューターに画像を読み取るためのキーとなります。

パネル	なまえ	はたらき
	濃度／フィルム 残量表示	表示の状態、読み取りまたは複写時の濃度や転写フィルムの交換時期（目安）を知らせます。 消灯時：濃度は標準です。 点灯時：濃度は標準より濃くなります。 点滅時*：転写フィルムの交換時期が近づいています。 （点滅を始めると、残りの複写可能枚数は約 15 枚です） 本機をお買い上げの販売店で、別売品（UG-6001）をお求めください。 ※この点滅表示は、いったん電源を切ったり、プリンター部を開閉すると消えてしまいます。（複写を行うと、再度点滅を始めます）
	濃度切替ボタン	ボタンを押すごとに、読み取りまたは複写時の濃度を切り替えます。 （標準／濃い）
	2 画面読取 ボタン	スクリーンフィルム面の表側、裏側が 1 ページとしてコンピューターに読み取られます。 （電子黒板本体のコントロールパネルの 2 画面複写キーでも読み取りを行うことができます）
	マルチコピー／ エラー表示	複写枚数（1～9）が表示されます。マルチコピー／中止ボタンを押すごとに、表示が変化します。 例：1 → 2 → … → 9 → 1 → … エラー発生時は、エラー状態を表す記号（☞ 92 ページ）が点滅します。
	マルチコピー／ 中止ボタン	複数枚複写する場合、マルチコピー／エラー表示に希望枚数が表示されるまで数回押してください。また、複写を途中で止める場合に押してください。 複数枚複写中の枚数表示は、下の例のように一度 0 になって 1 に戻ります。 例：5 → 4 → 3 → 2 → 1 → 0 → 1 （複写されるごとに、枚数がカウントダウンされます） ※読み取りの場合、1～9の複写枚数の設定は無視されます。
	読取ボタン	スクリーンフィルム面がコンピューターに読み取られます。 （電子黒板本体のコントロールパネルの複写キーでも読み取りを行うことができます）
	正転送りボタン	スクリーンフィルム面が右から左へ送られます。
	2 画面複写 ボタン	スクリーンフィルム面の表側、裏側が 1 枚に複写されます。
	複写ボタン	スクリーンフィルム面が複写されます。

パネル	なまえ	はたらき
待機中	状態	電子黒板および TWAIN ドライバーの状態を表示します。 待機中： 電子黒板が待機状態であることを示します。 この状態では、電子黒板本体での操作または電子黒板操作パネルからの電子黒板の操作ができません。 画面送信中： 電子黒板がフィルム面を送っていることを示します。 複写中： 電子黒板がフィルム面を複写していることを示します。 読み取り中： 電子黒板がフィルム面を読み取っていることを示します。 画像変換中： 読み取られた画像データを表示するために変換していることを示します。 処理中： 電子黒板が処理中であることを示します。 エラー： 電子黒板に異常が発生していることを示します。
バージョン情報	バージョン情報ボタン	TWAIN ドライバーのバージョン情報を表示します。
ヘルプ	ヘルプボタン	ヘルプを表示します。
閉じる	閉じるボタン	電子黒板操作パネルを閉じます。

使
う

印刷の方法

コンピューターでご使用のアプリケーションソフトウェアから、電子黒板のプリンターに印刷する場合には、アプリケーションソフトウェアの印刷メニューを選択して、表示される「印刷」画面でインストール時に指定したプリンター名を選択し、印刷を行ってください。

Windows 98 / Windows Me の場合、標準のプリンター名は、「Panaboard-UB8 USB Printer (A4)」となっています。
 Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista / Windows 7 の場合、標準のプリンター名は、「Panaboard-UB8 (A4)」となっています。

お知らせ

- 印刷中は、電子黒板のマルチコピー／エラー表示が点滅します。
印刷終了後、電子黒板のマルチコピー／エラー表示が点灯に変わるまで、電子黒板のキーは動作しません。
- 印刷部数は最大 9 部です。
- 電子黒板の排紙口には、10 枚まで記録紙をためることができます。
(10 枚を超えると、紙づまりの原因になります)
- 濃度切替キーで印刷濃度を濃くすることはできません。

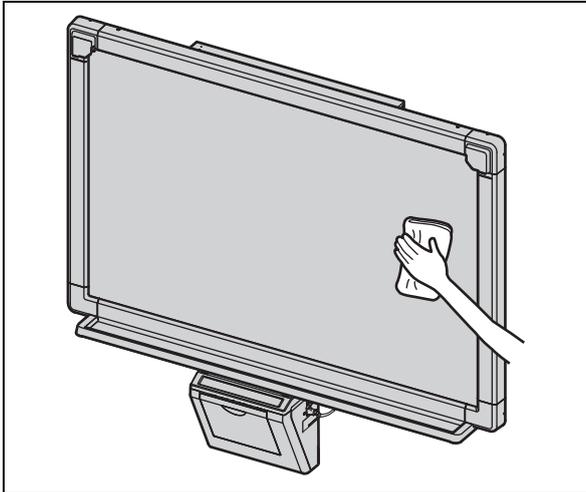
お願い

- 印刷の一時停止には対応しておりません。一時停止は行わないでください。
- 印刷が終了するまで電子黒板の電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。
(コンピューターの動作が不安定になることがあります)
- 黒い部分の多いデータを続けて印刷すると、濃度ムラ、白線抜けなどが出る場合があります。
その場合には、しばらく待って印刷してください。
- 印刷中に電子黒板に異常が発生すると、印刷ジョブが失われる場合があります。
その場合には、再度印刷してください。

日常のお手入れ

本体および本体内部を清掃するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スクリーンフィルム面・本体部のお手入れ

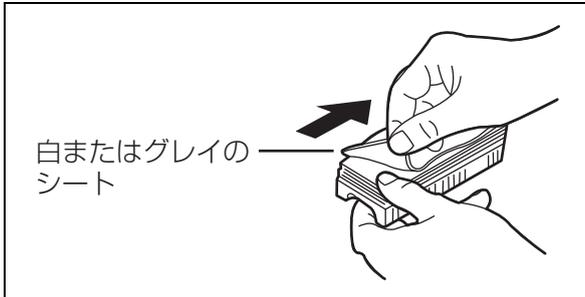


水にぬらしてよくしぼった柔らかい布で、軽くふいてください。

お願い

- 落ちにくい汚れには、市販のホワイトボードクリーナーを使用してください。
誤って油性マーカーで書いた場合、少量のエチルアルコールでふき取ってください。この際は、換気をよくしてください。
- シンナーやベンジン、研磨剤入りの洗剤などは使わないでください。（変色の原因になります）
- 乾いた布でスクリーンフィルム面をふかないでください。（静電気が発生する原因になります）

イレーサー（黒板消し）のお手入れ



イレーサーの消去面が汚れたら、指で下層のシートを押さえ、汚れたシート（白またはグレイのシート）を矢印の方向に引いて1枚はがしてください。

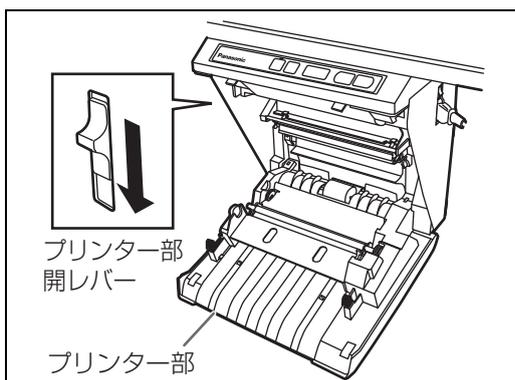
お願い

- 白またはグレイのシートを1枚だけはがすように注意してください。
- イレーサーが薄くなったら、消すときにイレーサーの角がスクリーンフィルム面に当たらないように注意してください。（スクリーンフィルム面を傷つけることがあります）

プリンターヘッド部・プラテンローラー・給紙ローラーのお手入れ

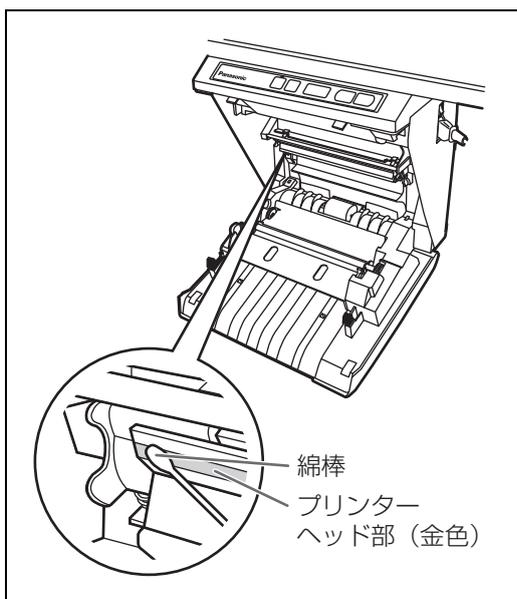
- 複写した用紙にしまや線が残る場合は、プリンターヘッド部およびプラテンローラーを清掃します。
- 紙づまりが頻繁に発生する場合は、給紙ローラーを清掃します。

1



プリンター部開レバーを下げ、プリンター部を開ける。

2



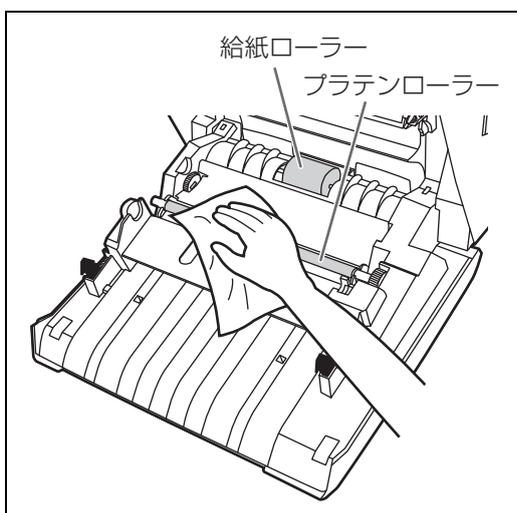
プリンターヘッド部の清掃

綿棒の先にエチルアルコールを含ませて、プリンターヘッド部を軽くふく。

お願い

- プリンターヘッド部およびその周辺には、絶対に手を触れないでください。(複写できなくなることがあります)

3

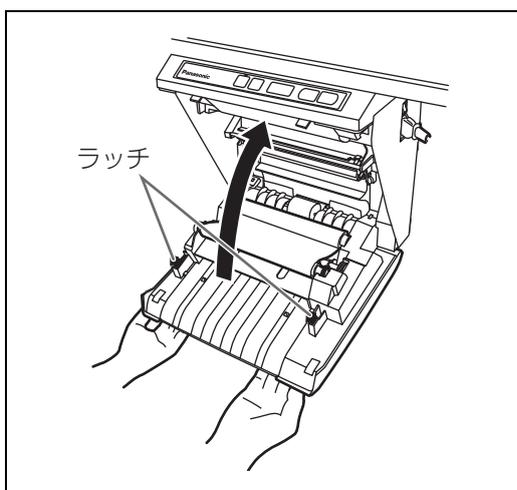


プラテンローラー・給紙ローラーの清掃

転写フィルムを両手で取り出したあと、プラテンローラーと給紙ローラーの汚れをていねいにふき取る。

- 転写フィルムの取り出しかたは、24 ページ。
- 柔らかい布に水で薄めた台所用洗剤（中性）を含ませて固くしぼったあと、ローラーを回転させながら表面全体をふいてください。
汚れが取れないときは、エチルアルコールを含ませた布でふいてください。

4



転写フィルムを元の位置に取り付け、プリンター部を閉める。

- 転写フィルムの取り付けかたは、18 ページ。
- プリンター部は「カチッ」と音がするまで、両手でしっかりと閉めます。

お願い

- 電源を入れたとき、マルチコピー／エラー表示に“r”が点滅している場合は、転写フィルムにたるみがあるか、正しく取り付けられていません。
転写フィルムのたるみおよび取り付け具合を見直してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく複写できませんので、両方のラッチが掛かっていることをたしかめてください。

困ったとき

日常のお手入れ

電子ペンまたは電子イレーザーの乾電池交換

電子ペンまたは電子イレーザーの乾電池が消耗してくると、インタラクティブ機能を使用しているコンピューターの画面に「電池の交換時期が近づいています」というメッセージが表示されます。新しい乾電池を準備して早めに乾電池を交換してください。

乾電池交換は、古い乾電池を取り出し、電子ペンの場合は 28 ページの「電子ペンの組み立て」の手順 1、電子イレーザーの場合は 29 ページの「電子イレーザーの組み立て」に従って新しい乾電池と交換してください。

乾電池が消耗した状態で使い続けると、位置ずれや動作不良の原因となります。

- 使えなくなった乾電池は、速やかに取り出し、地域で定められた方法に従って処理してください。

電子イレーザーのイレーザークロス交換

電子イレーザーのクロスが汚れて消去した跡が汚れる場合は、29 ページの「イレーザークロスの交換」に従って新しいイレーザークロスと交換してください。

故障かなと思ったとき (簡単なトラブル点検)

下表に従って処置してください。直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 と 処 置	参 照 ページ
電源スイッチを入れても表示が点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれているか確認する (それでも点灯しないときは、電源をいったん切って、再度入れ直す)	-
複写した記録紙が出てこない	記録紙や転写フィルムがなくなっている (エラー表示 “P” や “r” が点滅) → 記録紙を入れるまたは転写フィルムを交換する	20 24
	プリンター部が開いている (エラー表示 “d” が点滅) → 「カチッ」と音がするまで、しっかり閉める	19
	給紙カバーが開いている → 給紙カバーをしっかり閉める	21
	記録紙がプリンター内部に詰まっている (エラー表示 “d” が点滅) → プリンター部を開け、詰まった用紙を取り除く	25
	プラテンローラーや給紙ローラーが汚れている → プリンター部を開け、プラテンローラーと給紙ローラーの汚れをふき取る	86
複写後の記録紙が白い／薄い／かすれる	インタラクティブ用マーカー (小) で書かれている → マーカー (大) を使用する	-
	スクリーンフィルム面への記入が細い、または薄い → 太く、濃く書くか、新しいマーカーに取り替える	-
	プリンター部が少し開いている → 「カチッ」と音がするまで、しっかり閉める	19
記録紙にしまや線や印字抜けが出る (記録紙が汚れる)	プリンターヘッドやプラテンローラーが汚れている → プリンター部を開け、プリンターヘッドとプラテンローラーの汚れをふき取る	86
	転写フィルムがたるんだまま取り付けられている → 転写フィルムの使用済みの部分を巻きとってたるみをなくし、再度取り付け	24
黒や白の横線が出る、またはページが印刷されない／黒く印刷される	本機に直射日光や強い光が当たっている → スクリーンの方向をかえるか光を遮る	-
複写キーや送りキーを押してもスクリーンフィルム面が動かない	スクリーンフィルム面をふくときに、静電気が発生している → 電源を切り、スクリーンフィルム面を手でゆっくりと動かす	-
濃度／フィルム残量表示ランプが点滅している	転写フィルムの交換時期が近づいている (点滅を始めると、残りの複写可能枚数は約 15 枚です) → 新しい転写フィルム (UG-6001) を用意する	94
USB ドライバーやプリンタードライバーが、インストール後すぐに動作しない	電子黒板が「コントロールパネル」の「スキャナとカメラ」、「プリンタ」に登録されていない → 34 ページの「ドライバー／インタラクティブ ソフト／ボードイメージ キャプチャー／Quick Image Navigator を削除するには」に従ってソフトウェアをアンインストールし、31 ページの「ドライバー／インタラクティブ ソフト／ボードイメージ キャプチャーのインストール」に従って再度ソフトウェアをインストールする	31 34

困ったとき

故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）

	電子黒板が動作できる状態になっているか、また USB ケーブルが正しく接続されているか確認する	-
コンピューターが電子黒板を認識しない	電子黒板を USB ハブを通して接続している → USB ハブを通して接続しない	-
	通信ポートの設定が適切でない → 38 ページの「通信ポートを設定する」にしたがって、通信ポートの設定を変更する	38
ドライバーをインストールし、USB ケーブルを接続した時、Panaboard UB-8 Driver Disk を要求するメッセージが表示される	必要なファイルが見つからない (Windows 98 の場合) → ファイルの場所を指定するボックスをクリックし、表示されたメニューから下記のパスを選択する "UB-8¥UsbDrv¥Win98-Me"	-
以前インストールしたソフトウェアがプログラムメニューから削除された	既存の Panasonic-DMS を削除した後、新しいバージョンの Panasonic-DMS をインストールした → 下記の手順に従って Panasonic-DMS をインストールし直す 1. インストールした新しいバージョンの Panasonic-DMS を削除する 2. 以前インストールしていた古いバージョンの Panasonic-DMS をインストールする 3. 新しいバージョンの Panasonic-DMS を古いバージョンと同じフォルダーにインストールする	33-34
Panasonic-DMS をインストールしたらソフトウェアが使用できなくなった		
Panasonic-DMS を削除しても、Panasonic Document Management System がプログラムメニューから削除されない	新しいバージョンの Panasonic-DMS をインストールする前に古いバージョンがインストールされていた場合、古いバージョンは削除されない → コントロールパネルのアプリケーションの追加と削除から、古いバージョンの Panasonic-DMS を削除する (34 ページの「ドライバー／インタラクティブ ソフト／ボードイメージ キャプチャー／Quick Image Navigator を削除するには」を参照し、Panaboard UB-8 ソフトウェアの代わりに Panasonic-DMS を削除する)	34
インタラクティブ機能のプロジェクターモードで使用している場合に、電子ペンの操作位置がずれる	プロジェクターの投影位置がずれた → 再度キャリブレーションを行う	36
インタラクティブ機能を使っているときに、筆記したデータがインタラクティブパナボードのスクリーン上やコンピューターの画面上で欠けたり位置ずれしたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子ペンを傾けて使用している ● 直射日光やスポットライトなどの強い光が当たっている ● 赤外線リモコンを電子ペン／電子イレーザーの位置検出部に向けて操作している ● インタラクティブパナボードの側面近くに壁があるか、天井に近い ● インタラクティブパナボードの近くにエアコンの吹き出し口がある ● インタラクティブパナボードの位置検出部を手や物でふさいでいる ● 電子ペンまたは電子イレーザーの信号発信部が手でおおわれている ● 複数の電子ペンまたは電子イレーザーが同時に使用されている → 上記原因を取り除く 上記以外で位置がずれる場合は、39 ページの「位置ずれを調整する」にしたがって、位置調整を行ってください	-

故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）

インタラクティブ機能の場合、コンピューターの画面上に不要な線が表示される	インタラクティブ機能を使用している間、インタラクティブパナボードの近くで以下のことを行った ● 電子ペンのインタラクティブ用マーカー（小）交換 ● 電子ペンのキャップの付け外し ● 電子ペンのペン先を押す → 上記の行為を行わない	-
インタラクティブ機能のホワイトボードモードの場合、電子ペンのマーカーの色が正しく認識されない	インタラクティブ用マーカー（小）が正しくセットされていない → ペンホルダーレバーをリリースの位置に回し、「ジー」と音がするまでペン先を奥に押しつけながら、ペンホルダーレバーをロックの位置に戻す	28
	当社指定以外のマーカーがペンホルダーにセットされている → 付属品または別売品のインタラクティブ用マーカー（小）をペンホルダーにセットする	-
「電池の交換時期が近づいています」というメッセージが、インタラクティブ機能を使用しているコンピューターの画面に表示される	電子ペンまたは電子イレーサーの乾電池を、新しい乾電池に交換する	28 88
「設定をすべての描画に適用することはできませんでした。ストロークの一部が描画されませんでした。」というメッセージが表示され、描画ツールのイレーサー／マーカーボタンが選択できない	マーカー／イレーサーの設定変更を「すべての描画」に適用した時に透過／不透過のマーカー切り替えが制限の10回を越えた → Windows Vista / Windows 7 の場合、透過するマーカーと透過しないマーカーの切り替え回数が10回に制限されています 切り替え回数が制限内におさまるようにマーカー／イレーサー設定ダイアログで「透過」の設定を変更してください	46
「制限に達したので、ストロークが描画されませんでした。」というメッセージが表示され、描画ツールのイレーサー／マーカーボタンが選択できない	やり直しを行った時に透過／不透過のマーカー切り替えが制限の10回を越えた → Windows Vista / Windows 7 の場合、透過するマーカーと透過しないマーカーの切り替え回数が10回に制限されています 切り替え回数が制限内におさまるようにマーカー／イレーサー設定ダイアログで「透過」の設定を変更してください	46
「透過する／しないの切り替え回数が制限に達したので、マーカーを選択できません。」というメッセージが表示され、希望のマーカーが選択できない	マーカーの選択 または、白背景 / PowerPoint スライドショー / 次へ / 前へを選択した時に透過／不透過のマーカー切り替えが制限の10回を越えた → Windows Vista / Windows 7 の場合、透過するマーカーと透過しないマーカーの切り替え回数が10回に制限されています 切り替え回数が制限内におさまるようにマーカー／イレーサー設定ダイアログで「透過」の設定を変更してください	44 46

故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）

こんな表示が出たら

マルチコピー／エラー表示に以下の記号が点滅します。

表 示	原 因	処 置	参照 ページ
 (エラー)	データが転送されない	USB ケーブルを確実に接続する	31
 (スクリーン)	スクリーンフィルム面が動かない	電源を切り、スクリーンフィルム面を手でゆっくりと動かす	-
 (ドア)	プリンター部が確実に閉まっていない	プリンター部を確実に閉める	19
 (ジャム)	紙づまりが発生している	プリンター部を開け、詰まった用紙を取り除く	25
 (リボン)	転写フィルムがたるんでいる または、転写フィルムがなくなっている／ 取り付けられていない	転写フィルムのたるみを取り除く または、転写フィルムを交換する／ 取り付ける	18 24
 (ペーパー)	記録紙がなくなっている	記録紙を補充する	20
 (スキャナー)	スキャナーまたはスクリーンフィルムに直射日光や強い光が当たっている	スクリーンの方向をかえるか光を遮る	-

- そのほかの表示については、販売店にお問い合わせください。

仕様

	品番	UB-8325
概要	電源	交流 100 V、50/60 Hz
	消費電力：作動時	74 W
	外形寸法：縦×横×幅 (mm) (スタンドなし)	1,388 × 1,550 × 264
	質量：スタンドなし	34.0 kg
	使用環境条件	インタラクティブ機能の場合 周囲温度：15℃～30℃、湿度：30%～80% インタラクティブ機能以外の場合 周囲温度：10℃～35℃、湿度：30%～80%
	保存環境条件	周囲温度：-20℃～60℃ 湿度：15%～80%
	筆記具（指定品）	マーカー（大）：黒・赤・青 インタラクティブ用マーカー（小）：黒・赤・青・緑
	PC インターフェース	Full Speed USB 2.0 * * 本機は Hi-Speed USB 2.0 に対応していません。
入力部	ボード画面サイズ：縦×横 (mm)	900 × 1,400
	画面数	2 画面
	画面送り方式	スクロール方式
	複写可能範囲：縦×横 (mm)	850 × 1,330
	読み取り方式	イメージセンサーアレイ方式
	読み取り解像度：縦 × 横	1.6 x 1.7 ドット/mm
出力部	記録方式	溶融型熱転写記録方式
	記録密度	203 dpi (8 ドット/mm)
	記録用紙	普通紙・再生紙 (60～90 g/m ²)
	記録紙サイズ (mm)	A4 判 (縦 210 × 横 297)
	複写色	黒
	濃度調整	標準/濃い 2 段階切替
	2 画面圧縮コピー	あり
	所要複写時間	約 15 秒/枚 (1 画面)
	連続複写枚数	1～9 枚
	用紙切れ警報機能	あり

困ったとき

仕様

インタラクティブ機能	投写／筆記可能画面サイズ： 縦 x 横 (mm)	プロジェクター機能：850 × 1,330mm スクリーンフィルム上端から 50mm と両端から 35mm の範囲は位置を正常に検出できません ホワイトボード機能：825 × 1,330mm スクリーンフィルム上端から 50mm と下端から 25mm および両端から 35mm の範囲は書き込みができません ※ 位置検出部から 100 mm 以内は正常に検知できません
	電子ペン／電子イレーザー用電源	LR03 (単4形アルカリ乾電池) × 2
	電子ペン／電子イレーザー 電池寿命	48 時間 (25 °Cにて連続使用の場合) ※ パナソニック LR03 アルカリ乾電池を使用している場合

オプション機器と別売品・消耗品

オプション機器	スタンド：	KX-BP065N
	壁掛けキット：	KX-B063N
別売品 消耗品	転写フィルム：	UG-6001 (50 m 巻き 2 本セット)
	マーカー：	KX-B031N (黒 10 本セット) KX-B032N (赤 10 本セット) KX-B033N (青 10 本セット)
	イレーザー： マーカー (大) ・イレーザー セット：	KX-B042N (6 個セット) KX-B035N (マーカー黒・赤・青各 1 本、 イレーザー 1 個)
	インタラクティブパナボード用	
	ペンホルダー：	KX-BP038N
	電子イレーザー：	KX-BP048N
	インタラクティブ用マーカー (小) セット：	KX-BP0385N (黒・赤・青・緑各 1 本)
	イレーザークロス (電子イレーザー用)：	KX-BP0481N (10 枚セット)

- マーカー (大) とイレーザーは、インタラクティブ機能以外の場合に使用します。
- インタラクティブ用マーカー (小) はペンホルダーにセットして使用します。
電子ペン (インタラクティブ用マーカー (小) をセットしたペンホルダー) と電子イレーザーはインタラクティブ機能の場合に使用します。
- オプション機器や別売品・消耗品の購入は、電子黒板をお買い上げの販売店までご連絡ください。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間： お買い上げ日から
本体 6ヵ月間

ただし、転写フィルム、マーカー、イレーサーは消耗品ですので、保障期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この電子黒板の補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼される時

89ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはサービス実施会社へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはサービス実施会社が出張修理をさせていただきます。

お買い上げの販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

●保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店またはサービス実施会社へご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

お買い上げの販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

- 製品名： 電子黒板
- 品番： UB-8325
- お買い上げ日： 年 月 日
- 故障の内容 できるだけ具体的に

■アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。



工事説明（サービスマン専用）

も く じ

	ページ
安全上のご注意	98
本体の組み立て	100
● 付属品の確認	100
● 組み立て方	101
本体の動作確認	104
再包装	106
スタンド（オプション機器）の組み立て	107
● 付属品の確認	107
● 組み立て方	108
壁掛け（オプション機器）工事	110
● 壁掛けの確認	110
● 付属品の確認	111
● 壁掛け金具の取り付け	112
● 壁の種類と工事方法	113

- 電子黒板本体・スタンドの組み立ておよび壁掛け工事は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 組み立ておよび工事の前に、この「工事説明（サービスマン専用）」をよくお読みください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■作業（分解・取り付け・組み立て）時は必ず電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因になります。

■指定部品を使用する



火災・感電・けがの原因になります。

■作業後は、安全点検をする



- 取り外したネジ・部品などが元どおりになっているか、配線が指定どおりになっているか、また作業場所周辺で劣化させたところがないか、などを点検してください。

■注意事項を守る



- 作業のとき特に注意を要する箇所についてはキャビネット、シャーシ、部品などにラベルや捺印で注意事項を表示しています。これらの注意書きおよび取扱説明書などの注意事項をお守りください。

注意

■壁に掛けるときは、壁の強度が指定の強度以上であることを確認する



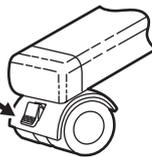
壁の強度が下記の重さに耐えないと、本体が落下してけがの原因になることがあります。

UB-8325 → 1005 N (103 kgf) 以上

■設置時または移動後は、キャスターをロックする



キャスター
ロック
(下側を押す)



動いたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■サービスマン以外は設置しない



禁止

設置の不具合により、けがの原因になることがあります。

■モルタル壁には取り付けない



禁止

本体が万一漏電した場合、モルタル壁内のメタルラスまたは、ワイヤラスと壁掛け金具の取付けネジの接触により、発熱・発煙・発火の原因になることがあります。

■作業（分解・取付・組立）時は、手袋を着用する



●金属端面によるけがや、通電作業時の感電を防止するために必ず手袋を着用してください。

■壁掛け後は、本体を手前に引いて、壁掛けネジが完全に壁掛け金具に引っ掛かっていることを確認してください

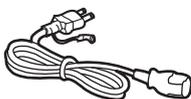
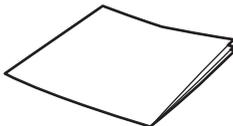


壁掛け金具に完全に引っ掛かっていないと、本体が落下してけがの原因になることがあります。

本体の組み立て

■ 付属品の確認

次のものが付属されていますのでご確認ください。

No.	部品名	形状	員数	注意事項
1	電源コード		1	
2	壁掛けテンプレート		1	壁掛け用

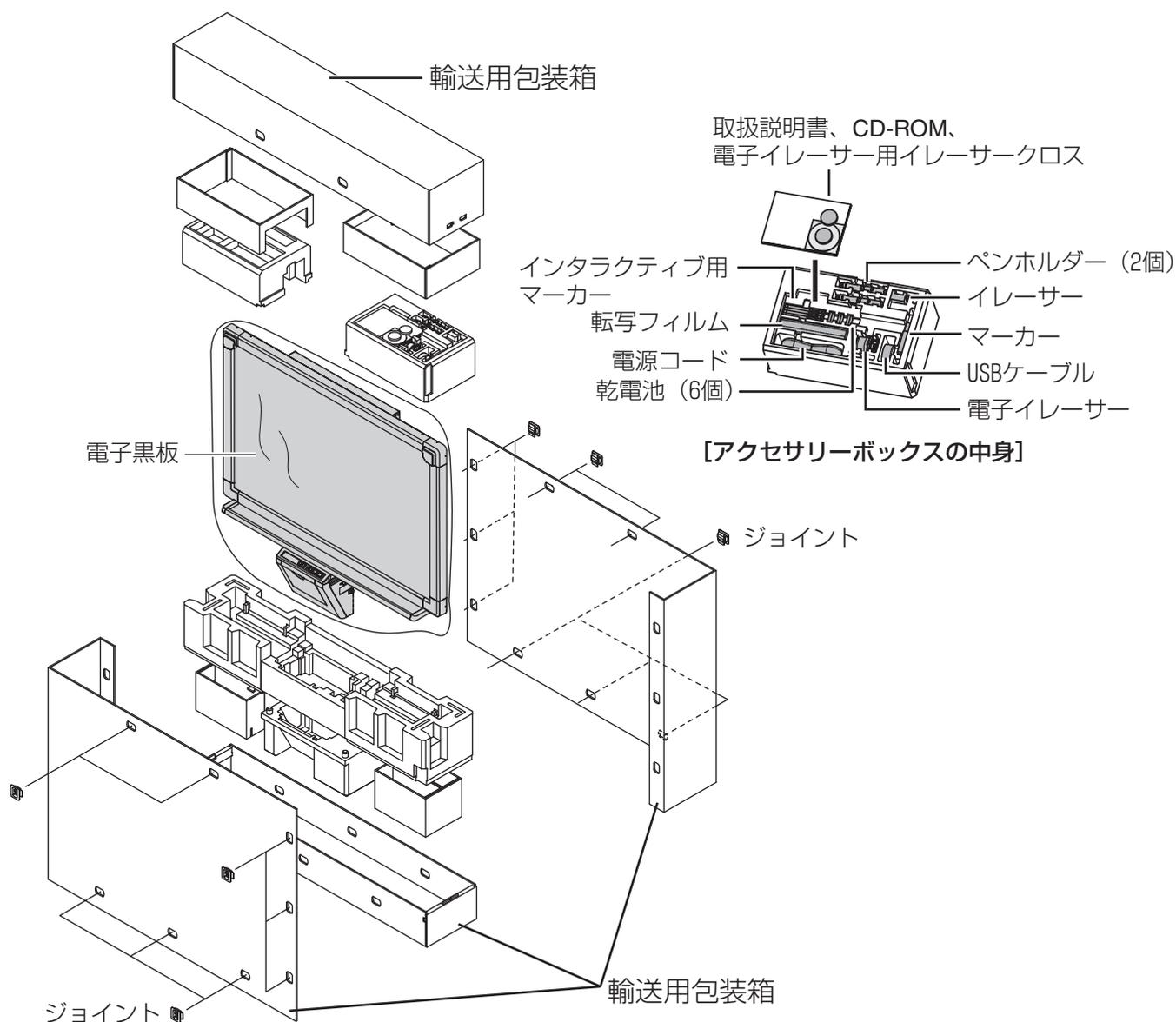
■ 組み立て方

1 スタンド（オプション機器）／壁掛けキット（オプション機器）を組み立てる

- スタンド（オプション機器）を使用する場合 （☞ 107 ページ）
- 壁掛けキット（オプション機器）を使用する場合 （☞ 110 ページ）

2 電子黒板本体を包装箱から取り出す

ジョイントを外し、本体を包装箱から取り出す。



お願い

- スクリーン部を取り出すときは、スクリーンフィルム面を持たず、側面の枠を持ってください。（スクリーンフィルム面を持つと、傷つけることがあります）
- 輸送用包装箱、緩衝材などの包装資材は、再包装時に必要ですので大切に保管してください。

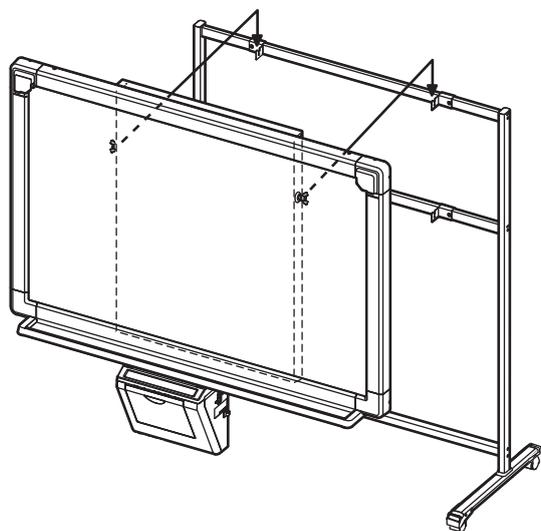
本体の組み立て

3 電子黒板を取付ける

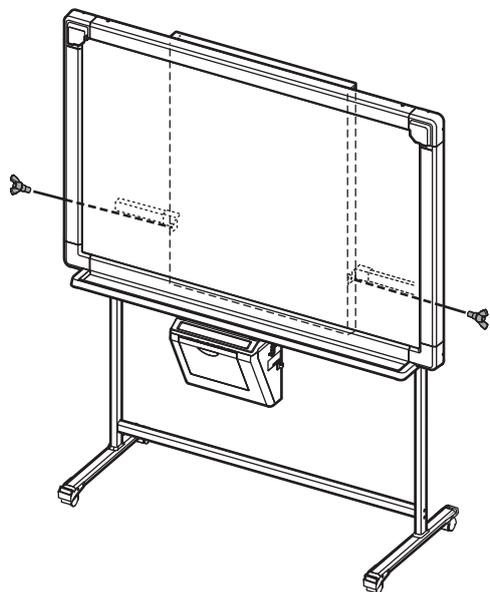
スタンド（オプション）を使用する方法と壁掛けキット（オプション）を使用する方法があります。

●スタンド（オプション）を使用する

1. スタンドに電子黒板の蝶ネジをひっかける。

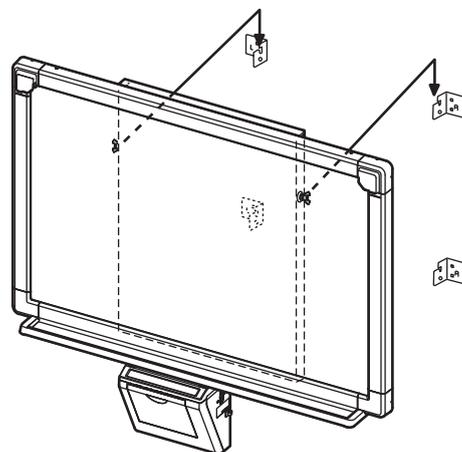


2. スタンドに付属の蝶ネジ [M5 x 12mm (2本)] を使用し、金具に固定する。

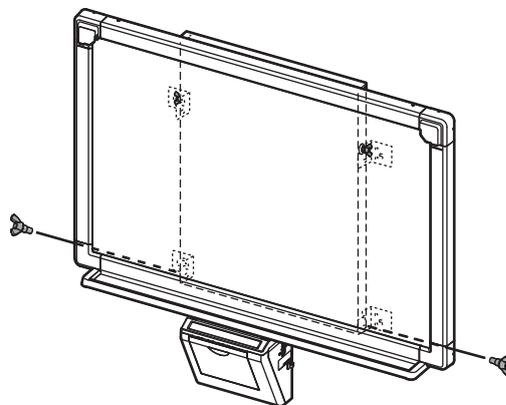


●壁掛けキット（オプション）を使用する

1. 壁掛け金具に電子黒板の蝶ネジをひっかける。



2. 壁掛けキットに付属の蝶ネジ [M5 x 12mm (2本)] を使用し、壁掛け金具に固定する。

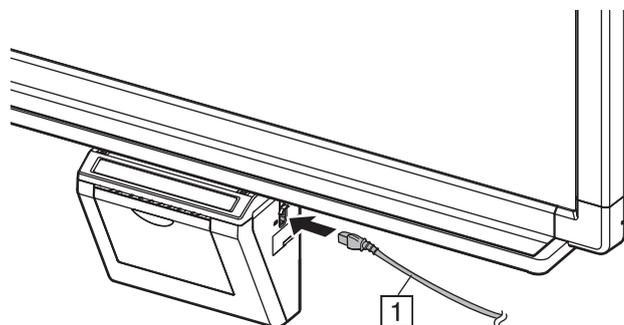


お願い

- 本体を壁に掛ける際は、当てたり、衝撃を与えないでください。
- 本体を壁に掛けたあと、本体にゆっくりと重さをかけて、壁が重量に耐えることを確認してください。

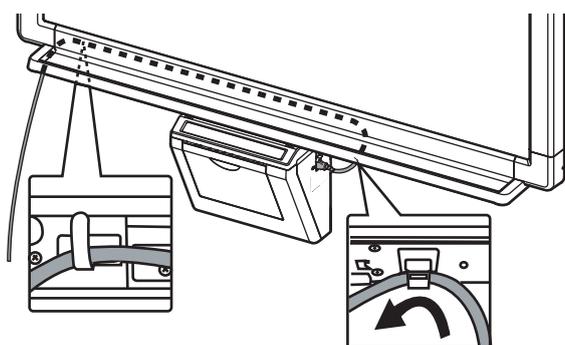
4 電源コードを取付ける

1. 付属の電源コードを、プリンター部の電源用コネクタにしっかりと差し込む。

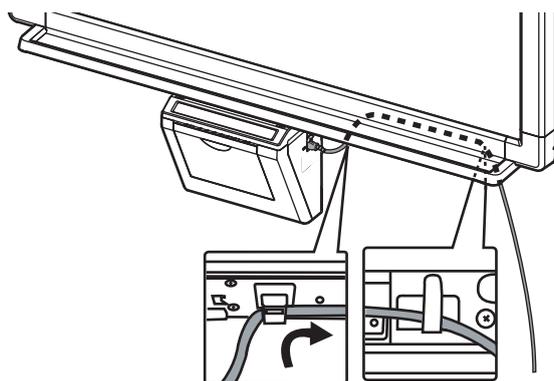


2. 電源コードを中央と左または右のケーブルホルダーにはさみ込む。

- 左に配線する場合

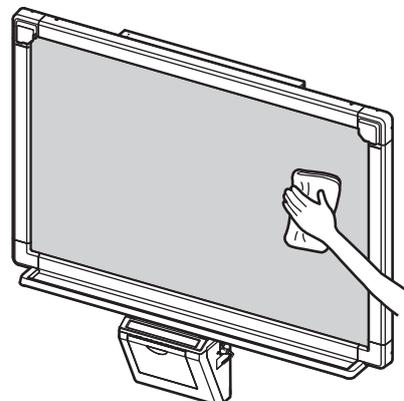


- 右に配線する場合



5 スクリーンフィルム面をふく

水にぬらしてよくしぼった柔らかい布で、スクリーンフィルム面を軽くふく。



お願い

- シンナーやベンジン、研磨剤入りの洗剤などは使わないでください。
(変色の原因になります)
- 乾いた布でスクリーンフィルム面をふかないでください。
(静電気が発生する原因になります)

6 動作確認を行う

- ☞ 104 ページ「本体の動作確認」

本体の動作確認

本体を組み立てたあと、下記の手順で本体が正しく動作しているかどうかを確認します。

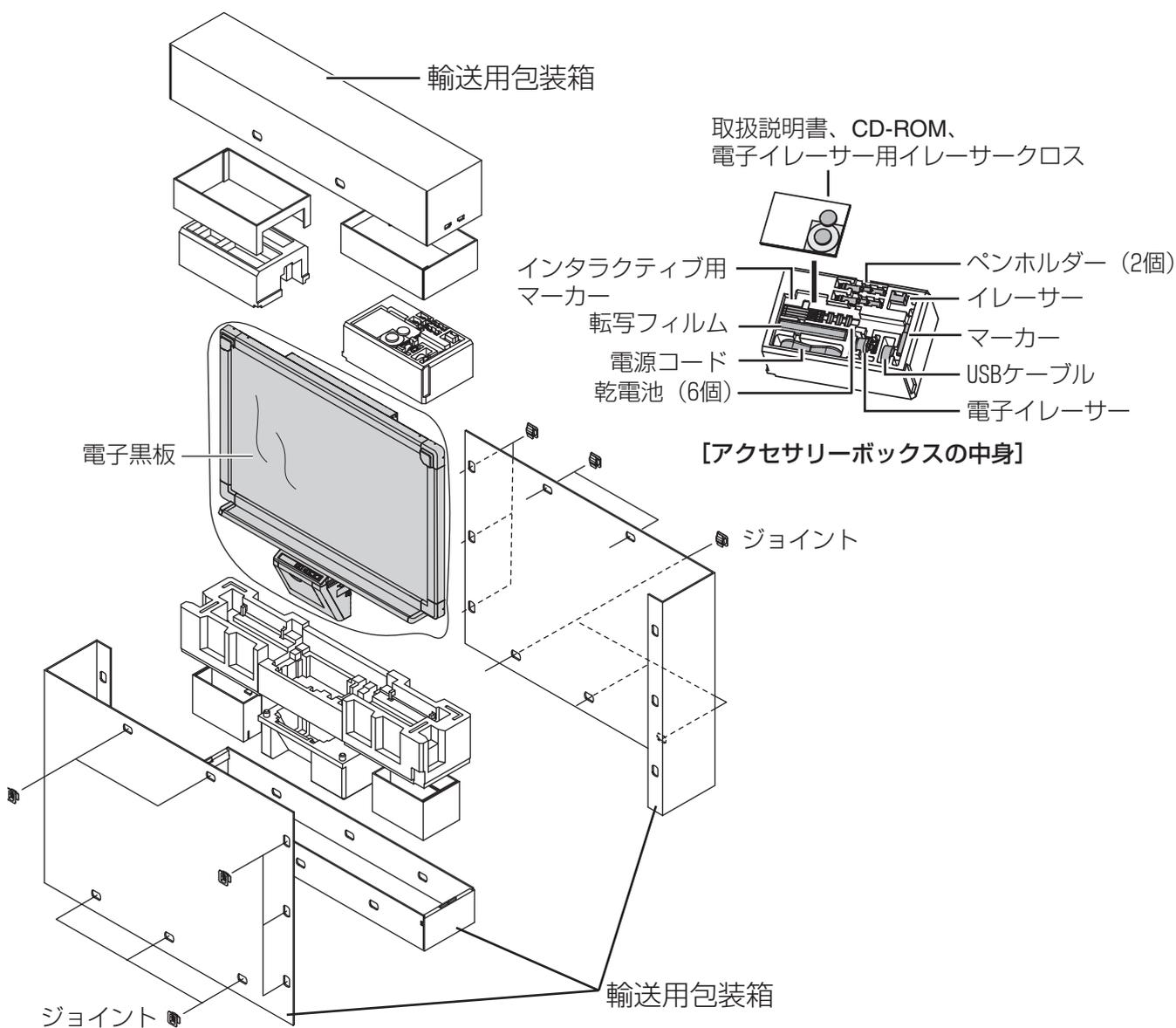
手順		確認項目	
		動作	処置
1	電源スイッチを入れる	“  ” が点灯後 “  ” が点滅	(正常動作)
		(上記動作以外)	電源コードを確認 (103 ページ手順「4」)
2	プリンター部を開けて付属の転写フィルムを取り付け、プリンター部を閉める 転写フィルムの取り付けかた ( 18 ~ 19 ページ)	“  ” が点滅	(正常動作)
		(上記動作以外)	転写フィルムの取り付けを確認
3	給紙カバーを開けて付属のA4テスト用普通紙をセットし、給紙カバーを閉める 記録紙のセットのしかた ( 20 ~ 21 ページ)	“  ” が点灯	(正常動作)
		(上記動作以外)	記録紙を確認
4	プリンター部を開ける	“  ” が点滅	(正常動作)
		(上記動作以外)	販売店に問い合わせる
5	プリンター部を閉める	“  ” が点灯	(正常動作)
		(上記動作以外)	販売店に問い合わせる
6	 を押す	スクリーンが送られる	(正常動作)
		スクリーンがスムーズに送られない	販売店に問い合わせる
		異音が発生する	
7	① 付属のマーカーで、スクリーンフィルム面の複写可能範囲いっぱいには  を書く • 複写可能範囲 ( 11 ページ) ②  を 2 回押す ③  を押す	“  ” が点灯し、3 枚複写される	(正常動作)
		3 枚複写されない	販売店に問い合わせる
		複写可能範囲が印刷されない	
		複写時に異音・紙づまりが発生する	
8	①  で、スクリーンフィルム面を移動させ、マーカーで文字などを適当に書く ②  を 1 回押す ③  を押す	濃度表示ランプが点灯し、複写される	(正常動作)
		濃度表示ランプが点灯しない	販売店に問い合わせる
		正しく複写されない	
		複写した用紙に汚れ（しまや線など）がある	
9	 を 1 回押す	濃度表示ランプが消灯する	(正常動作)
		濃度表示ランプが消灯しない	販売店に問い合わせる
10	 を押す	2 画面が複写される	(正常動作)
		(上記動作以外)	販売店に問い合わせる

■ インタラクティブ機能の動作確認

- 1 31 ページの「ドライバー／インタラクティブ ソフト／ボードイメージ キャプチャーのインストール」に従って、コンピューターにソフトウェアをインストールし、付属の USB ケーブルを接続する
- 2 インタラクティブ機能が正常に動作するかを確認する
 - 電子ペンの位置がずれている場合は、39 ページの「位置ずれを調整する」に従って位置調整を行ってください。

再包装

本体を再包装するには、本体の組み立て手順2～4 (P. 101～103 ページ) を逆に行い、輸送用包装箱をジョイントで留めます。



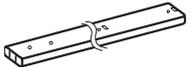
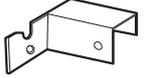
お願い

- スクリーン部を取り扱うときは、スクリーンフィルム面を持たず、側面の枠を持ってください。
(スクリーンフィルム面を持つと、傷つけることがあります)

スタンド (オプション機器) の組み立て

■ 付属品の確認

オプション機器のスタンド (KX-BP065N) には次のものが付属されていますので、ご確認ください。

番号	部品名	形状	員数	番号	部品名	形状	員数
①	ベース		2	⑦	スタンド 取付金具 (左)		2
②	支柱		2	⑧	スタンド 取付金具 (右)		2
③	カバー		2	⑨	蝶ネジ M5 x 12 mm		6
④	サイドバー (上)		2	⑩	プレート		2
⑤	サイドバー (下)		1	⑪	レンチ		1
⑥	ボルト M8 x 45 mm		12				

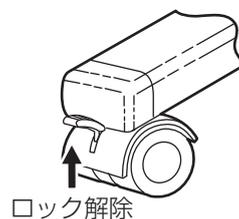
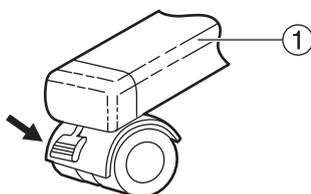
*1 付属のレンチはボルト (⑥) を締めつけるときや緩めるときに必要ですので、大切に保管しておいてください。

⚠ 注意

■ 設置時または移動後は、キャスターをロックする



キャスターロック
(下側を押す)



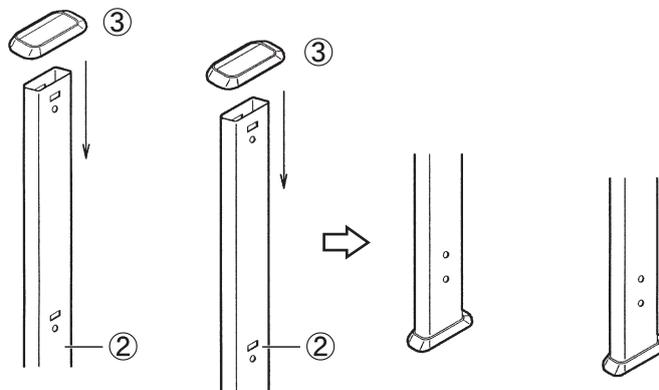
動いたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

スタンド（オプション機器）の組み立て

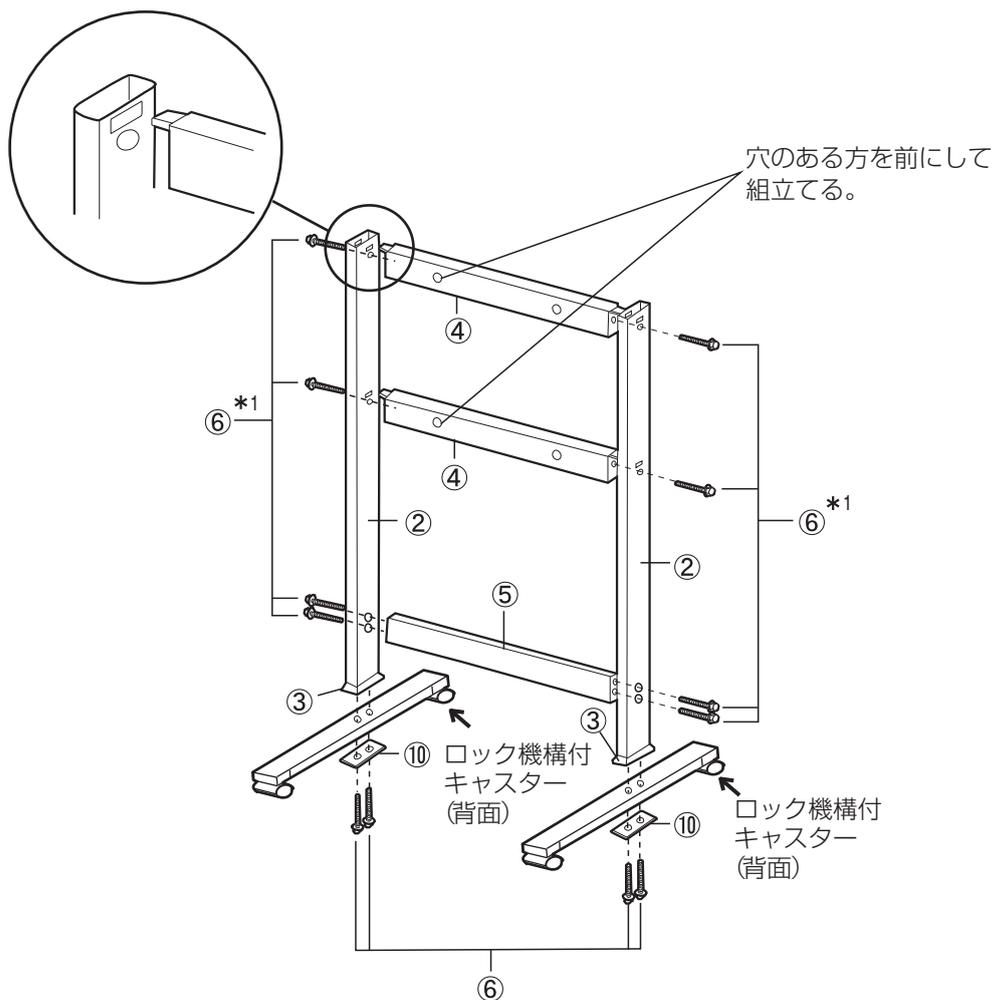
■ 組み立て方

1 スタンドを組み立てる

1. 支柱（②）にカバー（③）を差し込む



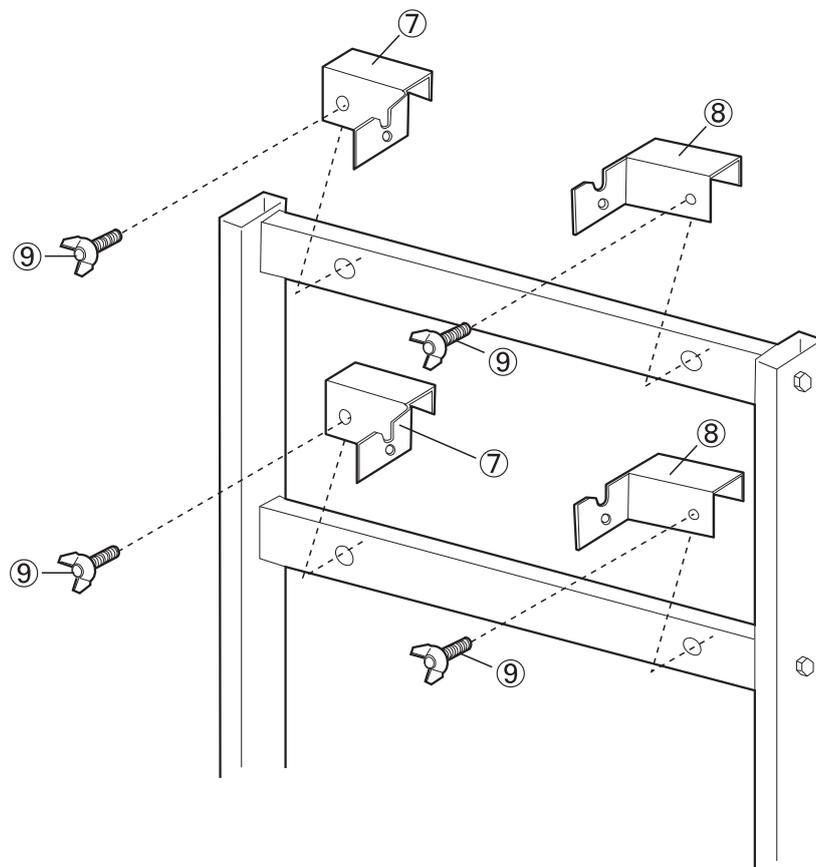
2. スタンドを組み立てる



お願い

- ネジ（⑥ *1）を締め過ぎないでください。（パイプが変形することがあります）

2 スタンド取付金具（⑦、⑧）を蝶ネジ（4本）で取り付ける



3 電子黒板本体を組立てる
☞ 102 ページの手順 3

壁掛け（オプション機器）工事

■ 壁掛けの確認

壁掛けキットを取り付けるときは、事前にビルの経営者や管理技師あるいは設計者に相談し、壁の構造が本機の取り付けに適しているかをご確認ください。安全のため、取り付ける壁の種類および取り付けネジ（市販品）の選定と工事方法を充分にご相談の上で、取り付けを行ってください。（☎ 113～115 ページ）

I. 必要な道具（これらの道具は製品には含まれておりません）

- ドリル（そのドリルに合った刃）
- ドライバー（プラスとマイナスの両方が必要です）
- メジャー
- セロハン粘着テープ
- 水準器

II. 事前に確認すること

1. 取り付ける壁が十分な強度のものであるか。
[UB-8325：1005 N（103 kgf）]
2. 取り付ける場所には十分な広さが確保されているか。
[UB-8325：高さ 1,516 mm × 幅 1,550 mm]
3. 電源コンセントの位置は電子黒板から 3 m 以内の場所にあるか。また、電子黒板の裏側にならないか。

⚠ 注意

■ モルタル壁には取り付けない



禁止

本体が万一漏電した場合、モルタル壁内のメタルラスまたは、ワイヤラスと壁掛け金具の取り付けネジの接触により、発熱・発煙・発火の原因になることがあります。

■ 壁に掛けるときは、壁の強度が指定の強度以上であることを確認する



壁の強度が下記の重さに耐えないと、本体が落下してけがの原因になることがあります。
UB-8325 → 1005 N（103 kgf）以上

■ 壁掛け後は、本体を手前に引いて、壁掛けネジが完全に壁掛け金具に引っ掛かっていることを確認する

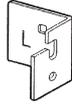
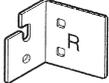


壁掛け金具に完全に引っ掛かっていないと、本体が落下してけがの原因になることがあります。

■ 付属品の確認

オプション機器の壁掛けキット（KX-B063N）には、次のものが付属されていますので、ご確認ください。

- 壁掛け金具の取付ネジ（8 個）は付属されていません。壁材に適したネジ（市販品）を購入してください。（☞ 113 ページ）

番号	品名	形状	員数
①	壁掛け金具（左側用）		2
②	壁掛け金具（右側用）		2
③	蝶ネジ （本体を取り付ける際 に使用します）	 M5 x 12 mm	2
④	ネジ （使用しません*）	 M4 x 16 mm	4
⑤	壁掛けテンプレート （使用しません*）	UB-8325 本体に付属のテンプレート をご使用ください。 	1

* 他のモデルで使用します。

■ 壁掛け金具の取り付け

1 取り付ける壁が十分な強度のものか確認する

UB-8325 → 1005 N (103 kgf) 以上

2 電子黒板を取り付ける壁に、壁掛けテンプレートを水平に貼る

お願い

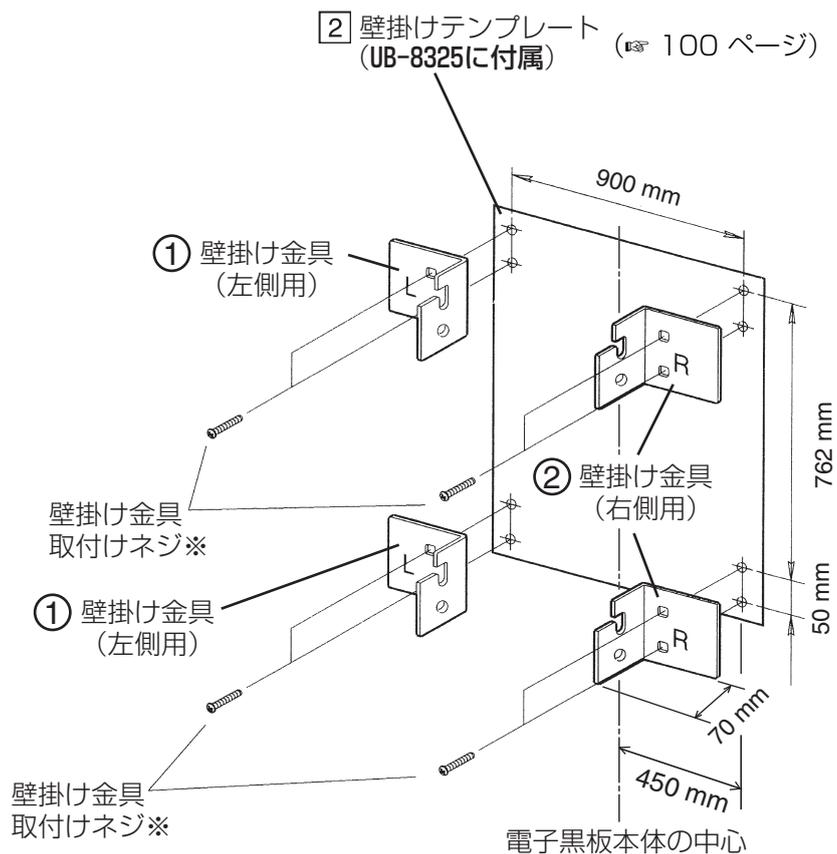
- UB-8325 本体に付属のテンプレートを使用してください。

3 1) 壁に壁掛け金具用の穴を 8 箇所あける

- 壁掛け金具の穴の直径は 7mm です。

2) 壁掛けテンプレートを外し、ネジ 8 本（市販品）で壁掛け金具を取り付ける

- 壁掛け金具 1 個に対し、2 本のネジを使用します。



※ 取付ネジ (8 個) は付属されていません。壁材に適したネジ (市販品) を購入してください。

※ 壁掛け金具のもっとも上の穴を床から 1675mm の高さにすると、スタンド (オプション機器) の高さ (床からスクリーンのトップまで 1880mm) と同じになります。

- 壁の穴あけ、および壁掛け金具の取り付けは、「壁の種類と工事方法」(☞ 113 ページ) にしたがって行ってください。

4 電子黒板本体を組立てる

☞ 102 ページの手順 3

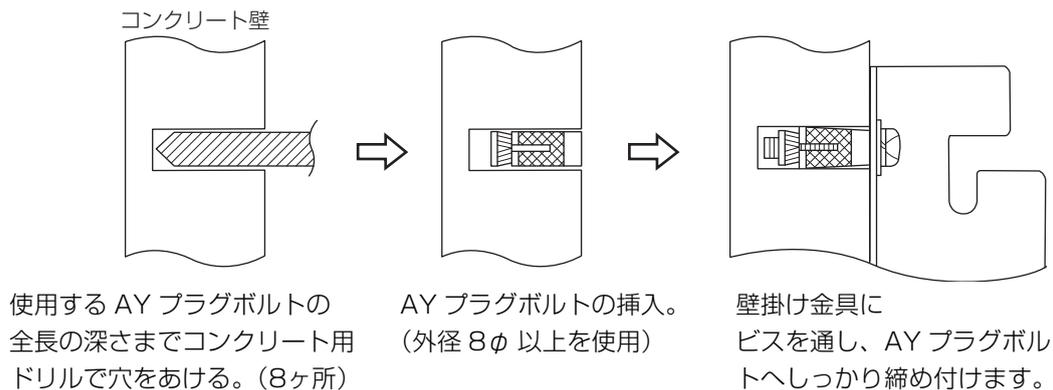
■ 壁の種類と工事方法

(1) コンクリート・ブロック壁

コンクリート壁には、コンクリート直接壁と、直接壁に接着剤でボードを貼付された壁およびモルタル処理壁があります。

コンクリートの厚み (25 mm 以上) を確認のうえ、コンクリート用ドリルで穴をあけて、AY プラグボルト (アンカーボルト) を打ち込んで、壁掛け金具を取り付けます。

●コンクリート・ブロック壁への取り付け方法



(2) 石膏ボード・プラスターボード壁

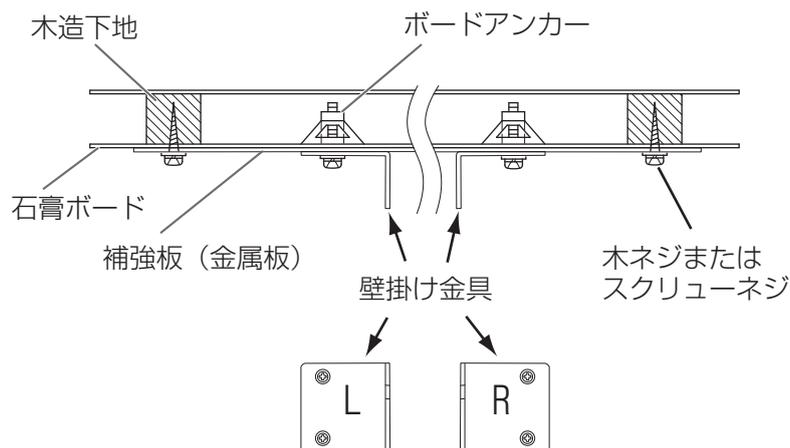
この壁の材質は強度的にかなり弱く、ボードアンカーなどは直接取り付けることができません。

したがって、壁内部の下地への取り付け、および下地間に補強板を入れて壁掛け金具を取り付けます。

下地は、木造下地 (胴縁) と銅製下地 (スタッド) があります。

銅製下地の場合、補強板の取り付けはスクリーネジで行ってください。

●石膏ボード・プラスターボード壁施工方法



壁掛け（オプション機器）工事

(3) 木製壁（ベニア化粧合板）

木造壁は、木造下地（胴縁）にベニア合板などを貼られたものであり、合板が厚い場合はボードアンカーで直接取り付けることができますが、合板が薄い場合は石膏ボードと同様の工法で取り付けます。いずれの場合も取り付ける壁の強度を確認して行ってください。

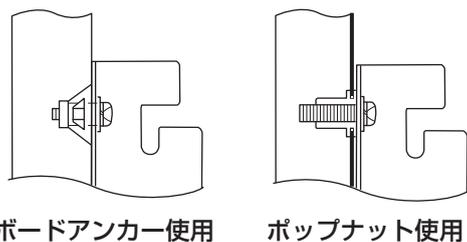
(4) アルミパーテーション壁

ワンフロアを合理的に分割するための簡易間仕切りで、アルミ支柱間にパーテーション壁（薄い鉄板）を取り付けたものです。鉄板または支柱へ壁掛け金具を直接取り付ける方法（①）と、鉄板が薄い場合などのように、支柱間に補強板を取り付け、補強板に壁掛け金具を取り付ける方法（②）があります。

パーテーション壁断面構造（上面より）



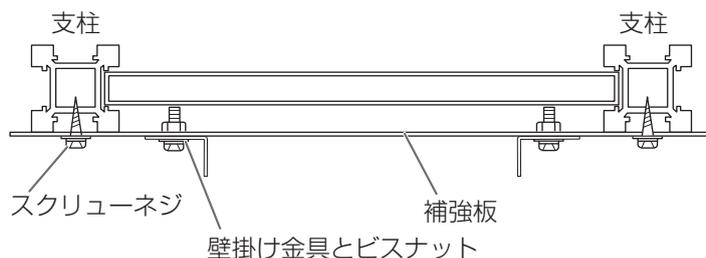
●施工方法 ①（パーテーション壁または支柱へ直接取り付ける場合）



<ポップナット取り付け方法>

- (1) 鉄板または支柱の厚みは 0.6 mm 以上
- (2) 母材への穴あけ
- (3) ポップナットの取り付け（専用工具使用）
- (4) 壁掛け金具の取り付け

●施工方法 ②（補強板を使用する場合）



(5) モルタル壁

モルタル壁には取り付けないでください。



■モルタル壁には取り付けない



禁止

本体が万一漏電した場合、モルタル壁内のメタルラスまたは、ワイヤラスと壁掛け金具の取付けネジの接触により、発熱・発煙・発火の原因になることがあります。

(おしらせ)

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
 - ・本書の内容のすべて、または一部を無断転記することを禁じます。
 - ・落丁、乱丁はお取り替えします。
 - ・本機は日本国内用です。
- 国外での使用に対するサービスは致しかねます。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年	月	日	品番	UB-8325
販売店名	電話 () -				

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 (03) 3491-9191
© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2005



PJQFC0028WA-F F1205E3030